カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

福岡教区長に宮原良治司教

5月18日午後2時　福岡国際センターで着座式

―ドミニコ宮原良治司教略歴―

1955年6月22日　長崎県五島生まれ　桐教会出身
1982年3月19日　長崎にて司祭　叙階
2000年5月10日　大分教区の司教に任命される
10月1日　大分教区司教叙階
2008年3月19日　福岡教区司教に任命される

教皇様の意向のために祈りましょう

4月の意向

【一般の意向】希望と平和の源・キリストの復活
【布教の意向】未来の司祭への召命のために祈る
【日本の教会の意向】司祭職と奉献生活のために祈る

司祭職制定記念ミサと聖香油の聖別に４００人が参列

４人の司祭、司牧者としての節目を共に祝う

聖週間の水曜日（３月19日）、福岡教区内で働く司祭70人がカテドラル大名町教会に参集し、長崎教会管区長高見三明大司教を中心に司祭職制定を記念するミサを執行した。このミサは聖香油ミサとも呼ばれ、途中で秘跡に用いられる香油が聖別された。

十字架を先頭に侍者、助祭団、司祭団、そして大司教が主の祭壇へと進み、厳かに始まったミサの最初に、「司祭職の恵みに感謝し、司祭たちの健康を願い、新しい司教誕生を祈りましょう」と高見大司教は述べた。

説教では、「馴染み深い福岡教区で共に司祭職制定の記念ミサを捧げられることは喜びである。現在は福岡教区の司教の座は空位であるが、司教誕生は秒読み段階に来ている。温かく迎える準備をしよう。教会の成り立ちは司教が中心となるもの。教区の新しい出発を祈念しよう」と語り、聴衆に希望を持たせた。

続いて、「司教の聖別による聖香油は病者を力づけるもの（病者の油＝紫）と、洗礼志願者が信仰を強く持ち、洗礼をよく準備できるためのもの（洗礼志願者の油＝赤）と、人をキリストの死と復活に与らせ、聖別し、新しい人にする洗礼やキリストの弟子として証し、活躍するための堅信、そして神の救いの恵みの分配者になり、キリストの権能を頂く叙階式など、秘跡に用いられるもの（聖香油＝白）がある。これらの油は神の恵みを表すしるしである。更に、司祭はキリストの愛の働きに従い、み言葉を述べ伝え、共同体を愛のうちにまとめていく働きをするもの。羊のために命を捧げるもののように歩んで欲しい。そして、司祭の召し出しに力を注ぎ、祈って欲しい」と述べた。

奉献文が唱えられた後「病者の油」が、拝領祈願の後には「洗礼志願者の油」と「聖香油」が聖別された。ミサ後に用意された香油を司祭たちはそれぞれの教会、修道院に持ち帰った。

喜びの司祭叙階60年・50年・25年を祝う

司祭職制定記念ミサ後に、カテドラルのホールではダイヤモンド祝・金祝・銀祝の司祭が祝われた。教区管理者川上惣一神父の挨拶を受けて、ダイヤモンド祝（60年）のガブリエル・ブレシュット神父（御受難会）は、「福岡に来て22年になります。言葉の難しさがありましたが、今日まで頑張って来ました。皆さんの祈りのお陰です」と述べた。

B. ガブリエル神父

金祝（50年）の堤敏男神父（飯塚教会主任・福岡教区）は、「叙階された時に『沖に漕ぎ出そう』と言われた深堀仙右衛門司教の言葉を思い出します。これからも出来る限りの同じく金祝のトーマス・ドワイヤー神父（笹丘教会主任・アウグスチノ会）は、「20年の福岡教区での生活です。殉教地の長崎から、殉教地の福岡に来て働きましたが、熱心な信者が多く、宣教できる開かれたよい所です。感謝します」と一杯の笑顔で語った。

堤敏男神父

T. ドワイヤー神父

銀祝（25年）の下町豊重神父（西新教会主任・福岡教区）は、「聖なる大先輩に交えて祝って頂き、恐縮しています。ここまで来れたのも皆さんのお陰です。神のお呼びが大好きな運動中にあってもいいように一日一日を大切にしていきます」と述べた。

下町豊重神父

各師に教区より金一封が贈られた。祝宴は高見大司教の食前の祈りと平田敬神父の乾杯の音頭で始まり、大きな笑い声がこだまする和やかなひとときとなった。

この数時間後、ローマ教皇庁より「ローマ教皇は福岡教区長にドミニコ宮原良治司教（現大分教区長）を任命した」と発表された。

福岡教区に新しい時代の足音が聞こえて来る。

司祭異動

▽名前（前任地）＝新任地。新担当の順に表記。
▽青木悟神父（大名町教会主任）＝健軍教会主任。担当＝教区信仰教育委員会・看護連盟▽下町豊重神父（西新教会主任）＝大牟田・荒尾教会主任▽櫻井尚明神父（糸島教会主任）＝大名町教会主任。担当＝教区顧問・教区典礼委員長▽岩崎康彦神父（長崎教区大崎教会主任）＝今村教会主任▽森山信三神父（戸畑教会主任）＝西新教会主任。担当＝カトリック福岡教区報編集長▽中村彰神父（健軍教会主任）＝戸畑教会主任▽竹内英次神父（玉名教会主任）＝糸島教会主任・馬渡島教会小教区管理者▽大山悟神父（サン・スルピス司祭会）＝老司教会小教区管理者▽今田昌樹神父（笹丘教会主任）＝東京教区へ▽トーマス・ドワイヤー神父（笹丘教会主任）＝笹丘教会助任▽遠山満神父（長崎教区城山教会助任）＝笹丘教会主任▽ロバート・E・キエサ神父（イエズス会福岡修道院院長）＝東京教区へ▽増井啓神父（イエズス会福岡修道院）＝福岡修道院院長▽アルフレッド・スカットロン神父（大牟田教会主任）＝イタリア本国へ帰国（ミラノ外国宣教会）▽井手公平神父（新司祭）＝大名町教会助任▽岩村義人神父（教区顧問）＝病気療養の為、顧問退任

時の話題

末永　憲江

春は新たな出会いの季節、幼稚園も新入児の入園の時を迎えました。生まれてはじめて親もとから離れて、社会生活の第一歩を踏み出す小さな子どもたち、右も左も分からず、不安と緊張の中にも瞳を輝かせ、先生や友だちとの出会いで、日毎にその表情を変化させていく子どもたちを40年あまり見て来ましたので、「大丈夫よ、ここがあなたの大好きな居場所になるのよ」という気持ちで受け止めています。神様から与えられ、また全ての子どもにある生命の法則に信頼しながら、一人ひとりの個性を認め、その育ちを援助し、見守ることが教師の務めです。子どもたちにとって幼稚園は、先生や友だちとの出会いの場であり、遊んだり、歌ったり、踊ったり、課題に挑戦したりなどの様々な活動との出会いの場でもあります。日々の体験を通して自立の道を一歩ずつ歩み、新しい自分に出会っていきます。また、小さな手を合わせ、眼を閉じて祈る子どもの中に、神様との出会いがあります。イエス様やマリア様の話に聴き入る子どもたちに「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。子どものように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない」というイエス様のお声が聞こえてきます。縁あって天使園に入園して来た子どもたちを、幼子イエス様をお預かりする心で、この両手に引き受けることに喜びと誇りをもって、毎日の出会いを楽しみたいと思います。

若松天使園主任

小さな手を合わせて　祈る子どもと共に

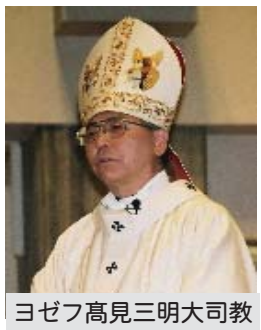
みちくさ

ご復活おめでとうございます。４月は、自然のあらゆる動植物たちが眠りから覚めて、また新しい命が芽吹くときですが、私たちも死を通して新しい命へと再生することを信じ、祝います。一輪の花は、何の不平も言わずに、ただ美しく咲き人々の目を楽しませ、あるいは人々にほのかな心地よい香りを与えてくれます。「花が美しいのはただひとすじの心で咲いているからだ」と詠った詩人がいます▼私たち人間は、不平不満をもらしたり、時には相手を不快にさせる言葉を発したりして、なかなか周囲の人々に喜びを与えられないこともあります▼「生きる」とはただ単に本能的な欲求を満たしていることではありません。正しく生きる、よりよく生きる、あるいは美しく生きることは、簡単ではないかもしれませんが、日々の心の持ちよう、あるいは自分自身や他人に対する配慮で、そのような生き方が自然と出来るようになるものです。そして私たちの日々の振舞いや言葉が周囲の人々に大きく影響するとすれば、まずは私たちが、よりよく、美しく生きることが求められると思うのです▼キリストの生涯が、２０００年間にわたって数多くの人々の人生を変えてきたように、私たちも日々の小さな振舞いを通して、周囲の人々に喜びをもたらす生き方をしたいものです▼「互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。」（フィリピ２・５）（Ｍ）

高見三明大司教より復活祭メッセージ

キリストの福音を生きて証ししよう

長崎教会管区司教の高見三明大司教より福岡教区民へ、ご復活のメッセージと新司教の任命に対してのお祝いのメッセージをいただいた。


ヨゼフ高見三明大司教

福岡教区の皆様、長崎から、ご復活のお慶びを申し上げます。まことにおめでとうございます。皆様の上に復活された主キリストのお恵みが豊に注がれますように。

ご復活の慶びを倍増させるかのように、聖水曜日のローマ時間の正午（日本時間午後８時）に、教皇庁は、ベネディクト16世教皇様がドミニコ宮原良治大分教区司教を福岡教区司教に任命したと発表しました。

皆様が２年近く待ちに待った司教様が任命されました。心からお祝い申し上げます。

宮原司教様の場合はすでに司教ですので、福岡教区には任命書を受け取ってから２ヶ月以内に「着座」することになります。いずれ着座の日程が発表されることでしょう。

新しい司教様を温かく迎え福岡教区として〝襟を正して〟共に新たな出発をされますよう主のお恵みをお祈り致します。

今年は、日本人のブラジル移民百周年のほか、多くの行事が控えています。

６月にはカナダのケベックで国際聖体大会、７月にはオーストラリアのシドニーでワールド・ユース・デー（世界青年大会）が行われます。シドニーには教皇様も行かれる予定です。また10月には聖書をテーマに世界司教代表会議（シノドス）がバチカンで開かれます。

さらに教皇様は、今年６月28日から来年６月29日までを「使徒パウロ年」とすると宣言されました。

今年最大の出来事は、何と言っても11月24日長崎で開催される「ペトロ岐部と１８７殉教者列福式」でしょう。

これを「パウロ年」の意義とも重ね合わせて、神がキリストを通して示された真理と真の愛を証しする機会にしなければならないと思います。

殉教者たちは、自分のいのちをかけて、人々にキリストを説き、迫害者をゆるし、永遠のいのちの価値をあかしたのです。わたしたち自身ももっと聖書を通してキリストに近づき、その愛の精神を身につけ、それを信者とも、信者でない人たちとも分かち合うようにしたいものです。

カルメル山の聖母修道院で初誓願式

２月22日、聖ペトロの使徒座の祝日にシスター十字架のテレジアの初誓願式がカルメル会修道院聖堂にて執り行われました。式は男子カルメル会新管区長三上和久神父と井手公平神父の共同司式のミサの中で行われました。

神の素直な道具として自分を捧げたいという十字架のテレジア姉妹の10年来の望みは神の慈しみ深いみ手の中で育まれ、この喜びの日を迎え、深い平和と喜びに満たされて、教会の中で奉献された修道誓願者としての日々を歩み始めました。

福岡カルメル修練院では、若い二人の白ベールのシスター（修練者と有期誓願者）が祈りで支え合いながら、教会のため、教皇様のため、待望の福岡教区の司教様、司祭方、二つの神学院の未来のため、そしてすべての人々の救いのために祈り、働きながら多くの若い仲間を迎えて一緒に祈れたらどんなに素晴らしいことかと、後に続く召命の恵みを日々祈り続けています。神さまの呼びかけを多くの若者が受け入れて司祭や修道者の後に続く人が一人でも生まれますようにと、初誓願者は特にこの良き日に主に祈りを捧げました。

ペトロ岐部と１８７殉教者の列福に関するロゴマークが決定
(ロゴの使用には許可が必要です。著作権は中央協)

司祭館の窓

人間味の共同体

来日して、最初の派遣は鹿児島県の鹿屋教会でした。その小教区にある敬愛園の入所者の中には十数人の信者がいて、私は彼らと鹿屋共同体の信者たちと５年間交わっていました。また２００５年４月、新しい任務のため武蔵ヶ丘教会に来ました。ここも、恵楓園の信者がいて、教会の皆さんと両方に奉仕できてうれしく思っています。

恵風園の信者の信仰は厚く、彼らの模範にいつも感銘を受けています。ミサが始まる10～15分前、みんなすでに揃っているし、当日の聖書と典礼を読んでいます。また、月１回ミサ後、これまでに亡くなった方々のために祈ります。亡くなって身よりのない方のためには、永代ミサを捧げています。

今年の元旦ミサ後パーティーをしました。参加者は少人数だったが、豊富なお節料理がテーブルの上に並べてありました。また、パーティーの時には、世話と愛の競争のシーンになりました。相手が頼む前に、みかんの皮をむいたり、お茶を注いだり、お菓子の包装を取ったりするのは、指が使える人の仕事なのです。長い間、一緒に生活を送っているから、深くて強い絆で結ばれた共同体を作ってきた恵楓園の信者なのです。

現代は医学と関係のない、ある病で苦しんでいる人たちが多いそうです。孤独とか必要とされていないとか、認めてもらえないなどという人間の病が広まっています。すぐれたITによって人間同士のつながりが広く、コミュニケーションは速くなっているものの、その一方現実としては対人関係に悩み、それを避けてこもりの若者、群衆恐怖症に患っている多くの現代人。

これに対してどこでも、誰にも、副作用をもたらさない薬があります。その薬に癒やされる人たちには、〝医者〟の資格が与えられます。医者に与えられるその薬の伝染は恐ろしいどころか、伝染した人たちの間に、共感や心遣いや支え合うことによって希望が与えられます。これが「共同体」です。

現代、ネット上、コミュニティ（英語の共同体という意味）のサイトは数えきれないが、いくら多くの人とチャットしても、いくら毎日十数件のメールを受送信しても、まず心から心への共有、分かち合いが行われないと、ただ、冷たく愛情のない情報の交換になってしまう恐れがあります。

「共同体」は、暖かい人間味のある交わりがあり、しかもなまの体験です。

恵楓園の信者は、共同体のありがたさをIT時代の子である私に教えてくださいました。

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』　その⑧

いのちの旅立ちを前に…

第十三号遺書

塩屋町に居ました時には小糸を下さり、感謝申し上げます。何度もお訪ね下さったようですが、実に心残りでございます。私たちのことはこのような結果になってしまいました。宗教は恐ろしいものよと皆様のお叱りがあなたのもとにきっと届いていることでしょう。しかしどんなことでも生命を捨ててまでは何の得もありませんし、どんな愚か者でも自分の生命を捨ててしまうことは致しません。ただ私の場合はどうしても捨てることが出来ない宗教ですので、どうぞ悪く思わないで下さい。…不明…あなたからは特にお手紙を頂き、度々心に留めて頂き、忘れることができません。お別れに際して一筆書きました。又化粧水入れ一つをおはぐろと一緒に送ります。これを見て痛ましいと感じられるかも知れませんが、どうぞ気にしないでお使い下さい。その上、この水入れは一度も使用しておりません。おはぐろも一つか二つ入れたと思いますが、よく覚えておりません。これは他人に贈る種類のものではありませんが、親しみのしるしとしてお受取下さい。おきさ、あなたには梨の大きさ程の箱に入れて鶴の雛人形を贈ります。くりとまりが巻櫛二つを形見に差し上げますので、どうぞお受取下さい。　以上

１２月１７日

又市もし様の奥方様　皆々様

玄也妻　みや

J-CaRM　カトリック難民移住移動者委員会を知っていますか　①

世界中で自分のふるさとを離れて働いている人は何億人もいます。その形態は様々ですが、カトリック教会では難民と移住者と移動者に分けています。

難民については皆さんもご存知のとおりで、母国で政治的や経済的な困難があったために母国を離れなければならなくなった人たちです。今もアフガニスタンやアフリカやアジアイラクでは戦乱のために国を出て行く人は絶えません。アフリカでは国内での難民もいますし、古くはパレスチナ難民が今もアラブ世界の各国に住んでいます。

最近、日本にはビルマからの難民が増えています。この人たちは大村入管センターから仮釈放された人たちで、福岡の弁護士やキリスト教会の人たちが支援をしています。今も裁判は続いています。大村のセンターにはまだ何人もの難民認定を待っている人たちが収容されています。この人たちの支援は大村のプロテスタントの牧師とカトリックの司祭が行っています

世界中で自分の国を離れて働いている人は何億人もいます。その形態は様々ですが、カトリック教会では難民と移住者と移動者に分けています。

難民については皆さんもご存知のとおりで、母国で政治的や経済的な困難があったために母国を離れなければならなくなった人たちです。今もアフガニスタンやアフリカやアジアイラクでは戦乱のために国を出て行く人は絶えません。アフリカでは国内での難民もいますし、古くはパレスチナ難民が今もアラブ世界の各国に住んでいます。

最近、日本にはビルマからの難民が増えています。この人たちは大村入管センターから仮釈放された人たちで、福岡の弁護士やキリスト教会の人たちが支援をしています。今も裁判は続いています。大村のセンターにはまだ何人もの難民認定を待っている人たちが収容されています。この人たちの支援は大村のプロテスタントの牧師とカトリックの司祭が行っています。

日本は難民認定に厳しい規定を設けていて、難民認定をなかなかしません。世界中で難民を一番認めない国になっています。そのため難民認定がされなかった人たちは、日本から難民認定をしてくれる別の国に出て行っています。

アフガニスタン難民の支援を大阪教区の委員会が中心になってしたことはカトリック新聞にも何度も報道されましたのでご存知かもしれません。

昨年秋から福岡の裁判所でビルマ人の難民認定の裁判が行われています。この人たちは大村入管センターから仮釈放された人たちで、福岡の弁護士やキリスト教会の人たちが支援をしています。今も裁判は続いています。大村のセンターにはまだ何人もの難民認定を待っている人たちが収容されています。この人たちの支援は大村のプロテスタントの牧師とカトリックの司祭が行っています

稲垣良典セミナー　毎月第二金曜日（変更あり）20:00～20:45
＊テーマ：カトリック教会の教えについて
　テキスト「カトリック教会のカテキズム」
＊初心者の勉強会・入門講座ではありません。
＊カトリック要理を深めたい司祭・修道者・信徒のための神学セミナーです。
PRAYER GROVE MUNAKATA
カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ 092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

福岡地区婦人会「殉教と信教の自由」を学ぶ

2月23日、福岡地区婦人会主催で司教館に於いて「殉教から見る信教の自由を学びませんか？」というテーマで学習会が行われた。

講師は黒崎教会信徒で、宣教の在り方を考える会世話人の瀬下幸弘氏。

「とかく女性は、殉教を知ることは、壮絶で現実的な苦しみを想像し、目をそむけてしまいがちです。拷問の印象が強く、復活したイエス・キリストの大切さが少なくイメージされがちです。非暴力でイエス・キリストを証するために生きることが必要です」と瀬下氏は前置きし、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康とそれぞれの時代がキリシタン弾圧に向っていった背景が、国を危うくすることへの恐怖から迫害への道が始まっていると語った。

１８６５年に長崎の信徒発見。間もなく明治時代に入って有名な〝浦上四番くずれ〟が起こり、国は国家神道を強化し、神祇官という制度をつくり上げていった。これは、現代に至り、靖国問題に繋がっている。国のために勇敢に戦って亡くなった者が柱となり神として祀られていった。時が流れ、第二次世界大戦時、戦死した者を宗派を問うことなく、家族の意思を反映することなく、靖国の柱として祀り、現在に至っていると、殉教者の選びがまさに信教の自由の選びであることが語られた。

参加者の声＝私たちには、目からウロコ。知らなかったこと、気付かずにいたことを学ぶ良い機会となりました。瀬下さんが最後に締めくくられた『違うから排除してしまうのではなく、教会だから、理解し合いたいものです』というお話に心を打たれました。

福岡教区青年 日韓学生交流で大活躍

2月22日から一週間、「殉教」をテーマに第14回日韓学生交流会が長崎で行われた。

参加者スタッフ合わせて60人が長崎のカトリックセンターを中心に、ホームステイや島原巡礼、市内巡礼ほか様々なプログラムを通じて交流を深めた。

福岡地区からも青年が参加し、準備スタッフと参加者の双方から日韓学生交流会を共にした。スタッフとしてその準備段階から関わってきた福岡地区の青年達は交流会のプログラム「日韓歴史学習」を担当。「原爆資料館見学」や「被爆体験者談」「筑豊炭坑での強制労働」について日韓の学生が共に学びあう時間を準備した。準備スタッフ達は、可能な限り多くの情報を集め、そこから日韓の歴史について結論を出すのではなく、自分たちの足で探した事実を共に分かち合うために、言葉の一つひとつまで丁寧に考え、準備を重ねた。こうした痛みを伴う学びの中で、同じ信仰、同じキリスト者としての目線を大切にしたいという思いは多くの参加者に通じるものとなり、未来を感じる時間となったようである。

交流会の後半には覚え立ての韓国語や日本語を駆使し、さらに交流を深める参加者が数多く見受けられた。

次回の日韓学生交流会は韓国で開催される予定。

参加者の話＝「父と子と聖霊によって」といつも唱えてはいても深く考えたことはあまりなく、よく判らないというのが正直なところで、ただ漠然と神さまがくださるお恵みか、力のようなものだと思っていました。分かりました。参加者の話＝これまでよく解らない何か、と思っていた聖霊をはっきりと理解でき、まさに目から鱗が落ちたようでした。

福岡地区青年が四旬節黙想会

福岡地区青年は昨年11月に続き、3月1日（土）と2日（日）、2度目の黙想会を行った。一日目は講話と夕の祈り、翌日の主日は大名町教会で新司祭のミサに与った。

初日、糸島教会の櫻井尚明神父による講話。今夏開催されるＷＹＤシドニー大会のテーマである「聖霊」について学ぶことになった。櫻井神父は、「聖霊とは神さまが人間と一つになるために降りて来られる力であり神さまご自身で、父と子と聖霊が三位一体であるように人間とも一体になろうとしておられ、この力に覆われて一つになっていくことが秘跡を受けるということ。そして、それには私たち自らに一つになろうという意志が必要」と語った。講話後は皆で夕食を作って食べ、夜は大名町教会の深堀純氏に「教会の祈り」について指導を受け、田中重治神父と共に夕の祈りをささげた。

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

～URL　グッドシェパーズ～

青年の教会活動ではインターネットも一つの大きな活動手段です。そこで福岡地区青年会のホームページ「グッドシェパーズ（良き牧者）」について、情報管理担当の青年に話を聞きました。

＊グッドシェパーズはどのようなホームページ？

福岡地区青年会がどのような集まりで、どういった活動をしているのかを紹介し、多くの方に私たちの活動を知っていただきたいという思いが込められています。

＊どのようなことが書かれていますか？

活動紹介、行事予定、また活動に参加した青年による報告日記やその写真なども掲載しています。

福岡地区青年の信仰養成の集い「ひつじ団」のチューサー情報から、全国規模の青年行事まで様々です。

＊どんな人が利用していますか？

福岡の青年による活動報告やお知らせ、予定の確認等に利用することが多いです。その他東京や京都、長崎など他教区の青年も利用して下さっていて、彼らからのメッセージやお知らせも届きます。特に「掲示板（BBS）」では、情報やメッセージのやり取りが行われています。

＊どのようなことに気をつけていますか？

活動報告のコーナーを充実させることや、迷惑な書き込みがないかどうかなどに気をつけています。

＊管理をしていて嬉しいなと思うことは？

日本各地から様々な人が訪問してくれることです。

＊最後に皆様に一言どうぞ！

これからも内容を充実させていこうと思います。どうぞご覧下さい！

http://good-shepherds.net/html/

福岡教区信徒協だより⑬

「教区信徒協だより」も一年を経過し、事務局（熊本）、北九州、福岡、熊本、佐賀４地区の活動や紹介で一巡しました。そこで、この４月号では昨年、事務局の都合で出来なかった教区信徒協担当司祭、会長・副会長他メンバーの紹介をいたします。

担当司祭：平田敬神父（小倉教会）、会長：牧山勵（佐賀地区）、副会長:濱鶴松（北九州地区）・目良豊（福岡地区）・平田悠貴子（熊本地区）。　そのほか各地区からの代表者10人、12人の各信徒使徒職団体の代表者です。

07年・08年度の事務局は佐賀地区で、会長・会計・書記を担当しています。任期は2年です。

さて、この一年間の記事で各地区の地域差がお分かりのうえと区性か、知たン使徒職行るをきは、涯ストとで徒築とたリ展き

令』第５章26節の解説から一部抜粋して、その意を再確認したいと思います。

「信徒が自主的に組織する種々の使徒職団体の、その自主性はあくまで尊重されねばなりません。しかし…略…新たな面における使徒職への覚醒のための呼びかけもないがしろにすべきではないのです。そしてそこにもまた、この協議会の存在意義があるはずです。…略…教区的スケールにおいては司教を中心に司祭団、修道者団および信徒団から選ばれた各代表たちによって委員会を成し、既存の使徒職団体相互間の調整と、なすべきでありながら、なされないでいて、しかも、なす可能性のある使徒職の場の探求と方向づけを行い、信徒すなわち使徒をあらゆる場、あらゆる階層に派遣するための信徒全体の計画を立てる司教に体協に長方上職職恵も成で林徒徒恩をのの小則使使望だも：探鉄…指解」

BOOK 読みま専科

★生命の河
原子病の話
永井　隆　著

長崎への原爆投下。永井隆は自ら被爆しながらも、医者として被災者の治療に努めるとともに、原爆が人体に及ぼす影響を克明に記録し、分析していく。永井隆生誕１００周年記念として、「花咲く丘」「村医」も同時発売。

サンパウロ発売
１０５０円（税込み）

☆　☆　☆

★ライサという名の妻
高橋たか子　著

20世紀の思想界に清澄な感動を与え通りすぎていった熱愛の男女哲学者ジャック・マリタンと妻ライサ。彼女とジャックの著作、「ペギー」、「プロワグリーン」など、篤い友情で結ばれていた当代一流の芸術家たちの手紙などから紡ぎ出されたライサ伝説。

女子パウロ会
２４２５円（税込み）

☆　☆　☆

★日常で神とひびく②
柳田　敏洋　著

イエズス会司祭である著者が自らの瞑想の体験などをもとに、あるがままの自分を見出し、頭と心、体を調和させ、神とひびき合う大切さを説く。

ドン・ボスコ社　発行
１４７０円（税込）

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年４月27日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（糸島教会主任）
参加費：１回　500円

北九州 2008 年度聖書講座　マタイ

＊ 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。

第２回：
日　時：４月 20 日 (日)
場　所：カトリック小倉教会
講　師：ベリオン神父（黒崎教会主任）
テーマ：マタイ福音書５章１－17
真福八端
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

ペトロ岐部と 187 殉教者列福 特別献金のお願い

列福式：2008 年 11 月 24 日（月）
場　所：長崎県営野球場「ビッグＮスタジアム」
＊日本カトリック司教協議会は、わが国で初めて執り行われる列福式に向けて、着々と準備を進めています。日本の教会ならではの霊性、生き方を深める好機であると思います。皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。
＊献金は列福に関わる広報活動。司教協議会が主催・共催・後援する列福式関連の諸行事に使われます。
払込取扱 No：００１６０－１－４８３３４５
加入者名：
（宗）カトリック中央協議会列福献金口
問い合わせ先；
日本カトリック司教協議会 列聖列福特別委員会
〒 135 ー 8585　江東区潮見２－ 10 － 10
☎ 03-5632-4445　FAX 03-5632-4465

聖霊による信仰生活刷新セミナー

会　場：カトリック大名町教会
時　間：10：30 ～ 12：30（受付 10：00）
参加費：自由献金（初回のみテキスト代）

プログラム

第１回４月 14 日	神の愛	マッケイ神父
第２回４月 21 日	救いのみわざ	ドワイヤー神父
第３回４月 28 日	新しい生命	オカロール神父
第４回５月　５日	神の賜物の受領	畠　神父
第５回５月 12 日	聖霊のみたし	マッケイ神父
第６回５月 19 日	聖霊のうちでの成長	アレックス神父
第７回５月 26 日	派遣のミサ	ガブリエル神父
	～キリストの証人	マッケイ神父

主催：聖霊による刷新福岡祈りの集い
問合せ先：Br. 床島藤吾　℡（080）1737-6130

ワールドユースデェイ シドニー大会　参加者募集中

テーマ：あなたがたの上に聖霊が降ると、あなた方は力を受ける。そして、わたしの証人となる。（使徒：１：８）
日　時：Ａ日程：７月９日～７月 22 日（14 日間）
Ｂ日程：７月 13 日～７月 22 日（10 日間）
場　所：オーストラリア・シドニー
参加資格：18 歳（高校生を除く）～ 35 歳
旅行代金：概算 18 万円（申込金 10，000 円）
募集期間：４月 10 日まで
問合せ先：Ｆｒ．田中重治（福岡教区ＷＹＤ担当）
☎092・522・5139　FAX 092・523・2152

案内板　会合と催し

福岡黙想の家ご案内　４月

◇３／31日(月) ～４日(金)　オブレート会会議
◇９日(水)　ミカエル会
◇11日(金)　稲垣セミナー
◇11日(金) ～ 13日(日)　荒れ野塾
◇14日(月) ～ 15日(火)　召命を共に祈る会黙想
◇19日(土)　北九州チェナクルム
◇26日(土) ～ 27日(日)　ひかりあれ・信仰セミナー
☆毎週火曜日は祈りの日(日帰り黙想ができます。昼食(粗食)付き・無料)
☆ザビエル旧聖堂再生工事も着々と進み、基礎が出来上がってきました。どうぞ、お出かけください。
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：４月10日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：『預言者を通して語られた聖霊』
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦1391-7・
E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月19日、５月３日　第1と第3土曜日10時～ 12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

４月のこよみ

６日(日)　復活節第３主日
10日(木)　召命祈願ミサ（大神学院19時15分）
13日(日)　復活節第４主日
世界召命祈願日
福岡教区司教座教会献堂記念日
司教座教会献堂記念特別献金日
20日(日)　復活節第５主日
25日(金)　聖マルコ福音記者
26日(土)　九州青年キャンプ（カテドラル大名町教会～27日）
27日(日)　復活節第６主日
世界広報の日献金日
29日(火)　シエナの聖カタリナ
教区修道女連盟総会（カテドラル大名町教会）
昭和の日
５月（聖母月）

津和野　乙女峠まつり
日時：５月２日　前夜祭　19：00
５月３日　聖母行列　10：30（津和野教会から）
野外ミサ　12：00（乙女峠）

３日(土)　聖フィリポ・聖ヤコブ使徒　憲法記念日
４日(日)　主の昇天
クルシリヨ（黙想の家～６日）　みどりの日
５日(月)　こどもの日
６日(火)　振替休日
＊司祭の命日は1990年以降からお載せしています。

福岡

■福岡祈りの集い
〔日時〕毎週月曜11時～12時30分〔場所〕カトリック大名町教会〔問合先〕☎０８０・１７３７・６１３０ ブラザー床嶋

■虹の会
〔日時〕４月５日(土) 13時半から４時半〔場所〕カトリック大名町教会３階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分かち合いです〔参加費〕５００円〔問合せ先〕☎０９０・１１６２・６３９５柴田

■召命祈願ミサ
〔日時〕４月10日(木) 19時15分から〔場所〕大神学院聖堂〔主式〕森山信三神父(西新教会主任)

■召命をともに祈る会黙想
〔日時〕４月14日(月) 13時から15日(火) 昼食まで〔場所〕福岡黙想の家〔指導〕内山恵介神父(御受難会司祭)〔参加費〕７５００円

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕４月20日(日) 14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合先〕☎０９２・８４３・５８３１岩崎

■紫苑・ＣＯＭ（心のセミナー）
〔日時〕４月13日(日) 14時から〔場所〕福岡黙想の家のカトリック案内所〔テーマ〕「希望の大きさ」〔指導〕小宮豊医師(精神神経科)、鈴木忠一神父(黙想の家院長)〔対象〕どなたでも〔参加費〕自由献金〔問合せ先〕☎０９４０・３３・２７３１吉永

■第２回大牟田キリスト教講座
〔日時〕４月16日(水) 昼14時15分～16時／夜19時～21時〔場所〕カトリック大牟田教会〔テーマ〕自分と出会う(全15回・要申込)〔参加費〕無料〔問合せ先〕大牟田教会☎０９４４・５２・４８７１ 渥０９４４・５２・４８８６

■出会いの集い
〔日時〕５月５日(祝) ９時半受付～16時閉会〔場所〕カトリック大名町教会〔内容〕ミサやレクレーション〔ミサ〕櫻井尚明神父〔対象〕20才から50才までの独身男女(初婚)〔参加費〕２０００円(昼食代含む)〔問合せ〕各小教区担当者〔主催〕福岡教区カナの会・教区信徒協後援

■第47回クルシリヨ開催
〔日時〕５月４日(日) 10時から６日(火) 16時まで〔場所〕福岡黙想の家(宗像市)〔参加費〕１２０００円(宿泊・食事・用品代含む)〔連絡先〕福岡教区クルシリヨ事務局☎０９２・６６１・０１２０大谷

■シスター根岸帰国講演会
〔日時〕５月17日(土) 10時半から〔場所〕カトリック大名町教会〔内容〕アフリカのシエラレオネは今(内戦時・内戦終結後から現在)〔講師〕Sr.根岸美智子(ご聖体の宣教クララ会)〔問合せ先〕☎０９３・９６２・１３９５福吉

■美野島司牧センター
ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします〔カンパ金・冬物衣類(男性用)など〕また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも合わせて募集しています。〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９ コース・マルセル神父

九州青年キャンプ in 福岡

日　時：４月 26 日（土）13 時受付
４月 27 日 (日) 昼食まで
場　所：カテドラル大名町教会
参加費：3.500 円
参加申込・問合せ
k_camp2008@yahoo.co.jp まで(名前・生年月日・性別・教区・教会名・メールアドレス・電話番号をお知らせ下さい)
担　当：福岡地区青年会 田中重治神父

北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕４月10日(木) 12時から〔場所〕カトリック田川教会〔内容〕「御ミサ」井手新司祭の初ミサ〔司式〕井手公平神父(大名町教会助任)〔問合せ先〕☎０９３・９６３・２３５９江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕４月25日(金) 13時半から15時〔場所〕小倉教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父(御受難修道会)〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎０８０・１７２４・１３１７安藤

佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕４月16日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕４月30日(水) 10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎０９５２・３０・８３４７吉武

熊本

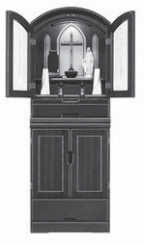
■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕４月17日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎０９６・３６８・２８２５青木悟神父

編集後記

桜の開花の便りがあちこちから届く頃。ご復活の恵みもあって、気持ちも新しくされる。春は身もこころも綺麗に整えてくれるようだ。教区報も一新されてその輝かしさを見せてくれる。新しい編集長の森山信三神父様、よろしくお願いします。いつも快く寄稿してくださった皆様、いつも発送に尽力してくださる皆様にも心から感謝致します。
教区報は、教区民の新聞です。今後とも、教区報をいっそうご愛読くださいますようにお願いします。

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
☆医科臨床研修指定病院
☆歯科臨床研修指定病院
☆救命救急センター
＊＊＊募集＊＊＊
≪医師≫≪看護師・准看護師≫
※詳細は人事部へお問合せ下さい。
☆人間ドック・健康診断（宿泊・日帰り）
☆介護老人保健施設　聖母の家
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL.0942-35-3322(代表) FAX.0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

サンパウロ福岡宣教センター
キリスト教書籍・信心用品を販売しております
１階フロアー　絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか
２階フロアー　カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇
メダイ・CD・DVD ほか
〒810－0042　福岡市中央区赤坂1-14-26　(営業時間＝10:00～18:00)
TEL 092-721-2032　FAX O92-739-3930　(定休日＝日曜日・祭日)
WWW.sanpaolo.or.jp　E-mail:fukuoka@sanpaolo.or.jp　※当センターに地下駐車場が有ります。


カトリック福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

第42回「世界広報の日」教皇メッセージを読む

個人の生き方や社会の中でのメディアの役割

教皇ベネディクト16世は、2008年の「世界広報の日」（4月27日）のために、『利己主義と奉仕の岐路に立つメディア：他者と分かち合うための真実を求めて』というテーマでメッセージを出された。この中で、グローバル化が拡大する現在、メディアが占める重要性を指摘し、勇気ある伝達者になるよう勧めている。

まず教皇は、「これまでの人間の歴史の中で、とくに、グローバル化現象がますます拡大する中で、人間関係においても、社会・経済・政治・宗教の発展においても、これほどメディアが重要な位置を占めるようになったことはない」（第1項）。

この時代の中で、メディアが、様々な分野で大きな貢献をしていると同時に、「残念ながらメディアは、今日のもっとも有力な利害関係者によって押し付けられた方針に向かって、人類を支配することをねらったシステムへと変貌する危険を冒しているということです。」と危惧している。

それは具体的に言えば、「広報がイデオロギー目的のために、あるいは商品の刺激的な広告のために利用される場合です。この場合メディアは、現実を表しているだけだと主張しますが、個人や家族、社会生活のゆがめられたモデルを正当化しがちであり、またそれらを押し付ける傾向にあります。さらに、視聴者を魅了し、より多くの聴衆を獲得するために、時としては俗悪な次元や暴力に頼ること、度を越すことさえも躊躇しません」（2項）と言われて、あらゆるメディアが、人類の善のためではなく、時として人間を疎外し、人間に不利益をもたらすばかりでなく、悪へと導く傾向にあることに警鐘を鳴らしておられる。

次に教皇は、人類は今、岐路に立っているとして「人類の進歩は、善への新たな可能性を開くと同時に、これまで存在しなかった、悪への可能性をも開きます」（3項）と述べ、「広報の手段が、見識のない『利己主義』のために利用されることを認めること、あるいは人間の良心を操作するためにそれらを利用する人々の思うままになること」をも危惧しておられる。

メディアの役割は「人類と共通善への奉仕に徹し、人間の倫理教育・・・人間の内面的成長（回勅「スペ・サルビ」）を助けることを最優先にすべきです。また、広報が、単に現実を表現するだけでなく、自らが持つ暗示のカと影響力とを利用して現実そのものを決定するのだ、とますます主張しているように見えます」と言われ「メディアが単に情報の伝播という適切の中で人間の善が危機にさらされている今、技術的に可能なことすべてが、倫理的にも許されるものではないということを、わたしたちは声を大にして言わなければなりません。」、すなわち、あらゆる情報がインターネットなどを通じて確たる倫理的な基準もなく発信され、受信側もそれを受け取ることが当然になっている昨今、広報機関が現代社会に与えた影響によって引き起こされた問題に、解決策を広報機関は、たゆまず人間を擁護し、人間の尊厳に十分に敬意を払うべきであり、不可欠」と。また教皇はここで、「情報倫理」という言葉を使われ、発信する側に適切なモラルを求めておられる。

もし発信者が一定の情報倫理をもたず、受信者の影響を考慮することなく随意に情報を流すならば、その行為は人間の尊厳、自由、良心を奪うことになりかねないからである。

さらに5項で、「メディアは、現代の真の災いのもとである、経済的物質主義や倫理的相対主義の代弁者となることを避け、人類についての真実を広く知らせ、それを否定したり破壊したりしようとするものから人類を守ることに貢献することが必要です。なぜなら広報機関の第一の使命は、人類についての真実を探求し、それを示すことだからです。この目的のために、この部門の管理者や技術者に最初に任されますが、それはある程度わたしたち皆にかかわる務めでもあります。なぜなら、このグローバル化の時代にあっては、わたしたち皆が広報機関の消費者であり、操作者でもあるからです。」と教皇は述べている。

教皇は、ここにメディアという伝達手段がもっている相互性を指摘している。つまり、メディアは発信する側の責任と同時に受け手の責任ないしは使命、義務という点である。

この指摘は当然であると同時に、現代忘れられがちなことではないだろうか。

最終の6項では、「人は真実に渇き、真実を探し求めます。この事実は、数多くの出版物や番組、あるいはすばらしい小説が注目され、成功したことによっても明らかにされています。その中では宗教的側面も含む人間の真実、美しさ、偉大さが認められ、好意的に描かれています。イエスは言います。『あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする』（ヨハネ8・32）。わたしたちを自由にする真理は、キリストです。なぜなら、人の心にあるいのちへの渇きと愛に完全にこたえることができるのは、キリストだけだからです。キリストと出会い、彼のメッセージを喜んで熱心に受け入れた人は、この真理を分かち合い、伝えたいという思いを抑えきれなくなります。」と、さらに、ヨハネの手紙の一（1・1～4）を示して強調される。

「勇気ある伝達者、真実の真の証人、キリストの教えに忠実で、信仰のメッセージに熱心であり、そして『現代の文化が必要としているものを理解し、このメディア中心の時代を、孤立と混乱ではなく、真実の探求と、人間および民族間のコミュニケーションを育てるための貴重な時として受け止め、全力を傾けて働く』（ヨハネ・パウロ二世「メディアと文化で働くひとびとのための会議でのあいさつ」から）、伝達者を、聖霊が立ち上がらせてくださるように願いましょう。」とむすんでおられる。

教区の広報では紙面の都合もあり、このメッセージを要約して掲載しています。（カッコ引用部分）

ドミニコ宮原良治司教着座式

着座式ミサ
日時＝5月18日（日）14時
場所＝福岡国際センター
（福岡市博多区築港本町2－2）

教区民全体で一緒に祝うことができるように広い会場を準備しています。会場の案内は各小教区へ伝達しています。できるだけ公共の機関を使って参加することが望ましいと思います。

5月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】人間の価値
【布教の意向】使徒の后、マリア
【日本の教会の意向】飢餓の撲滅

時の話題

薬真寺健臣

わたしは幼児洗礼だったということもあり、教会は日曜日に行かなければいけない場所でした。無理に連れて行かれた教会だったので、神様を身近に感じることはあまりありませんでした。そんな私が神様の存在を強く感じるようになったのは、今の妻との出会いからでした。彼女は信者ではありません。しかし、結婚する前の学習に始まり、今ではほぼ毎週欠かさずミサに行っています。ミサは彼女にとって、今までに経験したことがないことです。よく分からない聖書の言葉や儀式。退屈に感じることが多いのではないかと思っていました。それでも彼女は教会に通っています。理由を聞いてみると、私と一緒に居られること、私の家族に会えること、私が信じているキリスト教を知りたいためということでした。そんな素直な彼女の気持ちを聞いて、家庭の中で神様の話をよくするようになってきました。例えば、お互いの気持ちがすれ違いそうになった時には、すぐに寄り添いお互いの気持ちを話すようにし、神様の意思はどうだろうかと考えたり、今週の典礼の意味が分からない時は、聖書を一緒に開いたりと、今まで以上によく神様のことを考えるようになりました。このような家庭の雰囲気の中で、神様が一緒にいてくださることを私自身が強く感じるようになってきたのだと思います。私達の間には今一歳の息子がいます。いつか彼が、神様を身近に感じることができるようになることを願いながら、神様のことを毎日の生活の中で伝えていきたいと思います。

光丘教会信徒

神との出会い 妻との出会い

みちくさ

今月号の教区報は、世界広報の日にあたって、一面に教皇様のメッセージを解説して掲載いたしました。ところで、過日カトリック新聞が全国の信徒対象に実施したアンケートによりますと、カトリック系の出版物はかつてないほど低調になってきており、活字が信仰生活から離れていっている現状が浮かび上がりました▼私たちが自らの意志を伝える手段としてかつては、手紙が中心だったわけですが、電話、ファックス、テレビ、ビデオさらにコンピューター、メールとメディアは長足の進歩を遂げて、現代では直筆で書いて何かを伝えるという手段は、ますます減少傾向にあります▼そのような時代の中で、福音宣教をする共同体としての教会が、電子メディアを有効活用することは大切だと思いますが、同時に新聞、雑誌、書籍を通じて幅広く福音を伝えるという手段も重要だと思われます▼しかしその際は、私たち信徒が人々のもとに出向き出版物を手渡し、あるいは勧めるといった具体的な行動が不可欠です。ある教会では、全国紙のカトリック新聞を購読している方はほぼ皆無、教区報は一部の人だけが読んで、あとの余ったものはゴミへ、という悲しい話しを伺いました▼私たちが信じていること、素晴らしいと思っている喜びのメッセージを携え手足を使って少し努力し、また時間を使って伝えていきたいものです。（M）

切手にみる聖母月　マリア切手に魅せられて

カトリック教会では、5月を特別に「聖母月」として祝います。この聖母月の信心は、18世紀のイタリアで盛んになってきたようです。また、5月は主の復活を迎えたばかりの喜びと希望に満ち、美しい春の訪れとともに自然界の豊かさと優しさも感じさせてくれる季節でもあります。

　このような思いがこの5月をマリアにささげ、マリア崇敬のために祈り続ける信心として美しい伝統となってきたのは当然のように考えられます。5月に「母の日」を記念するのもそのためでしょうか。

「聖母月」に因み、「聖書切手を集めて半世紀、その中でもマリア切手（マリア像）の多彩さ、奥深さに魅せられました。」という、聖パウロ会の百村等神父にその魅力と切手を紹介してもらいます。

イザヤ書7・11以下により「しるしの聖母」と呼ばれるマリア

聖書にかかわる切手を集めながら、とりわけマリア切手に強くひかれるようになったのは、1954年発行の岩波写真文庫『聖母マリア』に出会ってからである。マリア像の多彩さ、奥深さに魅せられ、夢中になってしまった。聖母の御絵しか知らない身には、まさに目からウロコであった。合わせて「マリア図像学」なる学問があることも知った。

　伝説によれば、聖母マリアを最初に描いたのは聖ルカだという。以来、実に多くの聖母像（もちろん御子イエスとともにであるが）が、絵画、彫刻、モザイク、ステンドグラスに表現された。キリスト教美術の大半は聖母像によって占められている。当然のこととして、それらの名画に取材したマリア切手は、世界にあふれている、と言っても過言ではない。旧ソ連を除く共産圏とイスラム圏以外の、ほとんどすべての国が何らかの形でマリア切手を発行している。嬉しいことに、政教分離のわが日本も2001年、ボッティチェリの「受胎告知」を発行し、その仲間入りを果たした。画期的な事件といえよう。他の国についても言えることだが、発行目的は必ずしも宗教的なものではない。図像学によれば、マリア像の型は数十種類あり、聖マリアの連祷のタイトルに匹敵する、さまざまなタイプのマリア像切手が、少しずつ増えていくのは嬉しい限り！

「マリア切手を集めるメリットは何ですか、一番好きなマリア切手はどれですか、マリア切手を見ていたら、さぞかし祈りに満たされるのでしょうね…。」たまにこんな質問をされるが、返答に困ってしまう。

　かなりの時間切手に見とれていても、研究が優先するためか、「めでたし」の「め」もでてこない。

　祈りながら描き、描きながら祈るイコン画家の心境になりたいものである。

受難の道具を持つ大天使ガブリエルを振り返り仰ぎ見て聖母にすがりつくイエスを優しく包むマリアの絵で「絶えざる御助けの聖母」と呼ばれる。

「敬虔な聖母」と呼ばれる。降誕図から表したもので、御子を礼拝する聖母を表している。

七つの悲しみの聖母。シメオンの予言に基づくもので、御子を伴わない。七本か一本の剣がマリアの心臓を刺したものなどがある。

人類のために立って手を上げて祈る聖母マリア

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』　その⑨
いのちの旅立ちを前に…

第五号遺書　その後長くご無沙汰し、お伺いもせず申し訳ありません。日頃通り息災無きご様子何よりです。四郎左衛門様は江戸に滞在していると耳にしました。一身上のことがまだ解決しないので、思うままにならず気をもまれていると思い悲しんでいます。

1　私達のことですが、今年またキリシタンのおん改めがあり、熊本へ移った侍たちにはいろいろと説得があり、私達はそれに賛同できず、とうとう数年の希望通り11月4日座敷牢に入りました。生きている間に一度はあなたに会いたいと心の中で思っておりましたが、その努力も空しく、このようになりもうあれこれ言うこともできません。常日頃考えていたことは全部駄目になりました。以前、四郎左衛門殿が江戸よりしきりとお手紙をくださり、おかげであなたとも文通ができましたこと、決して忘れてはいません。四郎左衛門殿も長い浪人生活のこと、今度は私がお礼をする立場なのに、私も浪人生活数年になり、心で思っても実行に移せず実にくやしいことです。この世の最後の暇ごいをこの手紙に託します。さようなら。

11月15日　　玄也

山中太郎左衛門　殿

　なお形見として何かと考えましたが、浪人の生活を数年もいたしましたので、適当な物もなくまったく恥ずかしい限りです。この刀は私が使用したもので使い古していますが、特別に切れるものですので、私の形見として差し上げます。これを見て私達を考えてください。刀の箱に金のとめがねを付けて差し上げます。きっとお受け取りください。四郎左衛門に孝行をつくすことについてはこれ以上申し上げることもないでしょう。また四郎左衛門への脇差、あなたへは腰に差す刀を備前宮内殿へ渡すので、きっと受け取って貰うようにお願いする。

こうのとりのゆりかご設置から一年
いと小さき者にしたことは私にしたこと

「こうのとりのゆりかご」の運用が始まって1年、その設置、運用への経緯などを伺うために、熊本市島崎の慈恵病院（院長＝蓮田晶一医師）をお尋ねしました。

「私たちの身近なところで、18歳の無職の少女が産み落としたばかりの嬰児を殺して庭に埋めるという事件や、21歳の専門学校生がトイレで産み落とし窒息死させ6年の実刑判決を受ける、といった痛ましい事件が発生しています。神様から授かった尊い命を、何とかして助けることができなかったのか、この母親を救うことができたのではなかったか、という悔しい思いが、従来から構想を暖めてきた「こうのとりのゆりかご」設置への決断につながりました。設置にあたっては賛否両論がありましたが、熊本市より開設認可を受け、子どもや母親の命を救うためにと、2007年5月10日から運用開始となりました。」とその経緯を語っています。

「こうのとりのゆりかご」の設置を実現させた蓮田太二副院長へのインタビューから

＝「そうですね。まず慈恵病院は修道会がやってこられました。そして、「愛児園」という施設もありました。私にとって、ここで『ゆりかご』をはじめることに、何も不思議な感じはなかったんです。

　しかし、長い間仕事をする中で、家族から中絶手術を勧められるというような方にも巡り会うようになったんです。その方たちに、赤ちゃんを産めるお手伝いをしたいと思うようになりました。また2004年には、ドイツの施設の視察に行ったんです。そのときにドイツでは、中絶手術が日本のように簡単に出来ないということを知りました。妊娠して悩んでいる人には必ず「妊娠葛藤相談所」でいろいろ相談して、どうしてもだめなときに限り証明書が出ます。その証明書がなければ、病院で中絶手術を受けることができません。

　宗教的な意味合いもあると思うのですが、もうひとつはやはり、アウシュビッツの問題があると思うのです。あの戦争を通して、ドイツはイギリスから無差別爆撃を受けたりもしていますし、いのちのことに関して、かなり重きをおいて憲法を作ったんではないでしょうか。

　私は洗礼を受ける前から、シスター方からいろんな教えをいただき、そういうことがゆりかごへの取り組みの上で、一番の精神的な支えとしてありました。霊名はアッシジの聖フランチェスコです。イエズス様の教えの中にも、〝いと小さき者にした者は…〟とありますね。捨てられて亡くなるというような運命にある赤ちゃんは、世間から〝いと小さき者〟として見られることに思いを馳せます。

　やはり世間から反対の声を聞かされたり、いろんなことを言われたりするときに、聖書の言葉、教えというのは大きな力となります。」と、穏やかに語ってくださった。

カトリック難民移住移動者委員会を知っていますか②

　日本カトリック教会は、信徒数が100万人を超えたと言われます。その内の過半数を超えるのが外国籍の信者です。そしてほとんどが移住者です。

　日本には世界中の国から人が来ていると言っても過言ではありません。そして、その内の旅行者を除いた200万人の外国人が日本に滞在しています。

　この人たちの内50万人以上がカトリック信者であると見られています。すでに日本人の信者数を超えていることは皆さんがご存知のとおりです。たくさんの外国人が集中している地域の教会では、日曜日のミサに参加する人が日本人より外国人のほうが多い教会はいっぱいあります。

　外国籍のカトリック信者の中には、留学生や大学の先生や商社・銀行などで働いている人もたくさんおられます

が、大半は労働者として日本に来ている人たちです。長く日本で働いているうちに母国に帰らず家族を呼び寄せて日本に定住した人や、日本人と結婚した人もたくさんいますし、日本人と結婚して来日した人たちもいます。

　外国籍のカトリック信者の大半が、このような人たちです。そして様々な問題で支援を求めています。

　私たちが支援をしているのは、ほとんどこの方たちです。

　東京教区の支援センター（CTIC）は、毎月発行される東京教区報に支援をしている外国人の問題を大きな紙面を使って報告していますが、福岡教区内でも同じような問題はたくさんあります。

　福岡教区では美野島司牧センターを中心に、NGOの人たちも一緒になって支援活動を進めています。

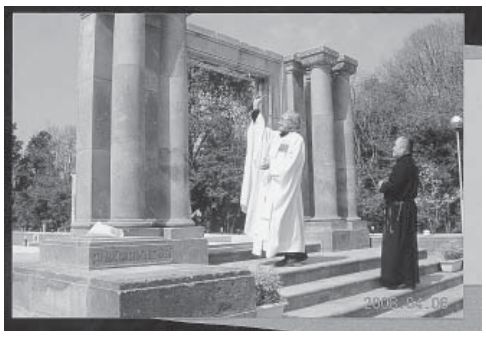
稲垣良典セミナー　毎月第二金曜日（変更あり）20:00～20:45
＊テーマ：カトリック教会の教えについて
　テキスト「カトリック教会のカテキズム」
＊初心者の勉強会・入門講座ではありません。
＊カトリック要理を深めたい司祭・修道者・信徒のための神学セミナーです。
PRAYER GROVE MUNAKATA
カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

ザビエル旧聖堂再生工事立柱式を挙行



ザビエル旧聖堂再生工事が順調に進み、立柱式が4月6日（日）午後2時から鈴木忠一神父司式により、建設地福岡黙想の家で行われた。

立柱式は耳慣れない言葉であるが、中世の神社建築には使われ、柱は基礎・棟と共に大切で、定礎式や上棟式に相当する。ザビエル旧聖堂は鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂として、ザビエル渡来400年を記念して1949年に献堂された。

しかし、21世紀にふさわしいカテドラル建設にあたり、1998年に解体された。解体前の調査の結果、優れた建築的価値を確認し、糸永真一前司教から譲渡、紆余曲折の末2003年4月7日福岡黙想の家に保存部材を保管、2006年7月7日に御受難修道会から建設許可を得て、翌2007年4月15日起工式、9月15日定礎式と進め、そして、石造立柱式の運びになった。

ザビエル旧聖堂の建築的価値を見出し、再生事業にまで導き、毎日、現場で指揮をとる土田充義氏（NPO法人文化財保存工学研究室理事長で茶山教会信徒）は、『立柱式を行った意図は、主の祝福と共に石からモルタルを落としたボランティアの方々への感謝の気持ちでした。幸い鹿児島から一行34人の参加があり、花を添えていただきました。今、聖堂再生は多くの方に支えられて、2011年4月7日献堂式に向かって、確実に歩んでいます。』と語っている。

福岡教区召命を共に祈る会 一泊黙想会

4月14日と15日にかけ、福岡黙想の家（宗像市）で福岡教区召命を共に祈る会（担当：久留米教会主任　浦川務神父）が黙想会を持った。指導者は、黙想の家の内山恵介神父（御受難修道会）。参加者は、福岡地区と北九州地区からの14人。毎月、各地区で「召命を共に祈る集い」を開き、召命のためはもちろん大神学院での召命のミサにも参加し、神学生を励ましつづけている姿もよく見られるグループである。

年に一度開いている黙想会でもミサに参加し、十字架の道行き、ロザリオとたくさんの祈りのうちに静かな二日間を過ごす。

「ミサの中にこそ、すべての救霊があり、召命者を育てる力があります。」とおだやかに語りかける内山神父の話しに、参加者は励ましを受けているようだった。

今年は、2月、3月と選任式、助祭・司祭叙階式など召命の喜びに満たされたが、この召命を共に祈る会の人々の祈りや犠牲、様々な支えの力をそこに見ることができるのではなかろうか。尚、5月には、第19回召命祈願徹夜祈祷会も準備している。（4面参照）多くの人の参加が期待される。

中・高生が手づくりした感謝ミサ

4月5日（土）、カトリック西新教会で、約1年半ぶりに福岡地区の中高生が企画する第二回合同ミサが行われた。ミサには中高生と青年を中心に約70人、遠く小倉からの参加もあった。

カトリック教会の原点であるミサの中で平和の挨拶を参列者全員が握手で応えあったり、事前に共同祈願を自分たちで考え、色々な工夫をして『何かいつもと違うミサを創ろう』と昨年の11月から準備を始めこの日を迎えた。

準備スタッフの話し＝「今回はどこの教会で、いつ頃にしようか？」という初歩的な所から、「聖書はどういう箇所を用いる？」などといった綿密な打ち合わせまで、四苦八苦しながらも、聖書の箇所については、一人一冊聖書を片手にスタッフみんなで『愛』とか『集団』とかいう箇所に絞ろうとか、ミサでうたう聖歌もそれに沿った曲を選曲しよう！と、お互いの知恵を出し合いながら、〝みんなが楽しいと思えるミサ〟を目指しました。また、茶話会の準備など、ミサを開催させて頂いた西新教会の婦人会の方々に様々な面で助けて頂き、感謝と思っていた時代とは違って来てますね。全員で平和の挨拶をできたときは、本当にカトリックの教会を感じ胸がいっぱいになりました。

当日のミサに参加した婦人の？＝助祭としての奉仕のために右腕が自由に動かせるようにです。

●どのような助祭でありたい？＝謙虚に人々の話に耳を傾け、仕える助祭でありたいです。

●残り少ない学生生活でやっておきたいことは？＝読みかけの本が沢山あるので読書を。

●では今、読みかけている本は？＝「東京タワー」リリー・フランキー。

●最後にメッセージを…＝福岡教区神学生を随時募集中です！お問合せは、お近くの教会の主任司祭や神学生まで。

十時伸治助祭の充実した助祭生活をお祈りいたします。ありがとうございました！

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

「新助祭に聞く！」～十時伸治助祭～

今回は、今年の2月に助祭に叙階された十時伸治助祭に青年達の質問に答えて頂きました。

●助祭とはどんな役割をもつ人？＝助祭はギリシャ語で「ディアコノス」といい、元々は「食卓の奉仕者」、次第に「他者に仕える者」を意味するようになりました。助祭はキリストに仕え、人々に奉仕する役割を持っています。具体的には、「荘厳に洗礼式を執行し、聖体を保管し、分け与え、教会の名において結婚に立ち会い、祝福し、死の近くにある者に聖体を運び、信者たちのために聖書を朗読し、人々に教え勧告し、信徒の祭礼と祈りを司会し、準秘跡を授け、葬儀と埋葬を司式する」（教会憲章29）ことができます。

●助祭と司祭の違いは？＝司祭は、叙階の秘跡によって、教会の頭であるキリストご自身から権能を与えられ、キリストの身分において、キリストの名において行動する者となります。助祭には、この権能が与えられていないので、ミサ、ゆるしの秘跡、病者の塗油などを行うことができません。

●なぜストラが斜め掛けな

福岡教区信徒協だより (14)

2007年度第4回教区代表者会議の報告

教区信徒使徒職協議会は年間4回の代表者会議を開催しています。

2007年度最後の代表者会議は2月3日でした。この会議の内容は、現在、教区内の4地区と各活動団体の報告と連絡が主体となっています。過去にはカトリックフェスティバルの開催などに大きな力を発揮しましたが、司教様が不在の間は教区独自の活動がないせいか、本来の使徒職活動について話し合うことが少なくなっていました。その上、地区毎の信徒使徒職活動の内容も違いが大きいようです。

他方、どこの教区も司祭の高齢化と司祭不足が顕著になっています。福岡教区も同様で何でも司祭に頼るのではなく、信徒も何ができるのかを考える時がすでに来ていると言えます。信徒協の役割も大切になってきています。そのため信徒協代表者会議も連絡協議会の実態から抜け出すことが必要です。地区毎の違いは地域特有のものがあるので、全てが同じになることは不可能と思われますが、信徒の役割や働きの認識を教区レベルで合わせる必要もあります。教区報に連載している、この信徒協欄も信徒協の活動を教区の皆さんに知っていただき信徒協活動を認識していただくことが狙いでもあるのです。

今回の代表者会議での一番大きな議題は5月に計画した「福岡教区信徒協役員研修会」でした。この研修会はこれからの教区の活動に大きな影響を与えるものになります。

日程は5月6日（火）の祭日に開催されることが決まりました。研修会の結果については参加した役員からお聞きください。信徒協も新しい活動へと歩みを進めています。

BOOK 読みは専科

★村　医

永井　隆　著

「この子を残して」「いとし子よ」で、幼い子どもたちへの思いをつづった著者が、本書では両親への思いを書き綴る。永井隆が両親をモデルに描いた、ある村医の物語。

永井隆生誕100周年記念に文庫化しました。

サンパウロ発売
945円（税込）

☆　☆　☆

★ツルのとぶ大地で
こやま峰子　文
小泉るみ子　絵

北国の美しい大地で、やさしい少女に成長していった自閉症の子ちおりちゃんの成長物語。

両親の愛、友達のやさしさ、ボランティアたちの支えが花開き実を結ぶ実話。

小学生向き。

女子パウロ会発行
1470円（税込）

☆　☆　☆

★福岡教区ハンドブック2008

2008年度の「福岡教区ハンドブック2008」ができました。各教会にお配りしていますので、小教区で入手してください。「信徒の心得」なども掲載しています。カレンダーも2年分入っていますので、集まりなどでも参考にして、行事の重なりなどをお避けください。

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年7月27日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：１回　500円

北九州 2008 年度聖書講座　マタイ

＊ 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。

第２回：
日　時：６月 29 日 (日)
場　所：カトリック戸畑教会
講　師：寺浜亮司神父（直方・田川教会主任）
テーマ：マタイ福音書５章 21-48　復讐してはならない、敵を愛せ

主催：北九州地区信徒協・聖書部会

ペトロ岐部と 187 殉教者列福特別献金のお願い

列福式：2008 年 11 月 24 日（月）
場　所：長崎県営野球場「ビッグＮスタジアム」
＊日本カトリック司教協議会は、わが国で初めて執り行われる列福式に向けて、着々と準備を進めています。日本の教会ならではの霊性、生き方を深める好機であると思います。皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。
＊献金は列福に関わる広報活動。司教協議会が主催・共催・後援する列福式関連の諸行事に使われます。
払込取扱 No：００１６０－１－４８３３４５
加入者名：
（宗）カトリック中央協議会列福献金口
問い合わせ先；
日本カトリック司教協議会 列聖列福特別委員会
〒 135 ー 8585　江東区潮見２－ 10 － 10
☎ 03-5632-4445　FAX 03-5632-4465

夏期神学講座開講のお知らせ

日　程：2008 年７月 24 日（木）～８月２日（土）
場　所：福岡サン・スルピス大神学院
内　容：神学、哲学、聖書等に関する講義
参加費：１科目（６時間）3000 円
問合せ先：福岡サン・スルピス大神学院
学務　大山悟神父
TEL 092-871-4943

聖霊による信仰生活刷新セミナー

会　場：カトリック大名町教会
時　間：10：30 ～ 12：30（受付 10：00）
参加費：自由献金（初回のみテキスト代）

プログラム

第１回４月 14 日	神の愛	マッケイ神父
第２回４月 21 日	救いのみわざ	ドワイヤー神父
第３回４月 28 日	新しい生命	オカロール神父
第４回５月　５日	神の賜物の受領	畠　神父
第５回５月 12 日	聖霊のみたし	マッケイ神父
第６回５月 19 日	聖霊のうちでの成長	アレックス神父
第７回５月 26 日	派遣のミサ	ガブリエル神父
	～キリストの証人	マッケイ神父

主催：聖霊による刷新福岡祈りの集い
問合せ先：Br. 床島藤吾　TEL（080）1737-6130

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し　５月のこよみ

福岡黙想の家ご案内　５月

◇４日(日) ～６日(火)　第47回クルシリヨ
◇７日(水)　ミカエル会
◇８日(木)　麦の会
◇９日(金) ～ 11日(日)　荒れ野塾
◇10日(土)　クリスチャン・ナース　グループ集会
◇11日(日) ～ 17日(土)　ザベリオ宣教会
◇17日(土) ～ 18日(日)　山口・島根信者養成研修会
◇21日(水) ～ 23日(金)　カトリック児童施設協会九州ブロック職員研修会
☆毎週火曜日は祈りの日(日帰り黙想ができます。昼食(粗食)付き・無料)
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：５月８日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：使徒の上に下って来た聖霊
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186 ・玉名郡和水町蛭浦1391-7・
E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：5月17日、6月7日　第1と第3土曜日10時～ 12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

５月のこよみ

４日(日)　主の昇天　みどりの日
８日(木)　召命祈願ミサ（大神学院19時半）
11日(日)　聖霊降臨の主日
14日(水)　聖マチア使徒
助祭・司祭候補者認定式（大神学院）
16日(金)　†ミカエル中浜一男〔2005年司教館〕
18日(日)　三位一体の主日

ドミニコ宮原良治司教着座式 14 時 福岡国際センター

20日(火)　**日本カトリック女性団体連盟総会**（～22日仙台）
24日(土)　召命祈願徹夜祈祷会（19時ミサ～翌朝主日のミサ）
25日(日)　キリストの聖体
大楠教会50周年記念ミサ
新田原教会聖体大会
島崎教会聖体行列
†L．グロージャン〔2006年田川教会〕
26日(月)　聖フィリポ・ネリ司祭
30日(金)　イエスのみ心
31日(土)　聖母の訪問

６月
１日(日)　年間第９主日
２日(月)　†ヨセフ松永久次郎司教〔2006年第５代教区長〕
３日(火)　†マテオ・ベッター〔2002年福岡黙想の家〕

＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は1990年以降からお載せしています。

◆福岡

■出会いの集い
〔日時〕５月５日(祝) ９時半受付～16時閉会〔場所〕カトリック大名町教会〔内容〕ミサやレクレーション〔ミサ〕櫻井尚明神父〔対象〕20歳から50歳までの独身男女(初婚)〔参加費〕２０００円(昼食代含む)〔問合せ〕各小教区担当者〔主催〕福岡教区カナの会・教区信徒協後援

■召命祈願ミサ
〔日時〕５月８日(木) 19時15分から〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔主式〕櫻井尚明神父(大名町教会主任)

■福岡結婚準備セミナー
〔日程〕５月10日～６月７日毎週土曜日18時半から21時半〔場所〕カトリック大名町教会〔対象〕婚約者・結婚を前提に交際している人(宗教は問いません)〔受講費〕二人で一万円(一人での参加費は６千円)〔問合せ先〕☎０９２・７４１・３６８７大名町教会
二人での参加が基本です。

■バザー・笹丘教会
〔日時〕５月11日(日) 11時から14時〔内容〕手づくり品コーナー・食堂&喫茶コーナー等〔目的〕教会聖堂の建築〔主催〕カトリック笹丘教会バザー実行委員会

■福岡ホスピスの会勉強会
〔日時〕５月11日(日) 14時から〔会場〕カトリック大名町教会〔テーマ〕最新のがん治療のあれこれ〔講師〕大島彰師(九州ガンセンター・サイコオンコロジー科部長)〔参加費〕会員５００円・一般１０００円〔問合せ〕☎０９２・８７４・６３２１

■召命祈願徹夜祈祷会
〔日時〕５月24日(土) 19時から25日(日) ７時まで〔場所〕カテドラル大名町教会〔主催〕召命をともに祈る会

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕５月11日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合先〕☎０９２・８４３・５８３１岩崎

■シスター根岸帰国講演会
〔日時〕５月17日(土) 10時半から〔場所〕カトリック大名町教会〔内容〕アフリカのシエラレオネは今（内戦時・内戦終結後から現在）〔講師〕Sr.根岸美智子（ご聖体の宣教クララ会）〔問合せ先〕☎０９３・９６２・１３９５福吉

■グレゴリオ聖歌ミサ
〔日時〕５月22日(木) 11時から〔場所〕聖クララ寮(福岡市南区塩原)〔内容〕聖マリアの祝日の為のミサ曲〔問合せ〕☎０９６・３８０・５６５８堺

■かたらんね・しゃべらんね…外国籍住民との集い…
〔日時〕５月25日(日) 13時から17時〔場所〕美野島司牧センター〔内容〕第10回総会〔テーマ〕定住化時代を迎えて〔参加費〕無料〔主催〕移住労働者と共に生きるネットワーク・九州

■美野島司牧センター
ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします。また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも合わせて募集しています。〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９　コース・マルセル神父

◆北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕５月８日(木) 12時から〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕ロザリオの祈り、ミーティング〔司式〕伊東成晃神父(門司教会主任)〔問合せ先〕☎０９３・９６３・２３５９江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕５月23日(金) 13時半から15時〔場所〕小倉教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父(御受難修道会)〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎０９０・３９８５・５２０９松田

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕５月14日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕５月28日（水）10時～12時はミサと祈り=毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎０９５２・３０・８３４７　吉武

◆熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕５月15日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎０９６・３６８・２８２５青木悟神父

■熊本結婚準備セミナー
〔日程〕５月10日～６月７日毎週土曜日18時半から21時半〔場所〕カトリック手取教会〔対象〕婚約者・結婚を前提に交際している人（宗教は問いません）〔受講費〕二人で一万円（一人での参加費は６千円）〔問合先〕カトリック手取教会☎０９６・３５２・７１８１　Sr竹内

■カトリック看護協会例会
〔日時〕５月11日(日) 14時30分から〔場所〕イエズスの聖心病院〔内容〕みことばの分ち合い〔問合せ先〕☎０９６・３５２・７１８１　Sr竹内

編集後記

新緑の美しい聖母月、こんなに美しい数々のマリア切手が世界中で発行されているとは驚きです。いよいよ宮原司教様を迎えます。新司教様を中心として聖母と共に歩んでいきましょう。
広報室のメールアドレスを掲載しました。寄稿なさる場合は直接このアドレスに送付いただければ幸いです。

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
☆医科臨床研修指定病院
☆歯科臨床研修指定病院
☆救命救急センター
＊＊＊募集＊＊＊
≪医師≫≪看護師・准看護師≫
※詳細は人事部へお問合せ下さい。
☆人間ドック・健康診断（宿泊・日帰り）
☆介護老人保健施設　聖母の家
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL.0942-35-3322(代表) FAX.0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

サンパウロ福岡宣教センター
キリスト教書籍・信心用品を販売しております
１階フロアー　絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか
２階フロアー　カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇
メダイ・CD・DVD ほか
〒810－0042　福岡市中央区赤坂1-14-26　（営業時間＝10:00～18:00）
TEL 092-721-2032　FAX O92-739-3930　（定休日＝日曜日・祭日）
WWW.sanpaolo.or.jp　E-mail:fukuoka@sanpaolo.or.jp　※当センターに地下駐車場が有ります。

宮原良治司教さま　ようこそ！

待望２年の着座式、3000 人が集い喜びと感謝の歌響く

カトリック福岡教区司教として着座をされたばかりのドミニコ宮原良治司教と高見大司教（中）、岡田大司教（左）

『神よ、あなたのみ国が来ますように』祈る教区に！

２年間司教空位だった福岡教区でドミニコ宮原良治司教の着座式が、５月18日（三位一体の主日）、盛大に挙行された。会場となった福岡国際センター（福岡市博多区）には司教、司祭、修道者、信徒３０００人の会衆が集った。着座式は本来カテドラルで行われるものであるが、聖堂では収容人数に限りがあるため、参加を望むすべての人が一同に集い、ともに祈ってほしいという配慮から国際センターが選ばれた。広い会場で、神の民としての一体感を感じさせるミサとなった。若者や子ども達を含む２５０人の奉仕には、家庭的なもてなしの心が随所に感じられ、会場内は温かい雰囲気に包まれた。

国際センターには、福岡教区内のみならず、大分、長崎、鹿児島からもバスが到着し、各地から集った信徒で会場は埋めつくされた。

13時半、宮原司教が到着し、川上惣一神父に案内されて会場入口に姿を見せると、期せずして拍手がおこり、すでに会場に入っていた大勢の信徒が立ち上がり、万来の拍手の波がおこった。

着座式は、最初に教皇ベネディクト16世からの任命書が提示され、牧山勝美神父によって朗読された。ボッター リ教皇大使に伴われた宮原良治司教は、福岡教区第６代の教区長として着座した。

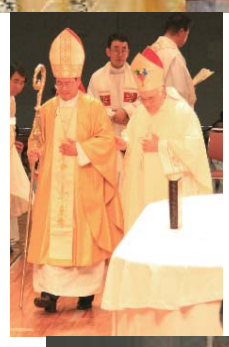
続くミサの中で、３人の中学生が答唱詩編を先唱。アレルヤ唱が歌われ、ヨハネ福音書が十時助祭によって朗読された。説教に立った、高見三明長崎大司教は、使徒の後継者としての司教の役割について話した後、朗読された福音（ヨハネ21・15ー19）から「司教はまず何よりも人として主への深い愛が求められる、また『わたしの羊を飼いなさい』と主が言われたとき、司教が牧するのは『キリストの羊』であり、司教に委ねられているのは洗礼を受けた方々のみならず、教区内に属する全ての人々であること、その中でも特に助けを必要とする人々に特別な配慮をするように」と語った。

奉納行列は大勢の子どもたちの手によってパンとぶどう酒、献金が祭壇まで運ばれた。奉納行列が始まると司教は思わず祭壇を駆け下りようとされた。この子どもたち一人ひとりに手を置いて祝福される司教の姿は温かさを感じさせた。この間、英語ミサグループによる拝領唱が美しく歌われていた。

ミサに続いて行われた祝賀式で教皇大使は、「福岡教区内より新司教選出を求める声が大きかったが、教皇が国籍にとらわれずに選出されるのと同様に、司教も必ずしも当教区より選出されるとは限らない」と述べ、教区民を気遣った。続いて司祭代表として平田敬神父、修道者代表シスター佐藤ミチ子、信徒代表として、牧山励氏が歓迎の言葉を述べた。

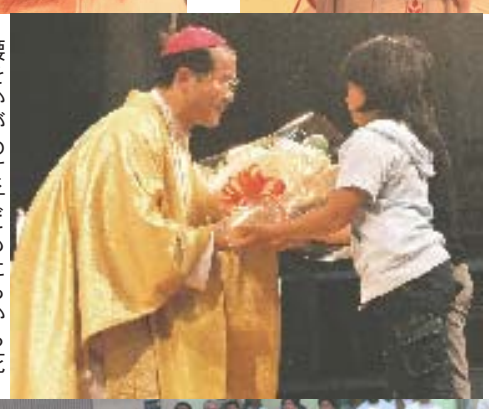
花束贈呈後、宮原司教は挨拶に立って「今はただ、月並みだが『ありがとう』の気持ちでいっぱいだ。また、皆さんが期待とともに祈っていた司教は、新品の司教だったと思うが、中古で申し訳ない。しかし、中古でも体力も気力もそして熱意も十分ある。この地に骨をうずめる気持ちで励みたい。皆さんは新司教がこの教区にどんな方針をもっているか、どんな計画があるかとお考えだろうが、今は特別なことは何も考えていない。神のご意志をお聴きしながら、皆さんとともに歩んでいきたい」と語った。

祝賀会場には「ドミニクの歌」が響いていた。



任命書を掲示する田中神父

大使のエスコートでカテドラへ



腰をかがめて子どもたちから花束を受ける司教

祝福を与えながら退堂する司教に歓声と拍手が湧き上がった

喜びに溢れる会場での参加者の声

◆「司教がいるという意味、大黒柱のようなものだなと思った。式中にあたたかい気持ちと喜びが伝わってきました、２年間の空位は神様のみ摂理だったんですね」（40代女性）◆「カトリック教会の素晴らしさを感じました。社会では堅いとか厳しいというように誤解されていますよ。こういう式典を市民にもお知らせしてよかったのではないでしょうか。」（30代男性未洗者）◆「宮原司教様は在日外国人のために心をかけてくださる方だったと大分にいる仲間から聞きました。福岡でも期待しています。（在日外国人女性）◆「特に印象に残ったのは宮原司教さまの子どもたちへの祝福ですね」（40代男性）◆「家庭的なもてなしの雰囲気がありました。ミサもとても分かりやすかった。一人ひとりの司教様を紹介されたことで、司教様を身近に感じました」（20代女性）◆「君はさっき奉納してくれた子だね」と、言われたよ。司教さま、みんな覚えとるんかね～」（奉納をした少年）。

……

着座式のミサ献金は、カリタスジャパンを通じて自然災害で被災された方々のための援助として送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。

「み国がきますように…」宮原司教の挨拶より

わたしのモットーは、「神よ、あなたのみ国が来ますように」である。私たちの中で始められた神のみ国が、大きく成長するように神の民が一致協力してほしい。そのためにはまず、祈りを大切にし、中心に置きたい。司教の重要な務めは祈りである。様々な活動の前に祈ること、活動の実りはどれだけ祈りこんでいるかということである。

６月に始まるパウロ年、そして１８８人の殉教者列福を迎える私たちは、多くの殉教者に支えられて力強く沖に船出しましょう。

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】キリストとの個人的で深い友情

【布教の意向】教会の中心・聖体

【日本の教会の意向】キリスト者の家庭のあかし

みちくさ

着座式に参列した信徒の声に、「２年間というブランクは神のみ摂理だったんですね」という言葉があった。その方の真意は定かではないが、無意味な２年間と思っていた私にとって、このとらえ方には、考えさせられるものがあった。前司教様逝去の後、半年程度で新司教様が任命されると考えて希望のうちに祈っていた教区民にとって、確かに２年間は長かった。時の経過とともに人々の期待は「なぜ、どうして」という疑問に変わり、それが諦めからさらに「もうどうでもいい」という無関心にまで発展しつつあったことも否めない▲あらゆることが高速化される現代において「待つこと」は歓迎されない。それは、「待つこと」の消極的な側面つまり、待つことは、何も発展、進行していないこととととらえたときはそうである。しかし、待つことには積極的な面もある。待たなければ湯は沸かないし、待たなければ子どもは健全な成長を遂げない▲イスラエルの人々は何千年もメシアを待っていた。彼らは、待ち望んでいるものが、自分たちが今いるところで、育ちつつあることをよく知っていた。「種は蒔かれており、そこに何事かがすでに始まっていると私たちが確信して待つなら、待ち望む姿勢は自ずと異なったものになる」と言ったある聖者の言葉を思いだす▲新しい司教様の誕生をイライラしたり、また無目的にぼんやりと待たずに、すでに新しいことが始まっていると確信して待ってこられた数多くの信徒の群れを頼もしく思う。宮原司教様、ようこそ！

（M）

カトリック福岡教区報
宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

ドミニコ宮原良治司教 福岡教区長就任の挨拶

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆様の上に豊にありますように。

福岡教区の皆様、慈しみ深い全能の父なる神様は、ベネディクト16世教皇様の裁可を通して、取るに足りない不肖私を福岡教区の教区長に計らって下さいました。神様のお望みと教区民の期待に応えることができるように、与えられた使命と責任を誠心誠意果たしていきたいと念じています。どうぞ、皆様の寛大で温かいご支援をよろしくお願い致します。

神様は、必要な時に、必要な所へ、必要な人を選んで派遣して下さいます。神様がお選びになる理由と目的は、人間の理解の及ぶ範囲ではありません。確かなのは、神様の選びが無償のお恵みであるということだけです。そして、その恵みには常に責任と使命が伴ないます。誰でも同じだと思いますが、私も、与えられる責任の重大さを思うと、恐れの念で震えおののいてしまいます。

しかし、最大の協力者である司祭団、更に修道者、信徒の皆様の惜しみない寛大なご協力を頂けるとの確信は、勇気と慰めと希望を奮い起こします。神様が望まれるような聖なる教会共同体を構築できるように、まい進して行きたいと思います。

最初に心に留めておきたいことは、歴代の司教様方への感謝の思いです。使徒継承の重大な任務を果たされながら、福岡教区に最大の愛情を注がれた司教様方、殊に、2年前の6月に突然ご逝去された松永司教様、その後に続かれた平田司教様に心からの敬意と感謝をこめて、両司教様の神の御許での永遠の至福を先ずお祈り致します。

更に、司教空位の間、旅する福岡教区の健全な歩みのために、教区管理者の川上神父様を初め、教区顧問団、信徒の皆様、修道者、司祭団のご尽力に心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、この度の私の福岡教区への就任と着座に際して、心強いお祈りとたくさんの励ましを頂きました。当日も、たくさんの方々が着座式に参列してくださり、熱心なお祈りを捧げて下さいました。本当にありがとうございました。着座式の企画準備、運営、実施など、たくさんの方々に貴い奉仕と犠牲のご協力を頂きました。皆様の温かいご配慮に、この紙面をお借りして、心から感謝します。

さて、福岡教区で取り組みたいと願っている目標は、「天におられる私たちの父よ、あなたの御国が来ますように」という祈りです。

これは、私たちの主キリストが切望して止まないお祈りであり、また主キリストご自身が、私たちにもその実現と到来を祈るようにお示し下さった切なるお願いでもあります。すなわち、神の子であり救い主である主キリストは、御降誕（受肉）の神秘を通して、人間の仲間入りをし、私たちの間にお住みになりました。またそのキリストは復活し、今も私たちと共にいて下さいます。今も生きておられるキリストは、私たちの中で、私たちを通して、神の御国の到来である神の御業を行ってくださいます。この神の御業に、私たちが強められ、豊にされ、喜びと輝きで満ち溢れるようになり、その輪が広がっていくことを祈り続けたいと念願しています。

神の御国は既に私たちの中で始まっています。それは、聖書の中で「からし種」に譬えられている通り、まだ小さいかも知れませんが、いずれ福岡、佐賀、熊本の県民の中で、沢山の方々が安らぐことのできる程大きく成長すると確信しています。そのために、皆様と心を合わせ、心を一つにして、聖霊の力強い導きをお祈りし合いたいと思います。

司教様の横顔（着座式会場で）＝**親族の方**「休みに帰省すると、早速父親とトントン船で釣りに出かけるのを楽しみにしていました。いつも帰省するのは突然で、両親や兄弟をびっくりさせます」。

司教を神学校に導いた道向神父「とても真面目な少年でした。初ミサの説教も立派だった」。**同郷の先輩の川添神父（帯山教会）**「自分が叙階された頃彼はまだオムツだったよ」と笑った。

司祭館の窓

聖なる読書（1）

聖書は神のみことば

聖書は文学作品としても高く評価され、信者ではない大勢の人たちも読んでいます。また聖書のテーマに基づいて作られた美術の名作も多いです。けれども信者にとって、聖書には、古典を超える魅力、特長があります。それは秘跡と並び、神との出会いの場、神に話かけたり、話かけられたりする場、つまり神体験する空間と時です。聖書は神のみことば、日々一人ひとりに語りかける手段です。だから聖書は人間に神から送られた手紙とも言われています。

聖書は過去のことばではなく、現在私たちにも語りかけていることばとして読まれるものです。古くから知られている箴言があります。「祈るとき、あなたは神に語りかけます。あなたが読んでいるとき、神はあなたに話しかけます」。これにもとづいて、10月ローマで行われる「教会生活における神のことば」の世界代表司教会議の提題解説には「現代のキリスト信者も、生活の源泉として、また、個人的なしかたで主と出会う手段として、神のことばを熱心に求めています。実にこうした個人的な出会いを通じて、目に見えない神は、『大きな愛によって、あたかも友に対するように、人間に話しかけ、彼らと住まいを共にしている。それは彼らを自分との交わりに招き、これにあずからせるためである』。このような神の寛大な啓示は、恵みによって絶えず行われます。この交わりは聖霊のわざによって行われます（＃2）」と。聖霊は聖書が書かれたとき、ただ一回だけ、聖書記者たちの上に働かれたのではなく、聖書を読む人の上にも常に働き、その導きによって聖書の読書は実を結びます。従って聖書を読む基本的な心構え、その前提は聖霊を呼び出すように祈願すること。聖書を手にし、そして聖霊の続唱を口から響かせて願いましょう。「聖霊、来てください」。

聖書を読むことによって、信じる者のいのちであるキリスト自身を知ることを学びます。『イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさ』（フィリピ3・8）。この「知る」はただ頭で知るだけでなく、聖書の表現で、体験によって学んだことを身に付け、人格的関わりを持った多様な次元、出会いなのです。「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時には、御子によって私たちに語られました」へブライ1：1―2

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』　その⑩

いのちの旅立ちを前に…

第十四号遺書

塩屋町できっともう一度お会いして、さよならを言うことができると思っていましたが、もう外出することもできず、ばたばたとこのような形でお別れして、とても心残りです。この2・3年このかたあなたの心を知り、近くにいてあげられればとそれを悲しく感じております。お会いできるなどはもってのほかであり、はかない人生であり、過ぎ去っていくものと考え、会ったのは別れることの始めだったのです。塩屋町にいました時この綿帽子の箱はきれいなとおしゃべりしていました。綿帽子は訳があって贈れませんので、半襟一つ、きんとん（？）の古い形見の袋を贈ります。私の気持ちのしるしです。

いろいろと又介殿とお話しになって下さい。この書簡を送り、冈封のものもお届け下さいますようにお願いします。すべては果たせぬ夢となってしまいました。方々へ手紙を書く必要があります。きく、あこの二人にさよならをお伝え下さい。又あけべにの切れがニつありますので中に入れておきます。

12月7日

おたつ　様

みや

カトリック難民移住移動者委員会を知っていますか③

「移動者」を簡単に言うと仕事で世界各地を移動している人たちのことです。世界中には様々な形で移動して働いている人たちがいますが一番多いのが船員です。日本は周りを海に囲まれていますのでたくさんの物資が港から出入りしています。

福岡教区にある港にもたくさんの船が出入りしています。北九州市には各区に港があります。製鉄会社や自動車会社などは社内に大きな港があり外国船が入っています。福岡市には博多港、南には三池港や八代港もあります。福岡教区には山口正美神父（聖アウグスチノ修道会司祭）が働いています。二人の神父は毎週港に入ってくる外国航路の船を訪問します。

今の船舶はコスト削減のために日本船でも外国人の船員をたくさん雇用しています。船員は一度出航すると何ヶ月も家に帰ることができません。船が職場であり住所になっています。この船を司祭が訪問するとフィリピン人の船員はとても喜ぶそうです。国土交通省は数年前にテロ対策ということで港に柵を設置して船員が上陸できないようにしました。そして船への訪問も厳しくなり、北九州では港のほとんどが制限されるようになりました。

移動者では、船員の他にヨーロッパにいるロマの人たちが有名です。この人たちは昔ジプシーと呼ばれた流浪の民です。亡くなられた濱尾文郎枢機卿はバチカンでの難民移住移動者委員会の責任者でしたが、在任中はヨーロッパの各地に住むロマの人たちのために熱心に働かれていることがカトリック新聞で報道されました。

稲垣良典セミナー　毎月第二金曜日（変更あり）20:00 ～ 20:45
＊テーマ：カトリック教会の教えについて
テキスト「カトリック教会のカテキズム」
＊初心者の勉強会・入門講座ではありません。
＊カトリック要理を深めたい司祭・修道者・信徒のための神学セミナーです。
PRAYER GROVE MUNAKATA
カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

第2回「ひかりあれ」信仰セミナー開催

4月27日（日）カトリック貧しい共同体（依存症者の集）は、福岡黙想の家で第2回信仰セミナーを開催した。テーマは「神の保護室からの証」。この共同体のメンバーは、「社会に必要とされないドン底の人生、生きる事も死ぬ事も出来ず、救いようのない者達の集まりから、ひかりあれプログラム、AAのプログラムを得て信仰を求め、神の恵みにより与えられた命の証を、多くの教会や信者の方々に、そして止める方法を知らないで苦しんでいる仲間にメッセージとして伝えていく事が新たな生き方の証です」と語る。今回のセミナーでも語られた様に、かつて世の中から全てにおいて見捨てられ、今も誤解や、理解されない事が多い中で、「本当に私達がのまないでいるためにアルコールから離れるためにはこの道と神様しかなく、今現在飲まないでいる事は奇跡です。」とも話す。また、スッタフは、今回の開催について福岡黙想の家の鈴木忠一神父、ミサを主式した西新教会の森山信三神父、「ひかりあれ」の創立者旅人、そして集いに参加したすべての人と交わりができたことを感謝したいと語った。

さらに、白柳誠一枢機卿からの「参加できませんが、お祈りしています」のメッセージに感謝を述べた。

今回の体験は第1回のセミナー同様、一冊の本になる。そして、彼らはすでに第3回目の開催地長崎に向かって歩き始めている。

WYDシドニー大会へ向けて準備会

5月17日（土）大名町教会で今年のワールドユースデイ（世界青年の日・WYD）第2回準備会が行われ、青年9名とシスター1名が参加した。

WYDは毎年受難の主日に各地域で行われるが、2・3年に1度は世界規模の大会が開催され、前回は2005年にドイツのケルンで行われた。今年の7月にはオーストラリアでシドニー大会が準備され、福岡教区からは青年7人とアシスタント2名が参加する。WYD大会は聖週間の典礼に基づいて構成された巡礼の旅。また大会前の準備期間・大会中・大会後の3段階の巡礼といわれる。そこで心の準備をして参加できるようにと福岡でも4月から集まりを始めた。

今回はS・フランコ神父（真命山・ザベリオ会）を講師に招き、「教会は教会のために存在するのではなく世界のために存在しており世界との対話が必要であること、教会の語源は"ekklesia"（集い）であり私達は神の愛によって集められていること、集まる私達の姿がキリストの証しの一つとなる」などの話を聞いた。教会や愛について考え直す機会となり、神の愛によって世代や宗教を超えて世界と一致したいと感じる機会になった。また大会中のイベントで日本は「炭坑節」を今回のテーマの「聖霊」風にアレンジして踊る予定で、福岡が準備担当。そのため、シドニー大会参加者を中心に集まり「聖霊」を表現出来るように振り付けを考えた。

今後、6月22日（日）に第3回目の準備会を予定している。

最後にスタッフの一人は「私達は、歩み続けていかなければ、求め続けていかなければ、そして全て神の恵みに与らなければ死ねないので す。出会いは神様からの一番の贈りもの、これからも多くの方々との出会いと良き知らせを伝えることを続けていきたいと思います。」と語った。

福岡教区修道女連盟 総会を開催

4月29日（火）福岡教区修道女連盟が、カトリック大名町教会において総会を行った。参加者は99人。

第一部で、森山信三神父（カトリック西新教会主任）が「殉教者の信仰に倣って」と題して講話をした。参加者は、殉教者が信仰の証し人であることを深めることができた。

「殉教者とは、その時代の国を治めている人々としっかりと対峙し、自分の信仰に固辞した人びとです」という言葉は特に心に響いた。また、「このことは現代の私たちにも、多いに関係があります。色々な価値観のある社会の中で生きている私たちは、何を選ぶのか。唯一の神を自分の神とし、教えのために人生を送れるのか。憲法9条、憲法20条について議論されて久しいが、その憲法改正の内容をよく理解することが必要。使徒言行録5・29に、ペトロが『人間に従うよりは、神に従うべきである…』と明言しているように、唯一の神を求め、その証人として生きることが大切」と話された。

続いて、森山神父、青木悟神父（修道女連盟指導司祭）の共同司式によるミサが行われ、共に信仰を深めること、その信仰のうちに成長すること、その信仰からの奉仕の生活を全うする恵みと祝福を願った。

第2部の総会では、前年度の報告、新年度の体制として、新会長に佐藤ミチ子修道女（マリアの宣教者フランシスコ修道会）が承認された。

訃報

ジャン・ルイ・カズレ神父（サン・スルピス司祭会）

4月25日、カナダ・モントリオール大神学校で逝去。81歳。1926年生れ。1950年司祭叙階。53年来日。福岡サン・スルピス大神学院養成者。64年横浜小神学院に就任。72年以降、中米、アフリカなどの神学校で教えた後、モントリオールの神学校で静養していた。厳格な面もあったが、日本をこよなく愛し、ビールとカレーライスが好物だった

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

福岡地区青年会　～新青年歓迎会～

5月11日（日）、サン・スルピス大神学院で新青年の歓迎会が開催された。参加した新青年は10人。迎える側の青年も大勢参加。加えてシスターや神学生の方も顔を出してくださり合わせて40名ほどが集いました。心配されていた天候は前日の雨を感じさせない上天気。少し汗ばむほどの陽気の中、新緑の大神学校でサッカー、バレーボール、キックベースなどのスポーツに挑戦。広いグラウンドを目一杯走り回り、新しい青年たちと一緒に大いに盛り上がりました。来月には大神学生VS青年のサッカー対抗戦も予定されているのでお互いの実力を見極める機会にもなったようです。体を動かした後はそれぞれが持ち寄ったお菓子パーティ。シスターお手製のお菓子やお料理にも感激し、楽しいひとときを過ごしました。今回初めて青年会の仲間に出会った新青年の一人は「また是非来たいです」と笑顔で話していました。

これからも今回出会った新しい青年たちとの交流を深め、信仰を語り合い、青年活動をより活発に、より豊かにしていきたいと思います。

福岡教区信徒協だより(15)

4地区合同「福岡教区信徒協役員研修会」開催

福岡教区信徒協（牧山勤会長）は、「いま、私たちにできること」―殉教者の生き方に学ぶ―をテーマに、5月6日（火）大名町教会で初めての1日役員研修会を開催した。参加者は4地区の信徒協役員と担当司祭、各活動団体役員計58名。

その開催趣旨は、「教区信徒協構成員が一堂に会し、教区信徒協活動の現状と課題について意見を交換し、今後の活動に活かす」だった。

今回の研修会にあたっては予め参加者に資料―「日本の殉教者たち」（古屋源神父講演集）、「世界の教会の動きと日本のナイスの目指すもの」、「分かち合いの設問」の3部―を送り、それに目を通し、それをもとに小グループに分かれて分かち合うスタイルがとられた。

当日はまず同心円ゲームから始まりリラックスした雰囲気の中で、長崎地・浦下幸弘司氏による研修会を行うにあたっての話一導入一があった。

その後分かち合いに移り、分かち合いは、時間が過ぎるのも忘れて活発な話し合いが行われた。

分かち合いおよび全体会での意見の中で、家族に古え信仰を十分伝えられていない実態が示された。このことは、アジアの司教たちの反省で「キリスト者に、キリストから来る喜び、自信、積極性がない、つまり社会に働きかける積極性がなく、子供の信仰を育てる自信も実力もない」（1987年の世界代表司教会議）という厳しい指摘があり、それを反映するものであった。

今年列福される殉教者の多くは家族であり、その強い信仰は幼い子供たちにも確実に伝えられていたことは、殉教の記録を読むと明らかである。祈り、信仰教育、よく組織化された小グループ（慈悲の組、聖母の組、聖体の組）の存在があって、社会にも影響を与えるほどに成長できたのだと思われる。

そのほか全体会では、「ほとんどの人は幼児洗礼であろうとなかろうと教会を離れる時期があり、その時こそ教会はかかわりを大切にし戻って来やすい環境を作ることが大事」「私たちは教会の中で生ぬるい生活をしているのではないか、との自分への問いかけを感じた」「信徒の社会的意識を高める養成コースをぜひ作って頂きたい」「このような研修会を司祭団と一緒にできれば」などの意見が出された。

最後に渡邊松副会長の「信徒協を通して神の国の建設のために働くことを具体的に考えていこうと思っています。小さな一歩ですが、大きな歩みにつながるものと思います」という閉会のことばで散会した。

この研修会の結果を受けて、各地区は「今後どう活かしていくのか」を、次の教区信徒協代表者会議で提案することになっている。

やっと小さな一歩が踏み出された。これからの信徒協の歩みに注目していただきたい。

BOOK 読みは専科

★キリスト教と人権思想
日本カトリック大学キリスト教文化研究所連絡協議会編

経済発展の問題が優先される現代社会で見落とされがちな人間のもっとも重要な課題である尊厳、品位について、さまざまな視点から現代人に考察を促す資料。

サンパウロ発行　3150円（税込）

☆　☆　☆

★移住者と共に生きる教会
谷　大二ほか共著

世界的な移住の現象の中、日本にも外国からの移住者が急増している。移住者にとっても受け入れる側にとっても暮らしやすい社会はどうあったらよいのか？家庭・親子の問題、学校教育や労働問題などが抱える切実な現場の実情と他文化共生に取組むカトリック教会の対策と希望を、移住者からの生の声とともに簡単にのべている。

女子パウロ会発行　1155円（税込）

☆　☆　☆

★恵みの風に帆をはって
ペトロ岐部と187殉教者物語
高松教区司教　溝部脩　監修

「いのちに代えても、ゆずることのできないものがある」。殉教者たちが現代に伝える希望の福音。

ドン・ボスコ社発行　1890円（税込）

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年7月27日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：１回　500円

北九州 2008 年度聖書講座　マタイ

＊ 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。

第２回：
日　時：６月 29 日（日）
場　所：カトリック戸畑教会
講　師：寺浜亮司神父（直方・田川教会主任）
テーマ：マタイ福音書５章 21-48　復讐してはならない、敵を愛せ
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

ペトロ岐部と 187 殉教者列福特別献金のお願い

払込取扱 No：００１６０－１－４８３３４５
加入者名：(宗) カトリック中央協議会列福献金口
問い合わせ先；
日本カトリック司教協議会 列聖列福特別委員会
〒 135 ー 8585　江東区潮見２－ 10 － 10
☎ 03-5632-4445　FAX 03-5632-4465

夏期神学講座開講のお知らせ

福岡サンスルピス大神学院では、今年も夏期神学講座を企画します。この講座は、臨床パストラルケアワーカー養成のために始められた講座だが、近年、信徒や修道者の方々の受講も受けます。人間として、カトリック者としての自分の信仰を、神学的見地から再度、見直し確認するために有益です。

講義日程と担当講師

７月 24 日 (木)	新約聖書	湯浅利治神父
７月 25 日 (金)	旧約聖書	嘉松宏樹神父
７月 26 日 (土)	信仰と理性	谷隆一郎（九州大学教授）
７月 27 日 (日)	神学概論	高木善行神父（午前のみ）
７月 28 日 (月)	臨床パストラル	盛　克志神父
７月 29 日 (火)	罪といやし	熊川幸徳神父
７月 30 日 (水)	ミサと祈り	白浜　満神父
７月 31 日 (木)	三位一体の神	阿部仲麻呂神父
８月　１日 (金)	神学的人間論	大山　悟神父
８月　２日 (土)	苦と死の意味	大山　悟神父（午前のみ）

時　間：
午前：9:00 ～ 11:50 （昼食） 午後：14:00 ～ 16:50
受講料：１日　2500 円　昼食代　500 円
（午前のみ受講：昼食込み　1500 円）
締　切：７月 10 日
宿泊希望者：１泊 6000 円（申込みは６月 20 日まで）
宿泊は学生の部屋になりますので、冷房なしです。
問合せ：福岡サン・スルピス大神学院
学務　大山悟神父（☎ 092-871-4943）
◆日帰り・受講だけの申し込み：
・大神学院　学務　大山悟神父（☎ 092-871-4943）
◆宿泊者の申込先：
・臨床パストラル教育研究センター
☎：03-3700-3425　Fax 03-3700-3427
メール：pastoraltokyo@y8.dion.ne.jp

夏期召命学校開校予定

日　時：８月 19 日（火）～ 21 日（木）
場　所：召命の家（予定）
主　催：福岡教区召命委員会

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

福岡黙想の家ご案内　６月

◇２日(月)　福岡地区司祭集会
◇２日(月) ～４日(水)　御受難修道会・共同体の日
◇６日(金) ～８日(日)　荒れ野塾
◇11日(水)　ミカエル会
◇15日(日) ～ 16日(月)　聖マリア在俗会黙想
◇21日(土) ～ 22日(日)　黙想の家後援会・黙想会（指導；来住神父）
◇22日(日)　後援会総会
◇28日(土) ～ 29日(日)　三位一体の聖体宣教女会黙想

☆毎週火曜日は祈りの日(日帰り黙想ができます。昼食(粗食)付き・無料)
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：６月12日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：「賜物である聖霊を受けなさい」：堅信の秘蹟で受ける聖霊
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100　FAX0968・85・3186　・玉名郡和水町蛭浦1391-7・
E-mail　shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月7日、6月21日　第1と第3土曜日10時～ 12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

６月のこよみ

１日(日)　年間第９主日
武雄・鹿島教会50周年記念ミサ（鹿島教会14時）
２日(月)　†ヨセフ松永久次郎司教〔2006年第５代教区長〕
松永司教追悼ミサ（浄水通教会７時）
３日(火)　†マテオ・ベッター〔2002年福岡黙想の家〕
４日(水)　†ミカエル西田邦洋〔1996年若松教会〕
７日(土)　†P.ダイヤモンド〔2006年崎津教会〕
８日(日)　年間第10主日
茶山教会50周年記念ミサ（14時）
10日(火)　**幼稚園園長会**（教区本部10時半）
11日(水)　聖バルナバ使徒
15日(日)　年間第11主日
菊池教会堅信式
17日(火)　～19日(木)
全司祭研修会
21日(土)　†深堀仙右衛門司教〔1985年第３代教区長〕
22日(日)　年間第12主日
ＷＹＤプレカテケジス（カテドラル13時）
24日(火)　洗礼者聖ヨハネの誕生
28日(土)　「聖パウロの年」開始（～2009年６月29日まで）
29日(日)　聖ペトロ聖パウロ使徒
〔聖ペトロ使徒座への献金日〕
７月
３日(木)　聖トマ使徒
†平田正喜〔1994年老司教会〕
５日(土)　†F.ハンター〔2000年手取教会〕
６日(日)　年間第14主日
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は1990年以降からお載せしています。

◆福岡

■祈りの集い
〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕カトリック大名町教会〔問合せ〕０８０・１７３７・６１３０ブラザー床嶋

■召命祈願ミサ
〔日時〕６月12日(木) 19時15分から〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔主式〕中村彰神父（カトリック戸畑教会主任）

■青年黙想会
〔日時〕６月14日(土) 20時から15日16時まで〔場所〕カノッサ修道女会太牟田修道院〔テーマ〕あなたは誰？〔対象〕キリスト者、求道者〔同伴〕Sr.大田〔会費〕１５００円〔問合せ先〕☎０９４４・５８・５７９３カノッサ会シスター大田（E-Mail:sis.ak@hotmail.co.jp）

■召命を共に祈る会
〔日時〕６月19日(木) 14時30分から〔場所〕召命の家〔指導〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕６月22日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合先〕☎０９２・８４３・５８３１岩崎

■第48回福岡典礼聖歌研修会
〔日時〕６月22日(日) 13時30分から〔場所〕笹丘教会〔テーマ〕詩編を歌う〔講師〕深堀純氏〔問合せ先〕０９２・５４１・３７３０松山

■ＷＹＤプレカテケジス「若者の集い」
〔日時〕６月22日(日) 13時〔場所〕カトリック大名町教会〔主催〕ＷＹＤ日本事務局〔目的〕今年の７月にオーストラリアで開催されるシドニー大会へ向けて、参加者も参加できない者もテーマである「あなたがたの上に聖霊が降ると…」（使徒言行録１・８）を学ぶ集いです。

■第２回大名町キリスト教講座
〔日時〕水曜日19時からと金曜日10時から同じテーマで進められます〔場所〕カトリック大名町教会信徒会館〔内容〕Ⅰ期＝自分との出会い（全15回）Ⅱ期＝キリストとの出会い（15回）Ⅲ期＝教会との出会い（15回）〔対象〕洗礼を受けた方で、より信仰の恵みを深めたい方・求道者の方〔リーダー〕信徒と司祭〔参加費〕自由献金〔問合せ〕大名町教会☎０９２・７４１・３６８７櫻井神父

◆北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕６月12日(木) 14時から〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕ロザリオの祈り、ミーティング〔司式〕伊東成晃神父(門司教会主任)〔問合せ先〕☎０９３・９６３・２３５９江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕６月27日(金) 13時半から15時〔場所〕小倉教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父(御受難修道会)〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎０９０・３９８５・５２０９松田裕子

■宣教の在り方を考える集い
〔日時〕７月21日(月・海の日) 10時から16時まで〔場所〕カトリック大名町教会〔テーマ〕自然のままをもって生きよう…〔参加費〕１０００円（お弁当は別途５００円）〔問合せ先〕０９３・６２２・１２８９瀬下幸弘〔締切〕６月22日先着60名

■紫苑COM・心のセミナー
〔日時〕７月20日(日) 14時から16時〔場所〕カトリック案内所（福岡黙想の家入口、ログハウス）自由ヶ丘南２丁目バス停前〔テーマ〕「赦し」について Ⅰ〔講師〕小宮豊精神神経科医師（小宮クリニック院長）、鈴木忠一神父(御受難修道会)〔参加費〕自由献金(茶菓子付き)〔問合せ先〕０９２・４３１・４０・３３・２７３１　吉永

■美野島司牧センター
ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします。また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも併せて募集しています。〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９　コース・マルセル神父

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕６月11日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕６月25日（水）10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎０９５２・３０・８３４７　吉武

◆熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕６月12日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎０９６・３６８・２８２５青木悟神父

閉鎖のお知らせ

＊福岡典礼センター
「ピエタ」
５月末日で閉店
＊師イエズス修道女会
６月末日まで
＊「ピエタ」の業務は長崎典礼センターが継承します。

編集後記

教区民が一つになって準備し、挙行した着座式でした。みなさんの熱意とパワーを感じました。取材や写真撮影を快く引き受けてくださった皆様に感謝いたします。２年間、教区管理者として教区をリードされた川上惣一神父様、本当にお疲れさまでした！

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
*** 募集 ***
≪医師≫≪看護師≫
勤務形態：4週8休 ※詳細は人事部へお問合せ下さい。
★がん診療連携拠点病院★地域医療支援病院
★入院基本料(一般病棟)7：1
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

サンパウロ福岡宣教センター
キリスト教書籍・信心用品を販売しております
１階フロアー　絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか
２階フロアー　カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇
メダイ・CD・DVD ほか
〒810－0042　福岡市中央区赤坂1-14-26　（営業時間＝10:00～18:00）
TEL 092-721-2032　FAX 092-739-3930　（定休日＝日曜日・祭日）
WWW.sanpaolo.or.jp　E-mail:fukuoka@sanpaolo.or.jp　※当センターに地下駐車場が有ります。

カトリック 福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

新教区長を迎えての司祭研修会

「パウロ年」の学びと協力体制を確認した司祭団

2008年度の福岡教区全司祭研修会が、6月17日から19日まで熊本県の阿蘇で50人の司祭が参加して行われた。

今回は、聖パウロ生誕2000年を記念する「パウロ年」を受け、聖パウロ修道会の夫津木昇神父を講師に、研修会を行った。最終日には、宮原良治司教から司祭団との関り、協力体制の構築などの語りかけがあり、新しい司祭評議員の発表なども行われた。

研修会のはじめに講師の夫津木神父に、どうして「フランシスコ・ザビエル年」でも、「ドミニコ年」でも、「ペトロ年」でもなく、「パウロ年」なのか、と問いかけられた司祭たちは、あまりその意義について考えていなかったことにまず気付かされた。教皇が「聖パウロのような証し人になりなさい」とメッセージの中で述べているのは、キリストのために犠牲を払ってでも証し人として生きる人が減っている事実があるからだと講師は指摘し、その背景に、自己中心的、他人への無関心な生き方が世界に、そしてこの日本にも蔓延しているのではと分析した。その上で、わたしたち日本の教会も本当の意味で皆が一つの歩みになっているのかと問われ、自分たちが感じている問題をズバリ指摘された感じを受けた。そして、このような状況の中、パウロに学ぶことの重要性を一同は確認した。

その上で、そもそもパウロとはどういう人か具体的に知っているのだろうかという問いが出された。まず、書簡の導入部に記されているパウロ自身が自分のことを述べている箇所からはじめて、パウロが語るパウロ像と他の人から指摘されたパウロ像を学び、彼が偉大な宣教者であると同時に、偉大な司牧者であったことを学んだ。しかも、それは、たとえ失敗してもくよくよする間もなく次の宣教へと赴く、たとえ困難、苦しみを味わっても、証し人としての使命への熱意があったことに、司祭として果たして熱意を持って司牧しているのかと自分を見つめる機会となった。また、パウロ自身が、自分一人で活躍したのではなく、たくさんの協力者がいた姿から、司祭として、教会共同体を知り、協力して働くことの重要性を再認識する機会となった。

講話を受けて行った分かち合いでは、パウロ年を活かすため、たとえば主日の説教を第2朗読の書簡を中心に組み立てようとか、パウロのようなメディアの活用も考えようという意見も出ていた。

最終日には、司教からの報告とお願いの時間が設けられた。司教は司祭団に対し、司教として様々な権限があるのは事実だが、ひとりでは何もできないので、福岡教区を神様の望まれる方向へ導くために司祭団に協力してほしいと願い、そのためにフランクな話し、付き合いを大事にしたいと述べた。

また、有能な司祭がいても、ひとりだけで働いては限界があるわけで、いかに司祭団として力を結集できるかが大切であり、「交わりの中の交わり」を大事にしようと呼びかけた。その上で、司教のもと協力体制を構築するため、新しい教区の役職、担当、司祭評議員が発表された。また、先に行われた司教総会の報告や、パウロ年の教区内巡礼教会指定などが行われた。

司祭団として一致しながら、「父よ、み国が来ますように」という宮原司教のモットーの実現のために、聖パウロにならいながら、熱意をもって司祭団として一致しながら働こうと決意を新たにした研修会となった。

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】キリスト者の共同体
【布教の意向】世界青年の日
【日本の教会の意向】若者が真理を見いだせるように

7月の意向

特別聖年『パウロ年』

2008年6月28日～2009年6月29日

教皇ベネディクト16世は、聖パウロ生誕2000年を記念し一年間を「パウロ年」と宣言。同時に、教皇庁内赦院は特別免償についての教令を発布しました。

宮原良治司教は特別免償に関する巡礼教会として下記の5教会を指定しました。

聖パウロの名の教会：佐賀教会
福岡地区：大名町教会
筑後地区：久留米教会
北九州地区：小倉教会
熊本地区：手取教会

特別免償を受けるための条件など各規程は、各教会に配布されていますのでお尋ねください。

天神から5・6キロ 大楠教会

教区内4教会が50周年を祝う

5月・6月と佐賀地区、福岡地区など4つの教会が50周年を祝った。どこも新しい司教の着座を待っての式典で、信仰の恵み、共同体の一致を感謝した。

昭和33年（1958）3月に産声をあげた大楠小教区は、創立当時の信徒数90人はいまや348人の信徒数を数え、幼稚園と共に50年の道のりを歩んできた。

記念ミサは、5月25日、18日着座したばかりの宮原司教を迎えて、感謝のうちに行われた。ミサには、歴代の主任司祭や近隣の司祭、信徒が駆けつけ150人ほどが参加し、ともに喜びを分かち合った。説教の中で司教は、「ある司祭から説教は短めにと言われたので」と話し始め「神は愛である」と3回繰り返えし、説教を終えようとされると、信徒の「もう少しお願いします」の声に「これまでの歩みは、長い年月の中でこの教会に関わってこられた方々の信仰の賜物である」と感謝の言葉を述べられた。

ミサ後幼稚園に場所を移して行われた祝賀会で、信徒会長林氏は「この大きな喜びとお祝いの日を期に、司教様の着座式でのお言葉の通り、祈る信徒、祈る共同体にしていきましょう」と語り、盛会のうちに祝賀会を終えた。

ミラノ宣教会と共に鹿島・武雄教会

武雄教会

鹿島・武雄両教会の創立50周年記念感謝ミサは、6月1日、武雄教会において宮原良治司教司式のもと行われた。

穏やかな日差しのもと、創立時の主任司祭はじめ教区内各地から集まった司祭、鹿島・武雄両教会の信徒、また遠近から参列した多くの人たちが過ぎし50年の恵みを感謝し、新たな50年への神の導きを願って祈りを捧げた。

ミサ後、幼稚園に場を移しての祝賀会では、鹿島・武雄両教会信徒の暖かいもてなし、両教会を司牧するマネルバ神父の「50周年の歌」などで大いに盛り上がり、楽しく有意義な一日であった。

第二次大戦後、当時の第2代福岡教区長深堀仙右衛門司教の要請に応え、佐賀地区をミラノ外国宣教会が受け持つこととなった。そうした中、昭和20年代後半に相次いで来日した司祭たちは佐賀や唐津の教会を拠点に県内各地で活動を始めると共に、教会創設に努めた。

昭和32年（1957）10月7日、ムラトリ神父を初代として創設された鹿島教会は「ロザリオの元后」に奉献された。鹿島には慶長12年（1607）に教会が建てられていたが、同18年の禁教令で取り壊されており、実に334年ぶりの再開であった。その後、市の道路計画で現在地に移転、711坪の敷地に教会と幼稚園を新築した。当初の鹿島教会（信徒数110人）は、有明干拓の堤防工事で働いていた長崎からの信徒が多かったが工事完了と共に引き揚げ、現在は県内9つの教会の中で一番小さな共同体（現信徒数52人）ではあるが、しっかりと鹿島に根をおろして頑張っている。

武雄教会は、教会用地を探し回っていたルッチ神父の数奇な出会いによって杵島炭坑の高取氏別邸を手に入れ、敷地681坪、建坪146坪の純和風。床の間を祭壇に、畳敷きの座敷を聖堂にして、昭和33年9月23日に献堂式が行われた。この「イエスの至聖なる聖心」に奉献された教会の初代主任は、現在も伊万里教会主任として活躍中のガッザルディ神父である。

昭和35年に建物の一部を取り壊した建材で幼稚園を建設、同45年には教会を現在地に移築して幼稚園の園庭を広くしたが、聖堂は往時のままに純和風である。

創立当初の武雄教会（信徒数90人）は炭坑で働く長崎からの信徒が中心であったが、閉山後は地域住人である信徒がしっかりと祈りと活動を続け現在80人の共同体である。

五島の曽根がルーツ 茶山教会

梅雨入りの6月8日14時、重苦しい鉛色の空を吹き飛ばすようにカトリック茶山教会（現信徒数406人）の創立50周年記念式典が感謝のうちに執り行われた。茶山教会は初代福岡教区長チリー司教について、長崎から来た竹山倉松氏に端を発する。彼の出身地である五島・曽根からの人々が主に移り住み1955年11月3日、信者一同の労働奉仕で聖堂を建立、その後、1958年1月15日小教区として独立し、ファチマの聖母に捧げられた。

記念ミサは宮原良治司教の主式に司祭8人、信徒120人余りが参加し、喜び祝った。宮原司教は「イエス様は社会から忌み嫌われている人々に近づき、彼らを大切にしました。本当の福音は宗教、民族、国境を越えるものです。50周年を越えるこの時もこの考えを堅持し、未来に進んでください。祈りから一番遠い人のために祈りを捧げましょう」と説教された。

ミサの後に祝賀会が開かれ、信徒一人ひとりと宮原司教との一言会話と笑顔に包まれた握手に感謝し、鵜野神父（第4代主任）のバイオリンなどで有意義で楽しい一時を過ごした。最後は現主任司祭の山田成章神父よりミサに参加したみんなへのお礼と共に茶山教会の家族的雰囲気を強調して、これからの茶山教会の歩みを宮原司教の手に任せる旨を表明し、みんなの協力を仰いだ。

みちくさ

物事を成功させるためには、計画、ヴィジョンをしっかりもっていることが必要である。そのヴィジョンに向かって段階的に努力し、進んでいく。そこに張り合いもある。小生は小さな共同体をあずかっている者だが、その共同体のヴィジョン作りに日々苦労している▲さて6月28日からパウロ年が始まった。聖パウロこそ、神のヴィジョンを携えて大活躍した偉大なる宣教者。小生も聖パウロと共に歩む年にしたいと考えている。これまでより熱心に聖書に親しむことであるいは十分かもしれないが、みちくさのつもりでこれを機会に聖パウロについての本をできるだけ読みたいと思っている▲先日ある修道会の叙階式に参加した。その修道会にとっては、久々の叙階式。素晴らしい叙階式であった。司式の司教と一緒に、たくさんの司祭たちの按手によって受階者の上に聖霊の賜物が祈り求められ、新しい司祭が誕生した。聖霊に熱心に祈る。神の計画を遂行するためには、聖霊の賜物を祈り求めることを忘れてはならない。「聖霊は、わたしたちの弱さを助けてくださいます。わたしたちはどのように祈るべきかを知りませんが、聖霊ご自身が、言葉に表わせないうめきを通して、わたしたちのために執りなしてくださるのです」（ロマ8・26）と聖パウロは教えている▲福岡教区も新しい司教様を迎え、喜びのうちに聖霊の御助けを祈りながら、新たなヴィジョンをもって進んでいく。教区民が一致して共に祈り、支え合いつつ福音宣教に邁進していきたいものである。（N）

聖なる読書（2）

みことばに触れる「読書」

現在、日曜日の典礼には二つの恐れが潜在している気がします。それはみことばを読んでもらうため、ミサ以外では自分で聖書を読もうとしない恐れです。またパンフレットを使うので、聖書そのものに触れないし、使い方も知らないという恐れもあります。そうならないように、聖書にさわる機会や習慣を身に付け、自分で声を出して聖書を読むことは、意義深いことだと思います。

古くから伝統的な聖書の読み方があり、ラテン語で「レクチオ・ディヴィナ」と呼ばれてきました。「レクチオ」とは名詞で読書、「ディヴィナ」形容詞で聖なるという意味、つまり「聖なる読書」です。これは勉強でも、祈るための材料や準備でもない。信者にとって聖書を読書することと自体が祈りです。従って聖なる読書とは神について何かを知るためではなく、神ご自身と出会うために読むこと（前回参照）。聖なる読書が決まった時に行われるのは大事なことです。人それぞれにその「時」は異なるが、それを忠実に、実践するのです。同じように、一貫した朗読も必要です。

毎日、あるいは主日の朗読書があるから、それに従う。聖書の中の一つの書を、始めから終りまで通して読む場合はそれでよいでしょう。ある箇所を読む場合、一度目を通すだけでなく、何回も読みかえしましょう。声を出して読めば、いいかもしれません。「落ち着いてゆったりした読み方」です。みことばは、本来、聴くべきものなのですから。

また、福音書の箇所を暗記するほどよく知っているなら目で箇所を心に刻みつけてみましょう。聖書の一節を繰り返し、言葉一つ一つを丁寧に読むことによって、大切な部分が浮かんできます。具体的に例えばペンを手にして、心に響いた言葉に下線を引いたり、蛍光マーカーでキーワードに印をつけたりすると、そこに表れている人々の行動や心の働きに触れ、その場に参加しているような経験をするでしょう。

さらに並行箇所を読み、注解がついている聖書であればそれも調べます。その日の箇所の前後の箇所や、関係のある他の箇所にも目を留めてみましょう。

みことばは互いに説明し合っていますから。「聖書による聖書の解釈」、これが聖書読書についての揺るぎない基準です。この方法に従い、一定の時間で一定の箇所をゆっくりと読むことを実践するなら、聖なる読書は日曜日の典礼の準備とその延長になるに違いありません。

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

２００７年の福岡教区現勢

2007 年 12 月現在

小教区名	在籍信徒数 男	女	合計	不明 計	死亡 計	転入 合計	転出 合計	洗礼 幼児	成人	ミサ参加者数 主日	復活祭	降誕祭	外国語
1 糸島	195	225	420	47	1	20	1	0	0	120	150	230	0
2 今村	437	553	990	0	18	1	1	3	2	650	700	800	0
3 大楠	148	200	348	15	4	1	1	3	3	100	230	600	30
4 大牟田	107	202	309	1	3	12	4	1	3	100	200	300	25
5 小郡	154	242	396	8	3	5	3	2	0	130	250	250	0
6 久留米	446	640	1,086	152	11	14	15	14	10	400	600	800	30
7 古賀	416	522	938	11	3	14	3	2	10	223	448	630	0
8 笹丘	356	516	872	21	5	25	10	5	3	250	300	550	0
9 浄水通	182	275	457	0	4	18	4	0	0	150	250	400	0
10 大名町	704	1,072	1,776	49	13	45	35	19	27	505	805	2,505	120
11 高宮	249	375	624	51	5	6	19	2	2	110	250	250	0
12 茶山	199	207	406	34	1	2	7	1	0	91	130	175	18
13 西新	585	767	1,352	21	11	37	22	13	3	400	500	800	0
14 箱崎	119	206	325	8	3	25	6	1	3	90	200	325	0
15 光丘	589	667	1,256	95	7	14	7	6	3	250	350	490	0
16 二日市	294	396	690	13	5	12	17	5	2	250	390	530	0
17 本郷	315	367	682	11	7	6	5	2	5	350	550	655	0
18 吉塚	329	431	760	0	7	8	24	3	0	150	260	310	0
19 老司	283	315	598	40	5	2	5	0	2	100	200	230	0
福岡地区計	6,107	8,178	14,285	577	116	267	189	82	78	4,419	6,763	10,830	223
20 飯塚	119	147	266	5	2	3	5	4	1	75	180	200	0
21 黒崎	468	652	1,120	9	6	10	13	3	2	400	500	800	0
22 小倉	876	1,371	2,247	418	22	15	18	6	8	500	800	1,200	0
23 新田原	835	941	1,776	58	19	7	53	3	1	700	880	888	0
24 田川	36	56	92	0	1	2	0	1	1	30	50	90	0
25 天神町	91	162	253	24	4	0	0	0	0	70	130	200	0
26 戸畑	287	388	675	0	8	2	2	10	8	200	250	700	0
27 直方	83	79	162	0	0	6	0	1	2	40	80	120	0
28 水巻	340	429	769	0	9	8	14	0	6	160	350	400	0
29 門司	201	278	479	30	5	1	4	2	2	150	230	280	0
30 湯川	561	635	1,196	49	9	6	5	6	6	240	400	500	0
31 行橋	405	441	846	14	4	5	6	4	2	350	700	750	70
32 若松	118	175	293	0	1	5	0	6	4	80	100	150	0
北九州地区計	4,420	5,754	10,174	607	90	70	120	46	43	2,995	4,650	6,278	70
福岡県合計	10,527	13,932	24,459	1,184	206	337	309	128	121	7,414	11,413	17,108	293
1 伊万里	132	160	292	21	1	8	0	2	1	84	215	234	0
2 鹿島	22	30	52	0	0	0	0	0	0	16	40	65	0
3 唐津	221	265	486	29	4	3	5	3	3	70	150	210	0
4 佐賀	246	399	645	127	17	4	30	9	11	90	300	310	30
5 多久	51	61	112	5	0	1	0	0	0	20	34	52	0
6 武雄	35	45	80	0	4	0	1	0	0	20	60	110	0
7 鳥栖	138	211	349	7	4	13	13	3	3	120	200	300	0
8 馬渡島	170	160	330	0	4	0	4	3	0	300	320	350	0
9 呼子	150	165	315	36	5	3	4	5	3	120	230	240	0
佐賀県合計	1,165	1,496	2,661	225	39	32	57	25	21	840	1,549	1,871	30
1 荒尾	26	58	84	0	1	0	0	0	0	25	30	50	0
2 大江	124	194	318	1	5	2	4	2	2	120	250	330	0
3 帯山	126	174	300	40	1	3	0	5	1	100	170	260	0
4 菊池	31	65	96	1	1	2	0	2	0	30	50	80	0
5 健軍	101	187	288	0	4	10	8	1	2	140	180	200	0
6 崎津	89	125	214	4	2	0	2	0	0	55	150	150	0
7 島崎	141	208	349	0	5	0	0	1	5	150	150	300	15
8 玉名	43	73	116	0	0	3	0	0	0	45	100	100	15
9 手取	344	640	984	0	16	11	18	3	18	300	550	850	60
10 人吉	62	134	196	0	1	0	2	2	4	60	125	180	10
11 本渡	40	76	116	19	1	2	0	0	0	20	30	70	0
12 水俣	42	56	98	11	1	0	0	0	0	30	50	80	0
13 武蔵ヶ丘	140	235	375	20	1	10	0	4	2	150	200	300	5
14 八代	50	115	165	24	0	1	2	0	4	70	150	150	0
熊本県合計	1,359	2,340	3,699	120	39	44	36	20	38	1,295	2,185	3,100	105
教区総計	13,051	17,768	30,819	1,529	284	413	402	173	180	9,549	15,147	22,079	428

殉教者小笠原玄也家族の第十二号『遺書』　その⑪

いのちの旅立ちを前に…

昔書いて下さったお便り熊本で受け取りました。長崎へ出張とのこと、いかがしているかと不安です。その手紙で分かったことは、娘様がこの春病気にかかり、６月20日にお亡くなりになられたとのこと、さぞご心痛の事と存じます。しかし思う通りにならないのがこの世の常のことでして、早くそれを忘れて次のことにかかっているとのこと、安心しております。さて私たちのことですが、またもキリシタンのお調べがありまして、結局玄也、子ども達と共に牢屋に入ることになってしまいました。長い年月の願いが叶って満足しております。その裁きはどのようなものかは存じませんが、後にお達しがあると殿様が申しておりました。その判決を今か今かと待っている間にこの手紙を一通書いております。あなたもお年を召されていますので、移りゆく世界のことばかりに気をとられているのは空しいことと思います。いやが応でもいつかはこの世を離れる身です。お年を取っているのですから、長い人生の日々を悔い改めて過ごして下さい。　以上

何かあなたのためになる物をお贈りしたいが、私達のこと良い道具は持ち合わせていません。この茶入れはその道の人に見せましたら、これは銀３枚程の値打ちがあると申しておりました。その由緒書きは長安様を通してあなたに贈ります。あなたがお売りになって、銀３つ差し上げます。何の役にもたたないとは知っておりますが、何の持ち合わせもございませんので、こんなささいな物をお贈りします。これらは主馬殿、宮内殿に頼んで二人に直接に渡しますので、どうぞお受け取りください。角兵衛殿、六大夫殿、十衛門殿と手紙などをと考えましたが、そんなにたくさん書くこともできず、あなたによろしくお伝えください。皆様のお心が変わらずに、いつかパライソの喜びにてお会いしたいと忠衛門殿、マリアとその娘たちにも言って下さい。三大夫殿、奥様、ジョアン様、また、しまさすけ殿へもお伝えください。皆様に、「いつも聞く人の物音や人の生命への思いも全部谷間の鐘は包み隠します。このことの意味を決して忘れてはなりません。」とお伝え下さい。あなたにもお詫びをしないといけないことがありますが、どうぞおゆるし下さい。

大串市兵衛　様

玄也家内　みや

カトリック難民移住移動者 ＡＯＳ博多港訪船報告④

博多港は、それほど大きな港ではない。でも便利な港であるとの印象を受けています。しかし今までＡＯＳによる外航船員のための訪船は行われていなかったのは残念です。ご存知のように博多港は日本海に面して周りを２つの島で囲まれた百万都市の良港です。年間の博多港に入る外航船は約５～７千隻。主に扱う貨物は電気関係の半完成品や石油、穀物、ＬＮＧ，建築資材です。公共埠頭としては荒津、須崎、博多、中央、東浜、箱崎、香椎埠頭、それぞれが最新鋭のコンテナ埠頭施設のアイランドシティがありまして、みな発展途上国の安い労働賃金で雇われた人達によるもので、ＡＯＳはこれらの人たちの福利厚生や布教活動、家族との連絡の手伝いなどを行います。毎日入る船の外航船員は主にフィリピン、中国、ロシア、インドネシア、スリランカの人々で、一隻に20人位、昼夜をとわず過酷な労働に強いられています。

今年の正月ごろに東南アジアからの船員さんは、日本に向かう中で海が大荒れで、死ぬ思いがしたと言っていました。

日本は資源物資の80％が労働賃金の安い外国船員さんたちによって船で運ばれてきています。こういう人たちのお世話するのがＡＯＳの仕事です。できれば船員司牧関係の仕事をお手伝いできる人、また奉仕が出来る人があれば、福岡教区の難民移住移動委員会のコース・マルセル神父（美野島司牧センター）に連絡して、船員司牧関係の仕事を福岡でも立ち上げることが出来ればと希望しています。県南には、三池港、長洲港、八代港など外国船籍の入港があります。

山口正美神父(笹丘教会)

ライトアップ 次はおそらく 富士だろう
それぞれが 電話している 談話室

坂牧　春妙
坂牧　春妙

稲垣良典セミナー　毎月第二金曜日（変更あり）20:00 ～ 20:45
＊テーマ：カトリック教会の教えについて
　テキスト「カトリック教会のカテキズム」
＊初心者の勉強会・入門講座ではありません。
＊カトリック要理を深めたい司祭・修道者・信徒のための神学セミナーです。
PRAYER GROVE MUNAKATA
カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

助祭・司祭候補者認定式

大神学院

5月14日（水）聖マチアの祝日に、サン・スルピス大神学院大聖堂にて、郡山健次郎司教（鹿児島教区長）の司式のもと助祭・司祭候補者認定式が行われた。今回、認定を受けたのはパウロ貴島丈弥（鹿児島）、ヨセフ竹中武紀（長崎）、トマス植草弘之（大分）の3神学生。

郡山司教は説教で、司祭としてキリストと語り合うことの大切さを強調し、悩みや問題を誰かに相談するのではなく、まずキリストに寄り頼むように、と話されたことが印象的だった。認定式は例年司式司教が一人で行っていたが、今回は高見大司教、宮原司教も参列し、各々の認定者の意思の確認を行った。終始緊張の面持ちだった3人の神学生も、認定式が終わり祝福の拍手を受けると喜びの笑顔がこぼれていた。

ミサの後は、大神学院の食堂で祝賀会が行われ、各教区の司祭や認定者の親族の方々と喜びを分かち合っていた。

助祭・司祭候補者認定式は、神学科一年生が司祭叙階を望む意思を表明し、正式に各教区の叙階候補者として認定される式で、この日からスータンとスルプリを身につける。来年度からは、大神学院の統合に伴い、各教区での認定式になる可能性があり、サン・スルピス大神学院で行われる認定式は最後かもしれないということで、養成者や認定者も感慨深げであった。

「本当の幸せを見失っていませんか」

シエラレオネ報告会

過酷な中でも明るさを失わないSr.根岸美智子

5月17日（土）、カテドラル大名町教会においてシエラレオネ（アフリカ）のルンサで長い間教育活動に携わっているSr.根岸美智子（御聖体の宣教クララ修道会）の現地報告会が行われた。

ルンサは電気も水道もない自給自足の生活、「女の子を学校に行かせるなんてとんでもない」というところだったが、貧しいながらも平和だった。そしてシスターたちの努力が実り、やっと就学施設が整った1990年にダイヤモンドの利権をめぐる内戦が勃発。少年たちは無理やり兵士にされ、多くの人々が殺され、シスターたちも命の危険にさらされた。

危険なジャングルの中を逃げている時、本当の宣教師のあり方に気付かされたことや兵士に銃で撃たれそうになったとき「聖母マリアへの祈り」を唱えながら夜空を見上げると、美しい月が出ていたことなど、内戦の渦中での出来事なども話した。

「内戦中に兵士から腕を切り落とされ、あるいは目を潰され全盲になった子どもが一生懸命生きようとしている。それは『パパゴットからいただいた命を大切にしよう』という思いを誰もが本能的に持っている。生かされているということは、神様がこの先きっと、何か良い事を用意してくださっていると信じているから。元旦には『神様、今年も死なせなかった。ありがとう』と歌います」と語った。また、「日本人は恵まれ過ぎていつの間にか、自分のことばかりに夢中になり、便利な道具に振り回され、本当の幸せを見失っているのかもしれない。自分に与えられる小さな困難や苦しみに立ち向かい、打ち勝つ努力を重ねることで少しずつ自分を高め、その喜びを分かち合いましょう。」とSr.根岸は呼びかけた。

20年来、シエラレオネへの支援活動をしている西新教会の細川さんは「天国は、天上にあるのではなく、心の中から始まっているのだと思いました、という最後の言葉が心に響きました、と語った。

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

福岡地区青年　対　大神学生の一日

梅雨のわずかな晴れ間となった5月の土曜日。福岡サン・スルピス大神学院で、青年と神学生によるスポーツ大会が開催された。参加者35人。

当初「神学生と青年による本気（マジ）サッカー大会」を予定。しかし運動不足社会人の青年メンバーと、サッカーを愛し、短い休み時間でも練習に余念のない神学生では、日頃の鍛え方の違いが大きいことが判明。やむなく・ドッチビー・三角ベースそしてミニサッカーとなった。まずドッチビーでは「優しさ」を見せた神学生チームに青年達が辛勝。その後、三角ベースで混合チームによる試合が始まる直前、運動場に一台の車が到着。ジャージ姿の宮原司教様が現れ、試合に参戦！青年や神学生に混ざり運動場を所狭しと走り回られた。その後のサッカー戦では、司教様登場で勢いづいた青年と神学生混合チームで対決。神学生の確かな腕と、負けていない男性青年達の奮闘で良い試合となった。

こうして時折涼しい風が吹く土曜の午後、神学校の運動場は若者たちの笑い声と声援に包まれていた。

「教区に神学校がある」これは青年にとって身近で大きなお恵みのひとつ。教会活動やＦＹＣＣなどを通して神学生と出会うことは、信仰や召命、生き方を考える中で大きな学びである。司祭への道を生きる神学生の方々に豊かなお恵みを、感謝を込めて祈りたいと思う。

福岡教区信徒協だより（16）

―宣教の在り方を考える集い―

「あなたにとって教会とは何ですか？宣教という言葉をどのように捉えていますか？」

この質問に対しレポート提出することが参加条件のひとつであった2004年１月の合宿がその始まりでした。（司祭が事務局担当）質問はさらに続きます。「日本の教会の宣教は行き詰まっていると思いますか？そうだとするとその理由は？これからの宣教にとって何が大切だと思いますか？」私たちは宣教について真剣に分かち合ったことがあるだろうか、と深く考えさせられた合宿でした。また参加した信徒、修道者、司祭、司教がレポート提出したことで同じ目線で語り合えた新鮮な合宿でもありました。

その熱い思いが共通点となり信徒有志を世話人とする「宣教の在り方を考える集い」が発足したのです。「集い」としたのは、新しい会を作るのではなく既存のグループや協議会を側面から応援する自由な集まりであると位置付けたからです。その意味は、キリスト者として責任ある行動と誠実な態度でもって自分に出来る「宣教のうねり」を響かせることです。集いの目的と方向性は、①第二バチカン公会議、ナイス１、２の精神を基盤 ②それを土台にした信仰養成の取り組みを創意工夫 ③各組織への提言、発信の３つです。

私たちは、毎年１回集いを開催し教区全司祭、修道会にも案内を出し参加を呼びかけています。今年で５回目となりますが、近年定員60名を越す状況です。また、今年度は福岡教区信徒協研修会のプログラム作成にも関りました。列福式を迎えるにあたり、殉教者たちが示した足跡、第二バチカン公会議で信徒の役割が強調されたナイス資料等をお渡しし、研修会後も学び合えるようにしました。

このような小さな活動ですが、福音宣教が身近に語り合える教会づくりの一助になれればと願っています。

第19回 召命祈願徹夜祈祷会

5月24日（土）～25日（日）、カトリック大名町教会において召命を共に祈る会（浦川務神父）主催の「召命祈願徹夜祈祷会」が開催された。

「召命は信仰生活の実りです」をテーマに、福岡教区修道女連盟、福岡地区青年会などが協賛し、福岡地区の司祭、修道女、神学生、青年、それぞれの福岡・北九州召命を共に祈る会、中学生2人の初参加もあり総勢80人が御聖体を顕示して祈った。

途中、十時伸治助祭は、出身の小倉教会で先輩の中村信哉神父の司祭叙階式に感銘を受けたことなど、召命のきっかけを語った。

続いて浦川神父は、石神忠真郎司教（那覇教区名誉司教）の話として、「人の一生で一番大事な〝いまわ〟の時、誰よりも必要とされる人、それはカトリックの司祭だ」と話した。

このような司祭の素晴らしさが祈りに繋がり、青年会の「父よ、ゆだねます。私のすべてをあなたのみ手に」とテゼの歌。全員で祈った十字架の道行。中学生のロザリオ先唱。神学生は、中国のカトリック教会の為余山（シェシャン）の聖母への祈り。そして感謝のうちにミサで終了。共同体が一つになった実り豊かな祈祷会だった。

BOOK 読みま専科

☆宣教者パウロのメッセージ
使徒パウロ生誕二千年を記念し、彼を知り、彼の視点で現代世界を読む格好の書。
ワルテル・ガルディーニ著

☆聖パウロ
神から生れた月足らずの子、時間空間を自在に越えて偉大な使徒の生涯に迫る評伝。
アラン・ドウコー　著

☆聖パウロ　その心の遍歴
豊富な写真資料と、日本人ならでのゆきとどいた解説。
和田　幹男　著

使徒パウロ生誕二千年を記念し、６月28日から、２００９年６月29日（聖ペトロ・聖パウロの祝日）までを「パウロ年」とすると教皇様は発表なさいました。この機会に、聖パウロへのさらなる理解を深められるように、セント・ポールＦＵＫＵＯＫＡ（大名町教会１階）でも、サンパウロ社（中央区赤坂）でも、聖パウロを知り、深め、祈るための書籍などが数多く準備されています。

★パウロ年公開講座（６月６日上智大学で開催）「パウロから学ぶ現代日本の福音化」がテレビで放映されます。
放送日時＝７月24日（木）９時から10時と21時30分から22時30分まで。
チャンネル＝ＣＳデジタル放送スカイパーフェクＴＶ　ＣＨ２１６「ベターライフチャンネル」

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会１Ｆ
平日／AM １０時～ PM ６時
日・祝日／AM １１時～ PM ４時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年7月27日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：１回　500円

北九州 2008 年度聖書講座　　マタイ

＊ 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。

第２回：
日　時：９月 14 日（日）
場　所：カトリック小倉教会
講　師：山元　眞　神父（行橋教会主任）
テーマ：マタイ福音書６章　施し、祈り、断食、摂理への信頼
主　催：北九州地区信徒協・聖書部会

2008 年日本カトリック平和旬間
８月６日～８月 15 日

◆福岡地区平和を祈る集い
＊実施日　８月３日（日）　13：00 ～ 17：00
＊テーマ　福岡地区のキリストにおけるすべての兄弟姉妹の交流
＊標　語　手をつなごう　ことばを越えて
＊プログラム
　13：00　ミサ（司式　宮原良治司教）
　14：30　交流会　その他

◆北九州平和の集い
＊実施日　８月 10 日（日）
＊テーマ　語り合おうよ、平和への思いを
＊プログラム
　第一部　平和祈願ミサ（各カトリック教会）
　第二部　カトリック小倉教会
　　13：00 ～ 16：00　展示会・交流会・他
☆詳細は各小教区へ送付します。

夏期神学講座開講のお知らせ

講義日程と担当講師

７月 24 日（木）	新約聖書	湯浅利治神父
７月 25 日（金）	旧約聖書	嘉松宏樹神父
７月 26 日（土）	信仰と理性	谷隆一郎（九州大学教授）
７月 27 日（日）	神学概論	高木善行神父（午前のみ）
７月 28 日（月）	臨床パストラル	盛　克志神父
７月 29 日（火）	罪といやし	熊川幸徳神父
７月 30 日（水）	ミサと祈り	白浜　満神父
７月 31 日（木）	三位一体の神	阿部仲麻呂神父
８月　１日（金）	神学的人間論	大山　悟神父
８月　２日（土）	苦と死の意味	大山　悟神父（午前のみ）

時　間：
　午前：9:00 ～ 11:50　（昼食）　午後：14:00 ～ 16:50
受講料：１日　2500 円　昼食代　500 円
　（午前のみ受講：昼食込み　1500 円）
締　切：７月 10 日
問合せ：福岡サン・スルピス大神学院
　学務　大山悟神父（☎ 092-871-4943）
◆日帰り・受講だけの申し込み：
　・大神学院　学務　大山悟神父（☎ 092-871-4943）
◆宿泊者の申込先：
　・臨床パストラル教育研究センター
　☎: 03-3700-3425　Fax 03-3700-3427
　メール：pastoraltokyo@y8.dion.ne.jp

福岡カルメル会修道院　新ＦＡＸ番号
fax ０９２・８０７・７５０２　☎ 807・736

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案　内　板　　会合と催し　　７月のこよみ

福岡黙想の家ご案内　７月

◇４日（金）～６日（日）　荒れ野塾
◇９日（水）　ミカエル会
◇12日（土）～ 13日（日）　山口・島根信者養成研修会
◇20日（日）～ 23日（水）　産業医大・医学概論セミナー
◇26日（土）　北九州チェナクルム
☆毎週火曜日は祈りの日（日帰り黙想ができます。昼食（粗食）付き・無料）
☆旧ザビエル聖堂再生工事も日ごと行われています。ボランティアも随時受け入れています。☎0940-33-9004　土田
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター
※祈りの集い

年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：７月10日（木）10時～ 15時
・**内　容**：『エピクレシス』：ミサでの聖霊の働き
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100　FAX0968・85・3186　・玉名郡和水町蜻浦1391-7・
E-mail　shinmeizan@chive.ocn.ne.jp
８月は休会：次回は９月11日

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：7月19日、8月2日　第1と第3土曜日10時～ 12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

７月のこよみ

６日(日)　年間第14主日
　水俣教会公式訪問
８日(火)　**司祭評議会**（司教館10：30）
９日(水)　ＷＹＤ（世界青年大会シドニー大会開幕～22日）
10日(木)　**ベトナム訪問**（～13日）
13日(日)　年間第15主日
　世界船員の日
15日(火)　**福岡司教区立幼稚園園長会**（司教館10：30）
16日(水)　カルメル山の聖母
　福岡教区創立記念日〔1927年〕
19日(土)　**人吉・八代教会公式訪問**（～20日）
20日(日)　年間第16主日
　†M．コイル〔1998年手取教会〕
22日(火)　マグダラの聖マリア
25日(金)　聖ヤコブ使徒
26日(土)　聖ヨアキムと聖アンナ
27日(日)　年間第17主日
　多久教会堅信式
29日(火)　聖マルタ
　†Ｔ．グローガン〔2004年美野島教会〕
31日(木)　**日本カトリック神学院開校準備司教委員会**（東京）
８月
３日(日)　年間第18主日
　インターナショナルミサ（カテドラル13：00）
６日(水)　主のご変容
　日本カトリック平和旬間（～15日）
８日(金)　**宮原司教霊名の祝い**（ミサ　浄水通教会11時）
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は1990年以降からお載せしています。

ペトロ岐部と 187 殉教者列福 特別献金のお願い

払込取扱 No：００１６０－１－４８３３４５
加入者名：（宗）カトリック中央協議会列福献金口
問い合わせ先；
　日本カトリック司教協議会 列聖列福特別委員会
　〒 135 ー 8585　江東区潮見２－ 10 － 10
　☎ 03-5632-4445　FAX 03-5632-4465
＊ 11 月 24 日への準備中です。ご協力をお願いします。

福岡

■夏期召命学校
〔日時〕８月19日（火）から21日（木）〔場所〕召命の家〔対象〕小学４年から中学３年生まで

■召命を共に祈る会
〔日時〕７月17日（木）14時30分から〔場所〕召命の家〔指導〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■「虹の会」
〔日時〕７月12日（土）13時半から16時半〔場所〕カトリック大名町教会３階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分ち合い〔参加費〕６００円〔連絡先〕０９０・１１６２・６３９５柴田

■カトリック看護協会福岡支部の集い〔日時〕７月13日（日）〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔内容〕全国大会について。みことばの分かち合い〔問合せ〕０９６・３５２・７１８１　Sr.竹内

■第56回福岡ホスピスの会
〔日時〕７月13日（日）14時から〔場所〕カトリック大名町教会講堂〔テーマ〕前立腺ガンについて〔講師〕長谷川淑博医師（九州ガンセンター泌尿器科部長）〔問合せ先〕０９２・８７４・６３２１

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕７月20日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合先〕☎０９２・８４３・５８３１岩崎・８月休会

■宣教の在り方を考える集い
〔日時〕７月21日（月・海の日）10時から16時まで〔場所〕カトリック大名町教会〔テーマ〕自然のままの石…ともに喜びをもって生きよう…〔参加費〕１０００円（お弁当は別途５００円）〔問合せ先〕０９３・６２２・１２８９瀬下幸弘

■紫苑COM・心のセミナー
〔日時〕７月20日（日）14時から16時〔場所〕カトリック大名町教会〔講師〕鈴木信一神父（聖パウロ会司祭）

■美野島司牧センター
　ホームレス支援のための夏物男性衣類・靴下・タオルへのご寄付をお願い致します。〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９　コース神父

北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕７月10日（木）14時から〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕ロザリオの祈り、ミーティング〔司式〕伊東成晃神父（門司教会主任）〔問合せ先〕☎０９３・９６３・２３５９江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕７月25日（金）13時半から15時〔場所〕小倉教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎０９０・３９８５・５２０９松田裕子

佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕７月９日（水）10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕７月23日（水）10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎０９５２・３０・８３４７　吉武

熊本

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕７月10日（木）11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎０９６・３６８・２８２５青木悟神父

編集後記

６月中旬、全国広報担当者会議が行われ上京いたしました。どの教区も限られたスタッフで時間に追われながら紙面づくりに励んでおられる状況を伺い、ある意味慰められました。帰途、Ｆさんの友人で坂牧さんにお会いし、自作の川柳をいただきました。あまりにも面白かったので、「ちょっとひと息」のつもりで教区報に掲載することにいたしました。今後も時々紙面に潤いを与えてくださることでしょう。皆さんの思わずこぼれる微笑を想像しながら、７月号をお届けいたします。

教区納骨堂管理委員会 お知らせ

福岡和田墓地清掃日
＊７月 13 日（日）９時から
　（雨天の場合は 27 日）
　清掃後 11 時半からミサ
和田墓地開放日
＊８月 13 日～ 15 日
　10 時～ 15 時
和田墓地納骨式とミサ
＊８月 13 日（水）14 時
和田墓地での追悼ミサ
＊８月 15 日（金）14 時
　浦口均神父様納骨式

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
＊＊＊募集＊＊＊
≪医師≫≪看護師≫
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
[ホームページ]http://www.st-mary-med.or.jp

サンパウロ福岡宣教センター
キリスト教書籍・信心用品を販売しております
１階フロアー　絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか
２階フロアー　カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇
　メダイ・CD・DVD ほか
〒810－0042　福岡市中央区赤坂1-14-26　（営業時間＝10:00～18:00）
TEL 092-721-2032　FAX 092-739-3930　（定休日＝日曜日・祭日）
WWW.sanpaolo.or.jp　E-mail:fukuoka@sanpaolo.or.jp　※当センターに地下駐車場が有ります。

カトリック福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

聖パウロ生誕2000年を記念する「パウロ年」に宮原良治司教がメッセージ

「聖パウロ年」に寄せて

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが皆様の上に豊かにありますように！

ご存知のように、ベネディクト16世教皇様は、ローマ時間の今年6月28日夕刻からの1年間を「聖パウロ年」とすることを決定しました。聖霊に導かれて決断された教皇様のお勧めと期待に応えることができるように、聖パウロの模範に倣い、その取り次ぎを通して信仰生活の豊かさを生きるように励みたいと思います。

「聖パウロ年」を豊かに生きるために、福岡教区での取り組みとして、以下の事柄を提示し、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

① 「聖パウロ年」の開幕を、各小教区や共同体で、教皇様のご意向に従って実施して下さい。その方法も手段も在り方も各共同体に委ねます。司祭は、6月29日のミサ聖祭の説教で、「聖パウロ年」の趣旨や目的を言及して下さるようにお願いします。

② 教皇様がご提案した全免償を受ける手段として、福岡教区では、大名町教会、小倉教会、佐賀教会、久留米教会、手取教会の5つの教会を「聖パウロ年」の巡礼教会に指定します。1年間、指定教会を巡礼して、通常の条件（赦しの秘跡、聖体拝領、教皇の意向の祈り）を果たし、あらゆる罪への傾きから離れる心構えがある時に、自分と死者のために全免償の恵みを受けることができます。「諸聖人の通功」と「聖徒の交わり」に基づき、聖パウロの模範に全免償の恵みを受けることができます。

③ 主日と祝日に活用される第2朗読の中で、聖パウロの手紙が朗読される時、司祭は、当日の説教で、できる範囲内で聖パウロの書簡にも言及するように心掛けて下さい。

④ 各地区、小教区共同体、各種団体やグループでの活動や行事の中で取り組まれる研修会、講演会、黙想会などで、聖パウロに関するテーマを選んで下さるようにお勧めします。（例＝殉教・回心・社会の福音化・現代の預言者としての役割・教会共同体造り・祈りと観想・使徒職・諸宗教との交わり・エキュメニズム　新しい福音宣教など）

これからの皆様の活動と歩みの上に、聖パウロの取り次ぎを通して、慈しみ深い父なる神様からの照らしと導きと支えがあり、豊かな実りを結びますように心を込めてお祈り致します。

新任の評議員で臨時司祭評議会を開催

7月8日（火）、宮原良治司教を迎えて第一回の司祭評議会が開催された。評議会には6月の司祭研修会の折り選出された18人で、出張中の牧山強美神父を除く17人全員が参加。評議会の目的、意義の確認に始まり、3年間の任期中の常任委員3人の選出などの後、6項目に亘る問題が討議された。

司祭評議会の冒頭、司教は、司祭評議会の性格について、「まず司祭団の代表であること、またこの会は教区内の宣教司牧に必要なことを討議する場であること、さらに諮問機関であるが、意見を出し合うだけにとどまらず、決議されたことを誰がどのように実践していくか、その行動計画が大切である」と述べ、さらに「決定できる司教がともに参加しているので、ここで合意された内容は司教にも大きな意味と重みがある。従って、諮問機関だからといって決して言い放しで良いというのではなく、ともに責任を担ってほしい。また、たとえ決議がなされても、実践や実施が伴わないなら意味をなさないので、誰がどのようにそれを実践するかという行動や実施のことまでを含めて考え、合意して欲しい」と述べた。

次に、常任委員の選出が行われ、山元眞、櫻井尚明、森山信三の各師が互選により任命された。また、続いて行われた人事顧問の選出は司教に一任とされた。

各議題に移り、司祭団から教区の緊急課題や中長期的な課題が出された。この課題については、12年前、検討部会「教区の未来を考える会」を立ち上げ、答申した経緯がある。最近では特に司祭の給与の問題、幼稚園の問題が司祭の集まりや顧問会などで討議されていた。それらのことをふまえ、自由に教区の問題事項を指摘し話し合った。

①召命の問題＝召命促進、司祭の高齢化と減少、他教区からの派遣など
②司祭の問題＝給与（プール制）、生涯養成と若手司祭の留学、研修制度、
③幼稚園問題＝経営について、園長などの人事について
④小教区問題＝司祭人事、統廃合、財政、現状分析など
⑤組織の問題＝本部事務局と各委員会の関係、各委員会の活動内容と予算、司祭の意識づけ
⑥信徒の養成＝奉仕職、組織など
⑦その他の問題＝滞日外国人司牧、青少年司牧、福音宣教の展望など

これらの問題をどのような段取りで、具体的にまとめていくのか、答申するための手順について意見交換を行った。

いずれの問題も大切なのは、司祭団が問題意識を共有し、一致して問題に取り組んでいくことだということが前提であることを確認し、各地区で話し合い深めた上で司祭評議会の時に持ち寄り、司祭団としての答申をまとめていくこととなった。

その他、「司祭評議会規約の問題点と改訂について」は、構成と選出の問題、任期の問題、また、頻度の問題等が指摘され、これらの意見を元に、宮原司教が規約の改正案を作成し、司祭評議会に提案することとした。また、高松教区国際宣教神学院の新求道共同体「道」の問題などが討議された。「道」の件について司教は、「すでに教区内にいる『道』の共同体については教区を出ていただくことはせず、中立の立場を保つ。ただし、『道』独自の典礼は、共同体の分裂を引き起こす場合があるので、独自の典礼を行いたい時は、司教からの許可を得るように」と述べた。

また、「聖体奉仕者」という用語の問題が提出されたが、これについては、新教会法典と、典礼秘跡省指針『あがないの秘跡』での指摘から、今後、教区の聖体奉仕者についての名称の変更も検討されることが確認された。

最後に、「司祭評議会の議題は、通常司教から諮問される。しかし、皆さんからも議題案があれば出して欲しい」という司教の言葉があり、熱心な討議を通して司祭団が一致して問題に取り組んでいくことを確認し、第1回目の司祭評議会を閉会した。

8月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】神の偉大な賜物、創造
【布教の意向】聖性への召命
【日本の教会の意向】
世界平和のために祈る

時の話題

浦川 務 神父

同じ民族が二つに分かれて争い、泥沼となった戦争も終結して30年あまり。ベトナムの首都ハノイはかつての戦争を感じさせないほどの活気に満ちていました。また、街のいたるところに教会の所在を表す十字架の尖塔が幾つも目に写り、その街並みには社会主義の陰をほとんど見ることができませんでした。

神学校、志願院には若者が溢れ、ベトナムの教会が現在持っている勢いを肌で感じることが出来ました。以前より「司祭、修道者の召命は家族、小教区、ひいては教会の信仰の実り」と言われていますが、ベトナムの教会に芽生える多くの召命に彼らの信仰生活の豊かさを見ることが出来ます。そこで、滞在中に感じた豊かさについて幾つか触れてみようと思います。まず、第一に出会った人々全体に言えることは、表情に見られる柔和さ、正直さ、さらに瞳の中に輝く希望のようなものを感じました。「恵みは自然を完成する」と言われるように信仰によってより良いものに高められる素材（自然徳）を彼らが持っていると言えるでしょう。そして、これらは私たちの中から見出されにくくなったものかも知れません。第二に豊かとは言えない環境の中で、他者への思いやりと分け合う心を身につけているように見えました。これらの心は私たちにとって当然とも思えますが、当然なものを自然に生きている姿に大切な何かを思い出させて頂いたようでした。最後に、信仰生活も自由になったとは言え、見えにくいところでは未だに制約があるようです。例えば、個人の家で祈ることについての制約はないようでしたが、街の至る所にある教会も昼間は閉じられ、公に祈る事には少なくとも時間的な制約があるようでした。しかし、この様な制約（小さな迫害）が祈る心を純化し駆り立てているのでしょう。以上のように自然徳を基礎にして、信仰が様々な制約によって磨かれて召命を生み出す豊かな信仰生活を育んでいるのでしょう。少ないこと、不自由なことは私たちの信仰を豊にすることを今更ながらに実感することが出来た旅でした。

ベトナム教会の豊かさの秘密について

みちくさ

この教区に司祭として20年という期間身を置き、派遣された小教区や幼稚園のみならず、教区的な立場からも自分なりに様々な課題と取り組んできたつもりである。眼に見えて以前と何がどう変わったのかと問われれば、ほとんど何も変わっていないという答えをせざるを得ない。それくらいこの教区では、様々な問題が棚上げされてきた▲ヨハネ23世教皇はこんなことを言っておられる。「伝統とは、過去を荷のように負い続けることではない。伝統とは、たち現れ続ける新しき時代の要求に応えうる能力を意味する。その能力の源は原点にある」と▲新しい教区長をお迎えして、棚上げされていた教区の問題が、明るみに出され、よりふさわしい方向へと向かうことを望んでいる。しかしそのためには、教皇に倣って原点に帰り「教会よ、お前はだれなのか」という基本的な問いをもう一度、教区民が問い直す必要があると思う。教区内の多くの分野で閉塞感を感じる状況の中で、誰かがしてくれるだろう、ではなく、私たち一人ひとりが「神の家族」のメンバーとして、責任を担い合う、そのような姿勢が求められると思う▲教皇の日記にはこのようにも記されている。「めざめた心こそ必要とされる。とげのない、おだやかな心と、数少ない励ます言葉の方が、理論の積み重ねの談合に勝る場合がある」新しい時代に向けて熱心な議論も必要であろう。しかしもはや、実行の伴わない議論を重ねている時でもない。原点に立ち戻り、目ざめた心の人々が必要とされている。M

殉教者小笠原玄也家族の第四号『遺書』　その⑪

いのちの旅立ちを前に…

良いつてがありましたのでお便りします。その後どうしているかと思い、この春つてがありお便りを差し上げました。そこであなたは江戸へいると聞いた次第です。その後無事にお過ごしでしょうか。きっと心細いことでしょう。久々の浪人生活で生活も苦しいと思うのですが、余計な心づかいでしょうか。きっとあなたの才覚でそれを乗り越えていかれるでしょう。

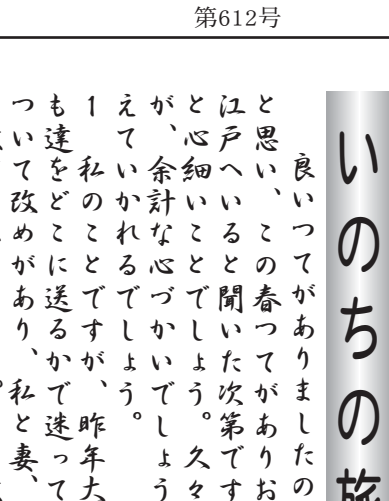
1　私のことですが、昨年大方問題が片付いたと思いましたが、子ども達をどこに送るかで迷っていましたが、今年改府よりキリシタンについて改めがあり、私と妻、子ども達はうんと言わないので一一月4日座敷牢に入りました。ここ数年の希望が叶いました。生命のある内に日頃のご恩を申したいと心に思っていたところ、このようなことになってしまいました。心残りが多くあります。私の浪人の数年間を心にかけてくださったこと、有り難く思っています。あなたも長く浪人の身で今まで困窮しているでしょうが、お助けもできず、残念です。私も長く浪人をしていて、いずれも夢となりました。一度はお目にかかり、長い年月のお礼を申し上げたいのですが、この世では思う通りにならないものです。仕方がありません。

11月15日

山中四郎左衛門　様

玄也

皆皆様　長くお目にかからず、懐かしさでいっぱいです。結局お会いできず死亡すること、心残りがあります。だから、日頃愛用して片時も離さなかった中脇差を差し上げます。形見としてご覧になってください。長い浪人生活で少しもっていた道具も売り払い、残る物もなく、残念です。備前殿は来春江戸へ行くときあなたとゆっくりと話しを致すことでしょうが、実に羨ましい限りです。私たちのこと備前と語り合ってください。書面ではこれくらいで止めます。



パウロ年と「証しの使命」

「パウロ年」のことを初めて聞いたのは、2007年10月でした。「何でパウロ年ね？」と不思議に思いましたが、聖パウロの生誕二千年と聞いて、とりあえず納得しました。しかし、今ひとつピンと来ません。すると次のような説明を受けました。

「列福式」と「パウロ年」は同じ線上にある

「日本の教会で盛り上がりを見せている列福式と、パウロ年は深く結びついている。188名の福者にしてもパウロにしても、どちらも「キリストを証しした」という点で共通する。パウロと福者の列に、私たちも並んでみよう。三者とも『キリストの証人』という点で共通する。彼らは殉教したが、私たちは殉教しない。しかし『殉教による証人』も、『家庭における証人』も、キリストの証人であることに変わりはない。それぞれの立場と状況において、証しは生まれる。大切なことは、私たちも彼らと同様に、キリストの証人として生きることだ。」

時代によって異なる証しの「型」

なるほどと思いました。「証しの使命」を受けているなんて、すっかり忘れていました。確かに、聖パウロも福者たちも、与えられた時代を生き、証しし、処刑されました。しかし、もし彼らが現代の日本に生きていたら、処刑されることはなかったでしょう。日本の重さ、形、手ざわりを確かめるような気持ちです。日本の陶器は茶道と結びついているせいか、「骨董をいじる」という言い方もあるように、手に持ってさわるものです。手にしてしばらく保っていると、まずその「重さ」が両腕を通して、自分の体の中に流れ込んできます。また、物には形というものがあるので、さらに、手に持っていると曲線とか凸凹とか、その「形」が両腕を通して流れ込んでくる。さらに、使用されている陶土やうわ薬からくる「手ざわり」も流れ込んでくる。「聖書は「キリストの体」ですから、利用するのではなく、愛する人の体に対するような態度で読むべき。聖書全体の中でレクチオ・ディビナの精神を最も美しく語ってくれることばはこれでしょう。

「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくは、わたしのもとに戻らない」（イザヤ55・10-11）。

みことばは集中豪雨ではなく、地上に降りる穏やかな雨のように、あなたの心に沁み込んでいきます。ときには冷たい雪のようによそよそしく感じられますが、いつか暖かい日差しに溶けて地面を潤すのです。

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

聖なる読書（3）

みことばを味わう「瞑想」

聖なる読書の時、読んでいる箇所について、すでに知っていることや自分の立場や事情に都合のよいものを見付けようとしないようにしましょう。そのような読み方は主観的な読み方となり、「自分の感じ」に振りまわされることになるからです。聖なる読書の時語られるのは神です。この段階では、読んだ箇所から神があなたに伝えたいと思われるメッセージを深めることが目的です。

けれども、これに関して、いろいろな困難が登場します。たとえば、いくら読んでもいつも完全に、またすぐに理解できるとは限りません。ほとんど解らない時も度々あれば、いま解らないことが、ずっとあとになって解ることもあります。現在、何かが解ったら、それを心の中でかみしめて味わいましょう。そうしたあとで、それを自分に、自分の事情にあてはめてみましょう。

「聖書の読み方、レクチオ・ディビナ入門」の著者来住師は、（読みま専科参照）この聖なる読書の段階について、こう語って下さいます。「愛

カトリック難民移住移動者 九州地区外国人信徒セミナー⑤

5月27日、長崎管区難民移住移動者委員会が大名町教会であり、今年で4回目になる外国人信徒セミナーを9月23日に熊本地区で開催することになり準備しています。昨年は11月23日に大分教区の日田教会で行いましたが、九州各地から170名の人たちが参加しました。

外国人信徒の皆さんが、日本で生活して困ったことや悩んだこと、いろいろな経験などを話し合いました。様々な話が出されましたが、参加した人たちが同じような悩みがあったようで、時間が足らないほど活発な意見が出ました。

今年からは開催する地域の日本人信徒にもたくさん参加してもらい、外国人信徒の実情や悩みを聞いて理解を深めていただくために参加を呼びかけます。

外国人信徒の司牧は司祭だけではできません。出身国の教会の状態には、日本人が理解していないようなことがたくさんあります。彼らも母国の教会と運営の仕方が違う日本の教会に戸惑っているとこ ろもあります。

お互いに知り合うことから理解が始まり本当のカトリック教会になります。

最近の外国人は日本に定住化していますので、結婚して子どもがいる人もたくさんいます。子どもの洗礼や信仰教育についての悩みもたくさん抱えています。この人たちを日本の教会に受け入れていくためにも、私たち日本人の理解が大切です。各教会から何人かでも参加していただき、彼らの話を聞いて欲しいと願っています。

7月中旬までにポスターが完成する予定です。教会に来ている外国人の人たちと一緒に参加してください。

ちょっと一息

演技らしくないからもらう演技賞　坂牧　春妙
銅メダル慰めようか誉めようか　坂牧　春妙

まとめ

パウロ年が始まりました。11月には列福式も控えています。「証しの使命」を受けたのは聖パウロと188福者だけではありません。私たちも現代社会に対する「証しの使命」を受けています。彼らの証しをたどりながら、私たち自身の証しの力が高まることを祈ります

聖パウロ会士
鈴木　信一　神父

「証しの力」を高める

証しの力を高める第一のポイントは、キリストにしっかりと結ばれることではないでしょうか。主はキリストです。その上で、証人としての発信能力と、受信能力を高めることとではないでしょうか。

日本の社会は、まだまだ「和をもって尊しとする」社会です。しかもキリスト教は異質と見なされています。よほど上手に発信しなければ、異物は拒絶されます。それでも発信するには、勇気が必要です。しかし、勇気だけでは不十分です。相手のことを的確にキャッチする受信能力が求められます。社会の状況と、社会の必要をキャッチし、社会の受信傾向を的確にキャッチしたうえで、キリストを証してこそ、私たちの証しに社会が振り向くのではないでしょうか。

第18回　むなかたてんてんまつり≪10月13日≫
特別講演会　10：30　シスター髙木　慶子
平和祈願ミサ　14：00　宮原良治司教
PRAYER GROVE MUNAKATA
カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

福岡教区本部　資金収支計算書　（2007年4月1日～2008年3月31日）

《収入の部》		
科　目	決　算	適　要
神学生養成費	21,708,985	一口300円の適用
小教区分担金	42,641,914	維持費と主日のミサ献金の15%
幼稚園分担金	10,393,170	保育料の10%
寄付金収入	3,287,440	ザベリオ会・コロンバン会他
広報活動献金	777,320	教区報公告献金
租税公課	2,906,930	小教区・墓地・幼稚園の法人税、消費税等
小教区負担金	1,386,200	ハンドブック配布費・司祭研修会等
資産運用収入	402,100	
小教区繰入金	3,781,000	謝金・報酬等における繰入
幼稚園繰入金	335,000	謝金・報酬等における繰入
納骨堂繰入金	45,000	謝金・報酬等における繰入
人件費分担収入	11,820,000	小教区司祭職員給与負担分
収入合計	99,485,059	
前年度繰越金	58,909,670	
経常収入合計		

《支出の部》		
科　目	決　算	適　要
教区宗教活動	37,421,621	
神学生養成費	19,637,648	大神学生３名。小神学生１名。
中央協議会納付金	3,120,000	カトリック中央協議会分担金
祭儀行事費	3,465,397	教区行事活動
司祭研修費	2,573,438	教区司祭の研修会・黙想会
宣教広報費	1,420,319	教区報他
教育養成費	835,000	青少年・講座等の補助
図書資料費	408,471	新聞・カトリック雑誌費
会議費	176,848	
議会費	121,500	
助成金（小教区）	5,663,000	美野島・水俣・大名他、繰入助成を含む
教区管理費	27,436,947	
消耗品費	1,110,184	
備品費	306,217	
通信費	1,679,201	
旅費交通費	1,933,390	
印刷諸費	81,900	
自動車諸費	693,601	
水道光熱費	3,543,870	司教館・召命の家・司祭の家・門司港・花岡山・東光町
交際接待費	897,359	
修理費	167,979	
営繕費	5,725,598	姉妹会・門司港・皿山・司教館
賃借料	2,236,554	
委託手数料	6,817,681	会計事務所・弁護士・労務士・司法書士
租税公課	1,514,500	
損害保険料	646,800	
雑費	82,113	
人件費	57,433,050	
司祭給与	18,866,000	12名　司教館・小教区司祭
職員給与	26,833,900	14名　教区職員・姉妹会シスター
雑給	41,000	
人件費負担金	4,600,000	ザベリオ宣教会
法定福利費	7,092,150	26名分
支出合計	122,291,618	
次年度繰越金	36,103,111	
経常支出合計	158,394,729	

2007年度、教区本部一般会計の収支が公表された

これによると、収入が神学生養成費、小教区分担金（教会維持費とミサ献金の10％）及び幼稚園分担金（宗教法人立幼稚園の分担金として保育料の10％）等七千四百七十四万四千円、他会計からの繰入を含め九千九百四十八万五千円であった。支出は活動費、管理費及び人件費を合わせて一億二千二百二十九万一千円となり、差引経常収支は二千二百八十万六千円の赤字となった。教会維持費の減少、また幼稚園園児の減少傾向の中で、教区の財政は、ますます逼迫している。それに加えて聖堂や園舎の改築の時期を迎えている施設も少なくない。本部会計としてもますますの努力をお約束し、皆様の寛大なご協力をひき続きお願いしたい。

＊前年度繰越金は、教区基本金の運用の前年度の繰越金です。

＊幼稚園分担金は、宗教法人福岡教区立かトリック幼稚園の分担金です。

指定献金	
児童福祉献金	3,747,199
四旬節愛の献金	5,945,242
聖地献金	1,643,768
広報献金	1,541,171
聖ペトロ献金	1,742,931
難民移動献金	1,604,300
世界宣教献金	1,664,141
司祭育成献金	1,738,327
カテドラル献金	410,991
合計	20,038,070

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

～ルルドへの巡礼～

先月ルルドに行ってきました。今年はご出現から150年の聖年ということで、町中に記念のポスターが掲げられ、また道路には「免償の道」という青い線が引かれていました。

これはベルナデッタにゆかりのある4つの地点を巡っていて、それらを祈りの言葉とともにたどり、さらに赦しの秘跡やご聖体拝領に与ることで免償がいただけるのです。ベルナデッタが受洗した教会や、元は牢獄だったという一家の住居跡、そしてご出現の洞窟――。最後に訪れるのは高台のホスピスで、ベルナデッタはその付属聖堂で初聖体を受け、また修道院に入るまではそこで病人に奉仕していたのでした。

「免償の道」と印された道が続く

足跡をたどってみて、ベルナデッタのことを現実に生活していた人として黙想することができました。ご出現のときはわずか14歳だった少女が、マリア様に促されるままに、すべての人類のために祈ったのです。洞窟の前で同じ場所に立ってみて、その祈りがどれほどすごいものだったかと思わずにはいられませんでした。

ルルドには年齢も国籍もさまざまな人が来ていますが、みなマリア様のことを、具体的なひとりのお方として信頼していることが伝わってきます。その中にいると、お願いごとの祈りから、「わたしの思いではなくあなたの思いを」という信頼の祈りへ導かれるようでした。

安藤智子（フランス留学中　西新教会）

BOOK 読みは専科

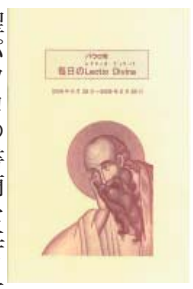
☆目からウロコシリーズ
聖書の読み方
来住　英俊　著

本書は、信仰生活の中核「聖書」へと私たちを導きます。聖書をゆっくり読む―レクチオ・ディヴィナは、古代から行われたきた最も基本的な祈りです。このレクチオ・ディヴィナ入門書として最適な一冊です。

女子パウロ会発行
税込価格　788円

◇　◇　◇

☆パウロ年
毎日のレクツィオ
ディヴィナ



聖パウロの書簡を毎日祈り、読み深められるように読み方、祈り方が記されています。手引きとしてお使いください。

パウロ年実行委員会発行
頒布価格　100円

◇　◇　◇

☆列福をひかえ、
ともに祈る7週間
列聖列福特別委員会　編

10月5日から列福式までこころを一つにして祈るための手引きです。列福式への寄付によって作られています。各小教区でお求めください。

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町かトリック教会１F
平日／AM 10時～PM 6時
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

福岡黙想の家ご案内　８・９月

◇８日(金) ～ 10日(日)　荒れ野塾
◇９日(土) ～ 16日(土)　ショファイユの幼きイエズス「修道会黙想
◇17日(日) ～ 23日(土)　サレジオ会黙想
◇24日(日) ～ 25日(月)　日本キリスト教団津屋崎教会
◇31日(日)　カトリック戸畑教会研修会
◇31日(日) ～ 9/５(金)　オブレート会黙想会
９月
◇10日(水)　ミカエル会
◇12日(金) ～ 14日(日)　荒れ野塾
◇14日(日) ～ 15日(月)　聖マリア在俗会
◇20日(土)　北九州チェナクルム
◇22日(月) ～ 23日(火)　九州アシュラム修養会
◇27日(土) ～ 28日(日)　北九州レジオマリエ
☆毎週火曜日は「祈りの日」11時ミサから15時まで、予約無しでも参加できる日帰り黙想！
皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：９月11日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：『聖霊による生活』
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100　FAX0968・85・3186　・玉名郡和水町蛭浦1391-7・
E-mail　shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

2008年日本カトリック平和旬間
８月６日～８月15日

◆福岡地区 平和を祈る集い
＊実施日　８月３日(日)　13：00 ～ 17：00
＊テーマ　福岡地区のキリストにおけるすべての兄弟姉妹の交流
＊標　語　手をつなごう　ことばを越えて
＊プログラム
13：00　インターナショナルミサ（司教司式）
14：30　交流会（会食・出し物）　その他
＊会期中の献金はカリタスジャパンを通して自然災害の被災地へ送られます。
＊主　催　福岡地区信徒使徒職協議会

◆北九州平和の集い
＊実施日　８月10日(日)
＊テーマ　語り合おうよ、平和への思いを
＊プログラム
第一部　平和祈願ミサ（北九州地区各教会において）
第二部　カトリック小倉教会　11：30 ～ 16：00
平和リレートーク・展示会・交流会・他
＊献金をオブレート会を通して、スリランカの子ども達の教育を助ける義捐金として届けられます。
＊主　催　北九州地区信徒使徒職協議会
平和の集い実行委員会

◆平和を共に考える８月10日佐賀の集い
＊実施日　８月10日(日) 14：00 ～ 16：00
＊テーマ　グローバル化と格差社会の中の憲法
＊講　師　畑山敏夫氏（佐賀大学経済学部教授）
＊会　場　カトリック佐賀教会　聖堂
＊主　催　佐賀カトリック正義と平和協議会
＊問合せ　TEL 0952・73・1573　森内慎一郎

案内板　会合と催し

８月のこよみ

3日(日)　年間第18主日
インターナショナルミサ（カテドラル13：00）
4日(月)　**福岡地区司祭集会**（サン・パウロ11：00）
5日(火)　**平田三郎司教追悼ミサ**（カテドラル11：00）
6日(水)　主のご変容／日本カトリック平和旬間（～15日）
7日(木)　†J.P.ラベル〔2004年大神学院〕
8日(金)　**宮原司教霊名の祝い**（ミサ　浄水通教会11時）
ＦＹＣＣ（～10日大神学校）
10日(日)　年間第19主日／**馬渡島教会公式訪問**
北九州平和の集い（カトリック小倉教会11：30）
14日(木)　WYD in Japan 2008（山梨～17日）
15日(金)　聖母の被昇天
教区和田墓地ミサ（14：00）
17日(日)　年間第20主日／**玉名教会公式訪問**
北九州地区中高生会（直方教会）
18日(月)　**ＣＹＧ会合**（浄水通教会10：30）
†ミカエル堤要吉〔2002年浄水通教会〕
19日(火)　召命学校（召命の家～21日）
20日(水)　†L.デシャンブ〔2001年八王寺教会〕
†Ｄ．グリフィン〔2001年玉名教会〕
24日(日)　**直方教会堅信式**
27日(水)　**地区婦人会モニカ祭ミサ**（カテドラル10：00）
30日(土)　†Ｊ．ガイヤール〔2007年八王寺教会〕
31日(日)　年間第22主日／**呼子教会堅信式**

９月のこよみ

1日(月)　**北九州地区司祭集会**（新田原13：00）
7日(日)　年間第23主日
筑後地区カトリック集い（本郷教会9：00）
†フランシスコX.牧山重光〔2005年門司港教会〕
8日(月)　聖母マリアの誕生
熊本地区司祭集会（健軍教会10：00）
9日(火)　**顧問会**（司教館14：30）
10日(水)　日本205福者殉教者
†Ｊ．バーク〔2000年崎津教会〕
11日(木)　**常任司教委員会**（東京）
12日(金)　†Ａ．セトアイン〔2003年泰星学園〕
14日(日)　十字架称賛の主日
信愛修道院設立150周年開幕ミサ(久留米11：00)
15日(月)　悲しみの聖母　敬老の日
佐賀地区司祭集会（多久教会11：00）
20日(土)　聖アンデレ金と同志殉教者
21日(日)　年間第25主日／大牟田教会堅信
23日(火)　**難民移住移動者の集い・ミサ**（熊本10：30）
†Ｊ．バイヨ〔2004年光丘教会〕
28日(日)　世界難民移住移動者の日（献金）
古賀教会堅信
30日(火)　**司祭評議会**（司教館10：30）
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：8月16日、９月６日　第1と第3土曜日10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
※基本的に第1・第3土曜。変更になる場合もあります。

教区和田納骨堂管理委員会お知らせ

墓地開放日　＊８月13日～15日　10時～15時
納骨式ミサ＊８月13日(水) 14時
追悼ミサ　＊８月15日(金) 14時　浦口均神父様納骨式

◆福岡

■夏期召命学校
〔日時〕８月19日(火) 15時集合～22日(金) 13時解散〔対象者〕小学４年生より中学３年生男子〔参加費〕１５００円〔定員〕30名〔場所〕福岡召命の家（TEL０９２・５２２・５１３９）〔申込締切〕８月３日(日)〔申込先〕カトリック久留米教会（Ｆ０９４２・３２・７８８４）〔持ってくる物〕ロザリオ・洗面用具・多めの着替え・上履き・バスタオル・夏休みの宿題・健康保険証の写し〔問合せ先〕久留米教会・浦川神父TEL０９４２・３２・８０１１
■青年黙想会
〔日時〕８月30日(土) 20時から31日16時まで〔場所〕カノッサ修道女会大牟田修道院〔テーマ〕動かすものは？〔対象〕キリスト者、求道者〔同伴〕Sr.大田暁子〔会費〕１５００円〔問合せ先〕☎０９４４・５８・５７９３カノッサ会シスター大田（E-Mail:sis.ak@hotmail.co.jp）
■福岡結婚準備講座
〔日時〕９月６日(土) 18時半から毎週土曜日全５回〔場所〕カトリック大名町教会〔参加費〕カップルで一万円〔参加条件〕結婚を決めている二人での参加〔問合せ先〕☎０９２・７４１・３６８７
■召命祈願ミサ
〔日時〕９月11日(木) 19時15分から〔場所〕サンスルピス大神学院聖堂
■召命を共に祈る会
〔日時〕９月18日(木) 14時30分から〔場所〕召命の家〔指導〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）
■在世フランシスコ会集会
〔日時〕９月21日(日) 14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合せ先〕☎０９２・８４３・５８３１岩崎・８月休会
■聖パウロ年記念講演会
〔日時〕９月23日(火) 13時から17時〔場所〕カテドラル大名町教会〔講師〕鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
■美野島司牧センター
ホームレス支援のための夏物男性衣類・靴下・タオルへのご寄付をお願い致します。〔問合せ先〕☎０９２・４３１・１４１９　コース神父

◆北九州

■小倉祈りの集い
〔日時〕８月22日(金) 第４金曜日13時半から15時〔場所〕小倉教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎０９０・３９８５・５２０９松田裕子
■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕９月11日(木) 14時から〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕ロザリオの祈り、ミーティング〔司式〕伊東成晃神父（門司教会主任）〔問合せ先〕☎０９３・９６３・２３５９江口
■北九州親睦レク
〔日時〕９月23日(火)〔場所〕新田原グラウンド〔担当〕親睦レク実行委員会

北九州 2008年度聖書講座　マタイ

＊2008年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。
第２回：
日　時：９月14日(日)
場　所：カトリック小倉教会
講　師：山元　眞　神父（行橋教会主任）
テーマ：マタイ福音書６章　施し、祈り、断食、摂理への信頼
主　催：北九州地区信徒協・聖書部会

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕９月10日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕９月24日(水) 10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎０９５２・３０・８３４７　吉武

◆熊本

■熊本結婚準備講座
〔日時〕９月６日(土) ～10月４日(土) 19時から21時半、毎週土曜日全５回〔場所〕カトリック手取教会〔参加費〕カップルで一万円〔問合せ先〕☎０９６・３５２・３０３０ Fax０９６・３５２・１５１５
■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕９月18日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎０９６・３６８・２８２５青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支部の集い〔日時〕９月21日(日)〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔内容〕全国大会について。みことばの分かち合い〔問合せ先〕☎０９６・３５２・７１８１　Sr.竹内

編集後記

新しい司教様をお迎えして第１回目の司祭評議会が開催され、教区の直面する課題が取り上げられました。今後司祭団でさらに深め、問題解決に向けて実行に移されることを期待します。「パウロ年」に因んで鈴木神父様に寄稿していただきました。パウロ年と188人の列福を「キリストの証人」という点から関連づけ、さらに現代の私たちの「証し」に結び付けてくださったことには大きな示唆をいただきました。次号は夏休みです。酷暑の日々、皆様くれぐれもご自愛ください。

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

☆厚生労働省臨床研修指定病院
☆厚生労働省歯科臨床研修施設
☆救命救急センター
医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
*** 募 集 ***
≪医師≫≪看護師≫
勤務形態：4週8休　※ 詳細は人事部へお問合せ下さい。
☆がん診療連携拠点病院☆地域医療支援病院
☆入院基本料(一般病棟)7:1
〒830-8543　福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表)　FAX 0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

サンパウロ福岡宣教センター
キリスト教書籍・信心用品を販売しております
１階フロアー　絵本・児童書・神学書・典礼書・聖書ほか
２階フロアー　カード各種・十字架・聖像・聖画・家庭祭壇
メダイ・CD・DVDほか
〒810－0042　福岡市中央区赤坂1-14-26　(営業時間＝10:00～18:00)
TEL 092-721-2032　FAX 092-739-3930　(定休日＝日曜日・祭日)
WWW.sanpaolo.or.jp　E-mail:fukuoka@sanpaolo.or.jp　※当センターに地下駐車場が有ります。

カトリック
福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】シノドス
【布教の意向】教会の宣教への参与
【日本の教会の意向】ロザリオを通して宣教と平和のために祈る

「列福をひかえ、ともに祈る7週間」

…深い信仰をもって福者を迎えるために…

福岡教区殉教者顕彰推進担当司祭の深堀勝人神父（佐賀教会主任）は、間近になった列福式へ向け、教区民が深い信仰を持って福者を迎えられるよう、また、司教協議会列聖列福特別委員会の「ともに祈る7週間」を積極的に受け入れ、祈りの内に準備しようと呼びかけている。

188人殉教者の列福裁可があって1年以上が過ぎましたが、その間私たちはどのような心を持って過ごしていたのでしょうか。日本カトリック司教協議会列聖列福特別委員会は、昨年2月には「殉教者を想い、ともに祈る週間」を全国に呼びかけました。また、今年10月5日は「188殉教者列福式前全国一斉祈願ミサ」とその日から「列福をひかえ、ともに祈る7週間」とし、式に向けて日本の教会に物心両面においてふさわしい準備を求めています。

列聖列福特別委員会は、10月5日から全国で行われる「ともに祈る7週間」のための手引きを無料配布しています。是非各小教区でもこれを活用し、単に殉教者の徳を称えるだけに終わらないようにしたいものです。委員会は以下のように述べています。

「全国の信者がこころを合わせ、この祈りの期間をとおして殉教者の多様な生き方に学ぶことができるよう、当委員会は祈りと黙想のヒントと解説を掲載した無料の手引きを作成いたしました。この手引きは、ペトロ岐部と187殉教者の生涯をその特徴に従って八つのテーマに分け、それぞれにふさわしい聖書と殉教者のことば、黙想に役立つ解説を用意しています。これに従って毎回、約15分、グループまたは個人で各テーマを祈りながら深めることにより、殉教者への認識と理解を深め、その霊性に親しむことができます。」小グループで分かち合うことによって、現代の教会に対して求められていることが何かを、殉教者から必ず教えられるはずです。

また、11月24日の列福式には、福岡教区でも3300人余りの参加申込みを受けています。また参列出来ない人のためにもカテドラル大名町教会にて、同日同時にミサが捧げられる予定です。私たちの民が、列福式を単に宗教行事で終わらせることなく、深い信仰をもって福者を迎え、殉教者に学び、倣い、生きることが大切です。福岡教区では以前からそれぞれの殉教地で顕彰が行われ、2001年からは、カテドラルにて教区内の28人の殉教者に心を留め、司教様とともにミサを捧げてまいりました。今後も28人の福者の信仰に倣いながら、さらに列聖に向けて祈り続けたいと思います。最後に皆様でともに敬虔な信仰をもってこの喜びの日を迎え、殉教者が、現代に生きる私たちの信仰、希望、愛の道しるべとなり、私たちのよき模範となることを願っています。

列福式へ参列される皆さんへ

■列福式救護部門から参加者の健康安全の心得
列福式には大勢の方が参加されます。各自の健康と安全に気をつけ、参加者の皆様は次の点にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1．保険証または保険証のコピーを持参してください。
2．日頃服用している薬は忘れずに持参し、服用してください
3．かかとが低い靴など、履きなれた靴や日頃使用している杖を持参してください。
4．天候に注意し雨具の準備をし、傘は式典が見えにくいので、できればレインコートを用意してください。
5．朝食、昼食を摂ってから式に参加し空腹の状態で式に参加しないでください。
6．事故発生や気分が悪くなった時は本部、または近くの救護班にお知らせください。
7．救護所や救護班の位置は前もって確認しておいてください。
8．入場許可証の裏面に氏名、年齢、連絡先、治療中の病気等を記入してください。
9．気分が悪くなってトイレに行く時は、トイレで倒れることが多いので必ず、周りの人に付き添いを依頼してください。
10．気分が悪くなったら無理をせず、救護所で休んでください。

＊会場には参加証を身に付け11時までに入場してください。式典終了は15時の予定です。

宮原良治司教霊名の祝いを司祭団と共に

8月8日、聖ドミニコの祝日に司教着座後、はじめての霊名の祝いが浄水通教会で行われた。聖堂いっぱいの信徒、司祭団とともにその喜びを分かち合った。司教は、説教の中で次のように語った。

「聖ドミニコが生きた時代は、多くの異端が出て、教会は危機に晒されていた。そんな時代に彼は説教を専門とする修道会を創立した。ドミニコは、聖職者に清貧を求め、また学問を究めることによって時代を動かし、この2つの剣をもって異端に対抗した。現代日本の社会を顧みると偽装や社会の制度疲労などが起こり、教会も時代の波を受けていると言える。現代人にとって、神は遠い存在になっており、家庭が信仰の伝達の場になっていない。この世俗化の波の中で、私たち司祭は信仰のよき香りを放ち、光となって人々を導かねばならない。司教を頭としてドミニコの模範に倣おう。また、司教もドミニコに倣って清貧と説教を通して民を導くことが出来るよう祈ってほしい」。

4地区司祭集会で教区の課題を討議

去る7月8日、開催された司祭評議会において提出された教区の緊急中長期的な課題について4地区の司祭団は、各地区でそれぞれ司教を交えて討議を重ねた。

小教区や幼稚園においても取組むべき課題は山積しているが、共通して挙げられた課題は、司祭の生活に関する問題、少子化による幼稚園経営の困難あるいは、司祭及び信徒の養成の必要性、特に家庭における信仰養成や青少年の司牧の重要性、小教区制度の問題、さらに召命の促進など多岐にわたった。

このような状況を乗り越えていくために必要なことは、まず司祭間の意志の疎通の重要性、また司祭のみならず専門家や有識者の方にもスタッフとして入っていただき、より多角的に課題に取組んでいくべきことが概ね確認された。さらに教区として問題解決の決定にいたる過程が不明瞭であるため教区として組織のモデルを示してほしい旨、提案された地区もあった。

各地区司祭の集まりに同席した司教は、「信仰の伝達と教育は教会活動の基本的なものとして大切で不可欠なもの。教会においても、家庭においても、それを指導してくれるスタッフを集めることも肝要である。人材養成が急務である」と述べ、「小教区は教会の基本であるが、小教区を越えて集まることも必要で、小教区が連帯して共同体となって宣教司牧を考えていくことが大切」とも述べ、より広い視野で課題解決に向けて歩んでいくべきことを指摘した。これらの司祭団の意見は、9月30日に開催される司祭評議会に答申として提出され、具体化に向かって歩んでいくこととなる。

聖体奉仕者更新式

9月21日（日）、「聖体授与の臨時の奉仕者」更新式が行われた。式に先立って行われた講話でフランコ神父は、「奉仕者はキリストのなさったことを司祭とともに行い、またキリストの愛を表すしるし、その生ける道具として奉仕する」と語った。分ち合いの中で、聖体奉仕者に対する司祭の理解の相違により、十分に活動の場が与えられないなどの点が指摘された。参加者120余人は、新たな任命をうけ、各小教区に派遣された。

日の出ごろ

シスターの目で見た若者

Sr．コロンボ　V.

ある時「今の若者の世界を色で現すとどんな色を使いたいと思いますか」と質問されたことがあります。返事をためらいましたが「少しくすんだしみもある青色にしたい」と答えました。

今の社会にテクノロジーがもたらした変化は多いです。インターネット、ソフトウエアー、携帯電話などの伝達手段は国々の境をなくしたかのように見えます。若者はこんな変化に深い影響を受けています。たとえば、自分の国から出て、他の文化に触れ、新しい友達をつくり、コミュニケーションを増やすなどのことを求めています。「フィリピンに行って、私の人生ヴィジョンが広くなりました。自分のことだけ考えて、自分の世界にだけ閉じこもって生きるのではなくて、たくさんの人を愛しい光を与えるのです。他方の若者は現代の激しい変化の被害者です。彼らの声は青空を曇らせます。「私は寂しいから携帯で出会いを探す」、「必要のない人間なので自分の存在を消したい」等など。

こんな寂しい若者が生まれるのは大人のせいでもあると思います。若者にはよい模範と人生の価値観を示す大人が必要です。教皇様は若者をとても大切にしていらっしゃいます。

私達信者が教皇様の心を持って若者を信頼したり、励ましたり、希望を与えたりできますように。

カノッサ修道女会会員

みちくさ

8月末、フィリピンでアジアの若者を中心としたセミナーが行われ、数名の司祭とともに参加しました。参加者はアジアのあらゆる国々から集った司教、司祭そして若者たち、そして彼らを養成する養成担当者たち総勢80名くらいです。主催した団体は、アジアの若者を一年かけて養成する機関です▲コース参加者は自分と出会い、キリストと出会いそして教会、社会と出会って行きます。今回のこの集まりは、若者を派遣する教会の責任者（司教）と養成者そして養成された若者たちの集いなのです。もちろん彼らは司祭になるために一年間のコースに参加するのではありません。あくまで信徒宣教者として学び、派遣されていくのです▲日本では司祭、修道者の召命のためには盛んに祈り援助しますが、聖職には就かないものの信徒として教会に奉仕しようとする人々を養成しているか、大いに反省させられました▲アジアの教会が置かれている状況は、一部を除いてどの国もキリスト者は少数、また経済成長の狭間に生まれる格差、貧困、ハイテク機器の氾濫などに伴って物質主義が横行し、宗教は忘れられ軽視されています。日本という国は、欧米志向が強い国だと思いますが（教会も）、確かにアジアの一国であり、アジアの中の教会として、共通する問題を抱えているがゆえに、アジアの人々とともに宣教について考えて行く必要性を痛感した旅でした。　［M］

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』　その⑬

いのちの旅立ちを前に…

中野　じょあん
誌間　さすけ　殿
吉田　喜左衛門　殿
斎藤こえもんの奥方　かめ
宮崎　忠衛門の子供
たわこ　りあんの娘うるすら

これらの方々へ、皆さまのお心が変わることなく、私達のこともお気にかけて下さっていることにたいして次の言葉を残します。

いつも聞いているのは、人が求めている生命を包み隠してしまう谷間の鐘の音です。本当の価値は何であるかを皆様お忘れにならないようにお伝えください。忠衛門の子供には言いづてをお願いしたい。むかしのことを決して忘れてはいないと信じていますと。

又市もし　様　　みや

第15号遺書

私たちは宗教のことが原因で死ぬことになりました。長い間あなたは親しくして頂いて、心底嬉しいことでしたと母親とあなたのことのみ話しております。お目にかかってお礼することも可能でなく、このまま終わるのは実に残念です。きっとあなたがたはこれからもお分かりにならず、残念に思われることもあるでしょうが、これには深い理由がありましてこのような結果になってしまいました。後日、その理由をお聞きになり、この宗教に帰依し、私たちと再会できる日をお待ちしています。あなたはどれ程ご親切にして下さったか決して忘れてはなりません。本当に本当に残念です。遠くにあって、会ってお礼を申すこともできません。本当に本当に残念です。もあなたのことを話し、何か贈り物をしたいと話していましたが、私の今の身分ではためらってしまいます。ともかくあなたのことで胸が一杯です。太郎もし様にも手紙できちんと述べようとしましたが、同じことを述べるに過ぎませんので、その旨をお伝えください。もう心残りばかりです。　まん

四郎左衛門　様方

おはま様

殉教の真髄

平林冬樹神父

「殉教者」と聞くと、拷問に耐え、ゆるがぬ信仰をもって命をささげた人々として英雄視したり、または逆に暗いイメージだけを持っておられる方もあるかもしれません。列福式を前に「殉教者」とは誰か、ふさわしく理解するためにイエズス会の平林神父に寄稿していただきました。

ペトロ岐部と187殉教者の列福が決まってから、その生涯や生き方への理解が深まり、それを信仰生活の糧にしようとの機運が熟しています。

他方「殉教」そのものの理解に関しては、まだ曖昧さが残っているように感じます。殉教者は素晴らしい英雄、でも暗くて陰惨なイメージで苦手。そんな印象をもっている人は、少なくないように思えます。

原因の一つは、漢字文化にあるかもしれません。見慣れない語でも、漢字を見れば、その意味は容易に想像できます。「殉」は、もともと「死をもって徇（したが）うこと」「追い死に」の意味があります。だから「殉教」は、死をもって教えに従うということになります。そうなると殉教者は犠牲者です。圧政の被害者、崇高な理想や国家のために立派に戦って散る英雄的な戦士、自爆テロの若者などと、大差ないことになります。神と教会のために勇敢に戦って死んだ英雄と同義ではありません。信仰の犠牲になって命を落とした人でもないはずです。

カトリック教会で殉教と訳される元のことばは、ギリシャ語の「マルティリア」つまり「あかし」です。その方法は、さまざまですが、もっとも完全な「あかし」は、行動に裏打ちされたものでしょう。どんな逆境や苦しみの中でも信仰・希望・愛を失わず、神と出会う喜びに生きること、これが真のあかし、つまり「殉教」です。

イエスが選んだ十字架の道は、神様への信仰・希望・愛を示す「あかし」、つまり殉教です。そして、つまり、まず神様が、人間への愛をあかして命を捧げた、神様が人間のために殉教したと言うこともできるでしょう。

この意味で、殉教を理解しなければ、イエスを理解しないことになります。神様が身をもって示そうとしたのは、苦しみと直面し、それを選びとることをとおしてしか、幸せは得られないという不思議な逆説です。私たちはそのことを、理論ではなく、イエスの死と復活の事実によって知っています。だから殉教の方は、苦しみの向こう側に確かに約束されている命への希望そのものです。

殉教は、何か特殊な状況の中だけで示される特別な生き方ではありません。教会が「殉教者」と呼ぶ人びとは、キリストが示した生き方を、いっそう明確なしかたを徹底した人びとといえるでしょう。

（イエズス会士）

聖なる読書（4）

みことばを生きる「観想」

聖書は文学作品としても高く評価され、信者ではない大勢の人たちも読んでいます。また聖書のテーマに基づいて作られた美術の名作も多いです。けれども信者にとって、聖書には、古典を超える魅力、特長があります。それは秘跡と並び、神との出会いの場、神に話かけたり、話かけられたりする場、つまり神体験する空間と時です。聖書は神のみことば、日々一人ひとりに語りかける手段です。だから聖書は人間に神から送られた手紙とも言われています。

聖書は過去のことばではなく、現在私たちにも語りかけていることばとして読まれるものです。古くから知られている箴言があります。「祈るとき、あなたは神に語りかけます。あなたが読んでいるとき、神はあなたに話しかけます」。これにもとづいて、10月ローマで行われる「教会生活における神のことば」の世界代表司教会議の提題解説には「現代のキリスト信者も、生活の源泉として、また、個人的なしかたで主と出会う手段として、神のことばを熱心に求めています。実にこうした個人的な出会いを通じて、目に見えない神は『大きな愛によって、あたかも友に対するように、人間に話しかけ、彼らと住まいを共にしている。それは彼らを自分との交わりに招き、これに与らせるためである』。このような神の寛大な啓示は、恵みによって絶えず行われます。この交わりは聖霊のわざによって行われます（＃2）」と。

聖霊は聖書が書かれたとき、ただ一回だけ、聖書記者たちの上に働かれたのではなく、聖書を読む人の上にも常に働き、その導きによって聖書の読書は実を結びます。従って聖書を読む基本的な心構え、その前提は聖霊を呼び出すように祈願することと。聖書を手にし、そして聖霊の続唱を口から響かせて願いましょう。

「聖霊、来てください」。聖書を読むことによって、信じる者のいのちであるキリスト自身を知ることを学びます。『イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさ』（フィリピ３・８）。この「知る」はただ頭で知るだけでなく、聖書の表現で、体験によって学んだことを身に付け、人格的関わりを持った多様な次元、出会いなのです。「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によって私たちに語られました」ヘブライ１：１―２。

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

宣教者パウロのシルエット①

本年は、パウロ年として各地でその顕彰が行なわれている。教区報にも、使徒言行録、パウロの手紙の要点をコピーして、パウロを通して、キリストを知るよすがにしたいと思う。彼は、今のトルコの東、れっきとした学術都市タルソに生まれた。ユダヤ名はサウロ、ギリシャ名はパウロ（小さい者の意）、両親は離散のユダヤ人で、彼に厳格なユダヤ教の教育を施し、幼児期に教えた二つの言語は、義務としてのヘブライ語と、母国語というにふさわしいギリシャ語であった。長じてエルサレムに上り、「神から出たものであれば、彼らを滅ぼすことはできない」と言った使徒たちをかばった著名な、高徳の大学者ガマリエルの門下生となり、聖書と律法に精通する人となった。彼は、父からローマ市民権を受け、生活の糧としては、天幕張りの技術を身につけた。生涯、独身を守った。

森山　敬三（大名町教会信徒）

種ナシの西瓜の赤が引き立たぬ
非常口あるなと思うだけである

坂牧春妙
坂牧春妙

聖パウロ年特別講演会

9月23日（火）、カテドラル大名町教会で「パウロ年記念特別講演会」が行われ200人以上の信徒や修道者が参加し聖パウロを身近にする体験の機会を持った。

講師は聖パウロ会司祭の鈴木信一神父。パウロの13の書簡をパウロの生涯と宣教活動、パウロの回心と殉教、パウロ書簡の重層性と3つの課題で解説した。さらにその執筆年代に沿った分類、その特徴を捉え、この書簡の思想の多様性を確認した。

▼参加者＝12使徒じゃなくても、それよりも私たちに身近な、キリストの弟子という感じが強くなりパウロが好きになりました。

坂牧春妙
坂牧春妙

司祭人事

▽V・ヤングキャンプ＝病気療養のため帰国中（人吉・八代教会主任）▽松井忠之＝人吉・八代教会管理者（福岡教区会計兼務）▽来住英俊＝福岡黙想の家院長（御受難会管区長兼務）▽鈴木忠一＝召命の家気付（黙想の家院長サバティカル）▽D・マルケット＝玉名教会管理者（島崎教会主任兼務）▽泉類二＝イエズス会福岡修道院気付（広島教区徳山教会）

第18回　むなかたてんてんまつり《10月13日》

特別講演　10：30　シスター髙木慶子
平和祈願ミサ　14：00　宮原良治司教

PRAYER GROVE MUNAKATA

カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

ショファイユの幼きイエズス会修道会 創立１５０周年　開幕

１８５９年９月14日、地方教会の要請に応えて、フランスのブルゴーニュ地方ショファイユに一つの修道会が誕生した。初代総長として選出されたレーヌ・アンティエは、「マリアにおいて幼子となられた神の愛の秘儀を示す」と言うカリスマ的使命を、時代と社会の必要に応えながら、特に、恵まれない地域や恵まれない人々の中で実践していった。

数多くの僻地で学校教育を始め、病院を設立し、無医村に訪問看護のシスターを派遣し、両親が織物工業に従事するために放置された子ども達には保育所を開設し、地方から出てきた織物工場の女子工員の世話をするなど活発な使徒職を展開していった。

修道会創立18年後の明治10年、４人のシスターたちが日本に派遣された。それは信徒発見で有名なプチジャン司教の招きによるものだが司教は元ショファイユの母修道院付き司祭であり、この摂理的出会いが幼きイエズス修道会の日本宣教を実現に導いた。

９月14日、大阪府宝塚にある管区本部と奄美地区で記念の「感謝の祭儀」が捧げられた。九州地区では、久留米信愛修道院において宮原良治司教司式のもと、「感謝の集い」が行われた。

今回の集いは、昨年、日本宣教１３０周年を迎えた日本管区の会員が修道会創立１５０周年を基に、長年の間に頂いた神様のお恵みと、恩人、先人にさらなる感謝を捧げ、教会と社会において益々忠実にその使命をはたすことができるように、特にこの１年を新たな決意の時とできるように祈るときとなった。

近頃の若いモンは
―青年による青年事情通信―

２００８WYD 世界大会・シドニー
WYD 日本大会・山梨県

今夏７月、ＷＹＤ世界大会（シドニー）に日本から１１１人、福岡教区からは９人が参加。続く８月、ＷＹＤ日本大会（山梨県）が開催され日本全国から２００人の青年、司祭、修道者が集い、福岡教区から15人が参加した。それぞれの参加者にこの夏を振り返ってもらった。【世界大会参加者＝（世）・日本大会参加者＝（日）】

Ｑ　参加のきっかけは？

（世）前回参加した青年の薦めで／人生の新たなスタートとして／神様に呼ばれていると感じた

（日）世界大会への参加が困難、少しでもＷＹＤを体験したい／興味があった

Ｑ　印象に残ったプログラムや出来事は？

（世）巡礼や教皇ミサ／聖体礼拝・心静かに自分を見つめた／地元の人との交流、野宿（日）太陽の下で立ったまま受けたゆるしの秘跡＝新鮮でした／みんなと一緒に思いっきり歌ったテーマソング

Ｑ　辛かったことは？

（世）自分と向き合ったこと／体調を崩した／徒歩巡礼

（日）朝５時起きの徒歩巡礼！眠い／翌日の仕事…

Ｑ　楽しかったことは？

（世）共に祈ったこと／仲間と語り合う何げない時間／日本をアピールできたこと（日）全部！／徒歩巡礼の中で多くの人と語り合ったこと／新しい出会い

Ｑ　何を祈っていましたか？

（世）私を平和の道具としてください／日本の仲間のことを想っていました／自分自身の回心／ありのままの自分を受け入れられますように（日）これからの生き方／自分の今までを振り返っていました。

Ｑ　変えられた自分は？

（世）笑顔が増えました／自分の弱さを認める強さとか

（日）悩みに前向きになれた／聖霊に生かされる自分／生活の中で喜びを多く感じられるようになった気がします。

Ｑ　何を得ましたか？

（世）消えることのない永遠の宝／神様の新しい導き／人のために祈ることが私には必要だということ（日）聖霊をたくさん得ました／共に歩む存在

Ｑ　今、何を伝えたいですか？

（世）私たちは聖霊によって集められ一致することができます／人間ってあったけぇよ！／私から何か感じて欲しい（日）ものすごく楽しかったことを伝えたい！／人が集まるっていい、時間と労力とお金を割く価値がある／多くの青年、中高生の皆さんにも知ってもらいたい！

Ｑ　日本のカトリックの未来は明るい？心配？

明るい！教会は誰かが作ってくれるものじゃなく、一人ひとりがつくるもの、私も作りたい／明るいかどうかわからないけど、学ばなければならないことがたくさんあることがわかった。縦の世代の交流を深めたい／大丈夫だと思う。明るくしていきたい、私たちで。

平和の火（原爆の火）が心に灯った夏

北九州地区平和の集いは８月10日開催されたが、「平和の火」が新たな息吹きを注ぎ、平和旬間の意義を肌で感じさせられるものとなった。

63年前から星野村で燃え続けている原爆の火をリレーするチャンスにめぐり合った。８月５日、19人で星野村へ出発。平和の広場の高さ約５メートルほどの三角塔で平和の火が燃えていた。火の説明を受け、ハッキンカイロへと転火。その瞬間、平和の大切さが心の底まで伝わった思いがした。その感動を胸に一行は、この火を大切に守ってきた山本達雄さんと星野村の平和への熱い思いを伝える生き証人となったのである。

北九州にリレーされた火は、５教会で灯され平和を祈るミサを行うことができた。

８月15日には、ボタ石の下に眠る戦時中の強制連行炭坑犠牲者の田川にあるお墓で、平和の火は灯され、そして静かに消された。

10日間だけの〝火〟であったが、関った大勢の人々の心の中にこの火は転火され、平和を願う熱い心となりリレーされていくことだろう。

共に手をつなごう～外国人セミナー開催

今年の長崎教会管区外国人セミナーが、９月23日（火）熊本のマリスト学園を会場に「愛と理解…外国人信徒と日本人信徒の手をつなごう」のテーマで開催され、九州各地から２５０人が参加した。

二組の夫婦と４人のフィリピン人のスピーチと分科会が行われ、外国人信徒の悩み、苦しみ、喜びを分ち合い、理解を深め、共同宣言を採択して終了した。ある日本人参加者は「外国人の信仰に根ざした強くて明るい生き方、そして誇りに感激した。教会共同体の中で責任や役割を担い合い、互いに豊になっていけたらいい」と語った。

福岡教区信徒協だより(17)

―福岡教区修道女連盟―

＝前回より教区管徒使使職協議会に参加されている使徒職団体を紹介しています。今回は「福岡教区修道女連盟」に目的、活動などを紹介していただきました＝

「福岡教区修道女連盟」は、福岡教区に住むすべての修道会員と在俗会員によって構成されています。

事務局は当番制になっており、本年はマリアの宣教者フランシスコ修道会（熊本第一修道院）役員は、会長・副会長・会計・書記・会計監査となっています。

目的は、福岡教区内の修道女が教区長の指導の下に、神の民としての自覚を持って教会に奉仕し、霊的向上を図ると共に、相互の連帯と協力のうちに福音宣教を実施することです。

運営は分担金でまかなわれています。

司教様の任命による指導司祭をいただき、何かと助けて頂いています。今年は青木哲神父様（能軍教会）です。

役員会は年4回ほど開催され、事務的なこと、大神学院の召命の集いへの協力・参加方法の検討や緊急の問題があれば、出来る範囲で協力するようにします。

活動としては、目的の達成のために種々の集会、研修会などを行っています。また、教区共同体としての連帯意識を深め、その諸活動に積極的に参与します。今年は4月29日に、大名町教会で総会が行われました。総会の前半は、百新教会の森山信三神父様の講話により、参加した100名のシスターは、祈りと感想をさせていただきました。

私たち修道者は、死ぬまで宣教者として、語り語りして、神のみ旨を果たしていくことが出来るように日々祈っています。

どうぞ、このような前途のためにもお祈りくださいますようにお願いいたします。

BOOK 読みま専科

☆キリシタンの祈り
木崎さと子・文　小山　硬・画

ページをめくるたびに、静かな落ち着きのある小山氏の画が私たちをキリシタンの時代に誘い強く秘められた彼らの信仰を思い起こさせてくれます。同時に、殉教者たちが見た神の愛の光を共に見せてくれます。キリシタンの心に触れていただくためにぜひお薦めしたい一冊です。

女子パウロ会
税込定価２３１０円

◇　◇　◇

☆キリスト教信仰と現代社会
21世紀への挑戦
光延一郎　編著

２０００年前、イエス・キリストは世に来て、その時代の社会に挑戦した。不安と緊張に満ちた現代社会に生きる私たちに求められている挑戦について、14名の執筆者達が独自の考察で語る。

サンパウロ発売
税込価格　３６７５円

◇　◇　◇

☆教皇ベネディクト十六世
霊的講話集２００７

一般謁見演説、祝祭日での説教、お告げの祈りのことば、アドリミナの折の日本司教団への講話などを収録した1冊。

カトリック中央協議会発行
税込価格　１０５０円

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.inuka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町かトリック教会１Ｆ
平日／AM１０時～PM６時
日・祝日／AM１１時～PM４時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年10月26日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：牧山強美神父（大神学院院長）
参加費：１回　500円
資　料：カトリック教会のカテキズム

北九州 2008 年度聖書講座　マタイ

＊ 2008 年度はマタイの特に「山上の説教」を中心に学んでいきます。全５回。

第５回：
日　時：10 月 26 日 (日)
場　所：カトリック新田原教会
講　師：杉原寛信神父（新田原教会主任）
テーマ：マタイ福音書７章
「人を裁くな、求めなさい」
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

聖パウロに学ぶ神学講座

第１回 11 月 16 日
〔開講式・パウロの生涯〕　牧山勝美神父
第２回 12 月 14 日
〔伝道旅行〕　牧山美好神父
第３回 １月 18 日
〔使徒としてのパウロの心〕　最頼巌流神父
第４回 ２月 15 日
〔パウロの宣教の仕方〕　下町豊重神父
第５回 ４月 16 日
〔三位一体の神〕　青木　悟神父
第６回 ５月 17 日
〔福音宣教を考える〕　宮原良治司教
【時間・会場】
各回日曜日　13：30 ～ 16：00
会場：カトリック手取教会　信徒会館大ホール
【受講料】全６回＝ 5000 円／１回＝ 1000 円
【問合せ】手取教会（℡ 096-352-3030）岸
【主　催】熊本地区神学講座実行委員会

ゼノ修道士の足跡をしのぶ写真展

優しい目と心で子どもたちを見守り、限りない愛情をもって寄り添ったゼノさん。
◆日程：10 月４日 (土) ～９日（木）
・展示時間：10：00 ～ 20：00
＊６日（月）休館／９日（木）16：00 まで
・入場料：無料
◆会場：福岡市赤煉瓦文化館（福岡市文学館）
◆主催：ゼノ修道士写真展 in 福岡実行委員会
・協賛：カトリック福岡司教区

出会いの集い

＊信仰ある家庭を求めている方のための出会いの集いを開催します。
日　時：10 月 13 日（祝）９：30　受付
場　所：カテドラル大名町教会
内　容：ミサ・講話・リクレーション等対象者：20 歳から 50 歳未満の信者・求　道者の独身男女（初婚）
参加費：2000 円（昼食代含む）／軽装で
問合先：☎ 090-5936-3831 今野恵美子
主　催：福岡教区カナの会
担当司祭：櫻井尚明神父（大名町教会主任）

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

福岡黙想の家ご案内　10月

◇４日(土)　北九州チェナクルム
◇８日(水) ～ 10日(金)　日本カトリック児童施設協会 九州ブロック職員研修会
◇13日(月)　第18回むなかたてんてんまつり
◇14日(火) ～ 18日(土)　福岡教区邦人司祭黙想会
◇18日(土) ～ 25日(土)　サレジオ会黙想会
◇25日(土) ～ 26日(日)　福岡雙葉小学校職員研修会
＊毎週火曜日は「祈りの日」11:00ミサから15:00まで予約無しで名参加でる日帰り黙想！皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：10月９日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：『聖霊の実り』
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
☆10月５日(日)　第８回諸宗教平和の祈りの会
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100　FAX0968・85・3186　・玉名郡和水町蜻浦1391-7・
E-mail　shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：10月18日、11月１日　第１・第３土曜日10時～ 12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第１・第３土曜日。変更の場合もあります。

10月のこよみ

５日(日)　年間第27主日
188殉教者列福式前全国一斉祈願ミサ／列福式をひかえ共に祈る７週間（～11月23日）
殉教者祈念ミサ（本渡教会）
６日(月)　**福岡地区司祭集会（西新教会）**
７日(火)　ロザリオの聖母
司祭団・大神学生親睦会（大神学院）
†J.ノーリス〔2007年八代教会〕
８日(水)　**日本カトリック女性団体連盟理事会（～10日）**
９日(木)　召命祈願ミサ（大神学院19：30）
†K.オマホニ〔2003年荒尾教会〕
10日(金)　†E.ハトリック〔2007年笹丘教会〕
12日(日)　年間第28主日
小郡教会公式訪問
13日(月)　**むなかたてんてんまつり　野外ミサ**　体育の日
14日(火) ～18日(土)
教区邦人司祭黙想会（黙想の家）
16日(木)　†徳山登〔2000年門司港教会〕
18日(土)　聖ルカ福音記者
19日(日)　年間第29主日／世界宣教の日（献金）
新田原教会堅信式
26日(日)　年間第30主日
手取教会落成式／天草殉教祭
27日(月)　†H.キニュ〔2004年天神町教会〕
北九州地区司祭集会（八王寺）
28日(火)　聖シモン聖ユダ使徒
11月
１日(土)　諸聖人の祭日
２日(日)　死者の日
３日(月)　召命の集い（大神学校）　文化の日
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

◆福岡

■福岡祈りの会
〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会〔問合せ〕〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい〔代表〕Br床嶋〔問合せ先〕☎092・551・6279松本

■召命祈願ミサ
〔日時〕10月９日(木) 19時30分から〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔主式〕田中重治神父（カトリック浄水通教会主任・教区事務局長）

■召命を共に祈る会
〔日時〕10月23日(木)〔場所〕八代巡礼〔問合せ先〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕10月19日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合せ先〕☎092・843・5831岩崎

■第50回福岡典礼聖歌研修会
〔日時〕10月26日(日) 13時30分から〔場所〕光丘教会〔テーマ〕列福式で歌われる聖歌を中心に〔講師〕深堀純氏〔問合せ先〕☎092・541・3730松山

■紫苑COM・心のセミナー
〔日時〕10月19日(日) 14時から16時〔場所〕カトリック案内所（福岡黙想の家入口）自由ヶ丘南２丁目バス停前〔テーマ〕「不安」とは〔講師〕小宮豊精神神経科医師（小宮クリニック院長）、鈴木忠一神父(御受難修道会)〔参加費〕自由献金（茶菓子付き）〔問合せ先〕☎0940・33・2731　吉永

■美野島司牧センター
ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします。また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも併せて募集しています。〔問合せ先〕☎092・431・1419　コース・マルセル神父

◆北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕10月９日(木) 14時から〔場所〕カトリック新田原教会ルルド・テレジア館〔内容〕ロザリオの祈り、ミーティング／聖母訪問会・宮崎カリタス会訪問〔司式〕伊東成晃神父(門司教会主任)〔問合せ先〕☎093・963・2359江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕10月24日(金) 13時から15時〔場所〕小倉カトリック教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209松田裕子

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕10月８日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕10月22日（水）10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347　吉武

◆熊本

■カトリック看護協会福岡支部の集い〔日時〕11月９日（日）14時30分から〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔問合せ先〕☎096・352・7181　Sr竹内

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕10月９日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎096・368・2825青木悟神父

バザーのご案内

10月19日(日)
＊大楠教会
＊茶山教会
＊南粕屋教会
＊小倉教会
10月26日(日)
＊西新教会
＊大牟田教会
各教会、幼稚園も地域との親睦や建設基金のためバザーを開きます。お近くの会場へお出かけください。美味しい物あり、宝あり、出会いあり、協力あり。願いの実る秋にしましょう！

編集後記

列福式を前に深堀師及び平林師にそれぞれ、式を迎えるにあたって準備として寄稿していただきました。「殉教者」とは誰か、私たちが捉えておく大切なポイントを指摘していただきました。いよいよ、12月号は、「列福式特集号」となり、通常より１週間遅れの発行となります。。カラー版でお届けできるかと考えています。また、夏に行われたキャンプ等各地から原稿をいただきましたが、紙面の都合上、掲載出来なかったことをお詫びいたします。

郵便振替
口座番号：01720・1・44311
加入者名：
ＮＰＯ法人文化財保存工学研究室
問合せ先：☎ 0940-33-9004

６月宮原司教様の許可をいただき再生事業への寄付の依頼をさせていただくことになりました。貴重な文化財保存への理解も加え上記へのご寄付をお願い致します。土田充義

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 ヘボン会
聖マリア病院
*** 募集 ***
＜医師＞＜看護師＞
☆がん診療連携拠点病院 ☆臨床研修病院
☆入院基本料一般病棟7:1
TEL 0942-34-0111(代表)　FAX 0942-34-0113
[ホームページ] http://www.st-mary-mission.jp
☆救命救急センター　☆災害拠点病院　☆臨床研修病院　☆地域医療支援病院

天然素材の
健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスカウントした住まいづくり
有限会社 ナガシマ建築工房
社長　ヨゼフ　長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17　TEL:092-871-0063
ナガシマ建築工房　福岡　検索

サンパウロ福岡宣教センター
10月ロザリオの月
ロザリオの祈り
知ってますか　祈ってますか
TEL 092-737-2022 FAX 092-738-3010

カトリック 福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

司祭の黙想会

司牧生活をより深い祈りとともに

10月14日から18日まで、宗像黙想の家にてパリ・ミッション会のジャン・ワレ神父（川越教会）の指導のもと、教区司祭の黙想会が行われた。ワレ神父は司祭は、司牧生活で出会うすべての人々のために祈る必要があること、また日々のミサを信徒、未信徒を問わず、出会った人々のために捧げるよう、促された。

ジャン・ワレ神父

黙想会は、列福式を間近に控えているということもあり、講話の中でも度々殉教者のことが言及され、祈りが捧げられた。ワレ神父は、司祭が生涯授ける諸秘跡を通して、長年にわたる宣教師としての経験を分かち合った。まず講話の中で「歩く宣教師」のことが語られ、来日直後の宣教師は、当初それぞれの地区で家庭を訪問し、聖書や教理を教え、洗礼を授けて、また次の家庭を訪問するというスタイルでいわば、宣教のための拠点を作っていった。

今の日本の教会の基礎はこうして自分の足で福音を伝えた宣教師たちの努力の上にあることを一同再認識した。また、司祭は人々に洗礼を授け、祭儀を司式するが、まず私たち自身がもう一度洗礼という大きな恵みを受けていることを感謝するよう求められた。また「絆」をキーワードにミサにおける信仰を同じくする者同士の絆、キリシタンとの絆、そしてすでにみ国にある方々との絆を大切にし、ミサを捧げるようすすめられた。また、司祭は、自分が委ねられた小教区の信徒のためのみならず、派遣された先の地域の方々、キリストを知らない人々、救いを求めている人々のためにもミサを捧げるべきことが語られ、黙想会中のミサも、日々講師のすすめによる意向で捧げられた。また、結婚については、参列者が信徒でない方々が多いので、大切な宣教の場であること、また、司祭は結婚生活をしないが、様々な理由で苦しみや危機の中にある家庭のために特に祈り、裁かず、傾聴し、苦しみにある彼らとともに歩む必要性を語られた。また、黙想会の間、司教より司祭団に次のような話しがあった。第１点は、２００９年度から大神学院は、東京と合同となるが、４月から一人でも多くの入学者があるよう、万難を排して配慮してほしいということである。現在大神学生は３人であるが、彼らが叙階された後は、編入者などがなければ、数年にわたってブランクがあることになる。従ってこの件を最優先課題として、司祭たちにも取り組んで欲しい旨、切なる要求がなされた。

さらに第２点は、引退した教区司祭の老後の家を作りたいということである。この家には、長年教区内で働いてくださった宣教会の司祭についても本人の意向を伺った上で、入居していただく方向で検討していきたい。司祭団の中からこの件について検討する責任者（深堀勝人神父）も決まったので、深堀神父を中心として、まず場所を選定し、部屋の間取りなども司祭団の意見を聞きながら、検討に入ってほしい。

司祭が病気になったとき、あるいは老後の心配をしなくてもよいように、この件も早急に話しを進めていきたいと司教は語った。

司祭評議会年間４回開催敏速な取組へ

宮原良治司教は、これから福岡教区を導いていくために、まず現状を知り、分析した上で、教区のビジョンを見据えていこうと望まれている。そのために司祭団、福岡教区修道女連盟、福岡教区信徒使徒職協議会それぞれに、「福岡教区の緊急の課題は何か、中長期的課題は何か」と諮問し、それぞれの立場から答申を作成して提出するように求めた。これを受けて、新しく宮原司教のもとで設立された司祭評議会が7月に開催され、意見交換がなされた。

しかし、福岡教区の全司祭に聞く必要があるとの意見があり、各地区の司祭集会でこの問題を司教を交えて討議し、そこで出された課題を集約し、もう一度司祭評議会を開催して討議することになった。この流れで9月30日（火）に司祭評議会が開催された。

評議会では、各地区の司祭団の意見をもとに、司祭召命、司祭の生活、生涯養成について、それぞれ小委員会を立ち上げて、課題を分析し、誰が、どのように取り組んでいくべきかを検討することが決定され、それぞれの小委員会の責任者が選出された。そして、今後、教区全体を見渡していくために、各地区の司祭団からそれぞれの小委員会に代表を選出してもらい、次回、来年の2月3日に開催される司祭評議会までにある程度まとめ、それを受けて、司祭団としての答申を作成することになった。

また、課題に迅速に取り組んでいくために、これまで司祭評議会は年2回の開催だったが、今後は年4回開催することとなった。

尊き面影のマリア松崎静江修道女（女子跣足カルメル修道会）、10月2日くも膜下出血のため帰天。享年78歳。修道生活56年。山口県萩市出身。福岡カルメル会で祈りと労働の日々をおくった。

時の話題

牧山美好神父

大きな恵みの日を前にして

わたしたちは188殉教者の列福式を目前にしている。それは日本のカトリック教会にとって歴史的な出来事になるだろう。わたしたちはこの大きな恵みの目撃者となる。しっかりと受けとめ、心に刻もうではないか。

列福式を前に、殉教者のこころを感じたい。幸いにして、今回列福される188人についていくつかの記事や書物がある。それらを通して、殉教者の生き様に思いを馳せよう。

そしていま、殉教者たちもわたしたちに向かって近づいている。彼らには、わたしたちに何としても伝えたい思いがあるからだ。殉教者は愛のあかしびととして、わたしたちの前にあらわれる。信仰を与えられたいのちを神への愛、隣人への愛のために燃やした。

日本の教会の礎に、殉教者たちがいる。殉教者たちの流した血が、長い時を経て、いまこの地で芽生えようとしている。列福の恵みがわたしたちに、何を悟らせ、どこへ導くのか。いまこそ、目覚めなくてはならない。信仰の感覚を研ぎ澄ますのだ。ともに祈ること、互いに伝え合うことを通して信仰のきずなを深めていきたい。この恵みの芽生えを確かな成長へとつなげていくために、わたしたちはなにをすればよいのか。殉教者の語りかける声にじっと耳をすまそう。

（崎津・大江教会主任）

2009年福岡教区年間行事予定

①司祭新年の集い
日時：1月13日（火）11時
場所：カテドラル大名町教会

②司祭総会
日時：1月26日・27日
場所：後日連絡
対象：福岡教区で奉仕する全司祭

③司祭評議会
日程：2月3日（火）
5月19日（火）
9月8日（火）
11月10日（火）

④教区宗教法人立幼稚園新任教職員辞令交付式ならびに研修会
日時：3月31日（火）11時から
場所：カテドラル大名町教会

⑤聖香油ミサ
日時：4月7日（火）15時から
場所：カテドラル大名町教会
＊ミサ後叙階金祝・銀祝・10周年司祭の祝いなど

⑥教区内全司祭研修会
日時：6月23日（火）～25日（木）
テーマ・講師など各地の司祭集会で検討する。

⑦パウロ年閉幕ミサ
日時：6月28日（日）14時から
場所：カテドラル大名町教会

⑧宮原司教霊名の祝い
日時：8月7日（金）11時から
場所：カテドラル大名町教会

⑨教区墓地ミサ
＊司教ミサ
北九州地区
8月（日時は未定）
福岡和田墓地
11月8日（日）14時

⑩教区邦人司祭黙想会
日時：10月19日（月）～10月23日（金）
場所：福岡黙想の家

◆福岡教区行事の予定です。できるだけ小教区の行事が重ならないように工夫をお願い致します。また、教区行事への積極的な参加もよろしくお願い致します。

文責：福岡教区事務局長

列福式に参加できない方のためのミサ

■11月24日（当日）１５時
場所：カテドラル大名町教会
司式：櫻井尚明神父

福岡教区内列福感謝ミサ

■11月３０日（日）１４時半
場所：カトリック小倉教会
司式：ドミニコ宮原良治司教

11月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】神と隣人への愛
【布教の意向】アジアのキリスト者共同体
【日本の教会の意向】神のことばに養われる

みちくさ

今年は、聖パウロの年である。ヨーロッパ中を駆け巡ったパウロは、数多くの人々に洗礼を授けたと思われるかもしれないが、意外なことにコリントの信徒にこんなことを書き送っている。「クリスポとガイオ以外に、あなたがたの誰にも洗礼を授けなかったことを、私は神に感謝しています。・・キリストが私を遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためなのです。」（1・14～17）パウロがこう言ったのは、コリントの教会に分裂や派閥争いがあったからだと思われる。パウロは、福音が人間の虚栄心や自負心などに利用されることに我慢がならなかった▲ところで日本の禅僧に良寛という人がいる。厳しい修行が求められる曹洞宗の禅僧でありながら、子ども達と手まりやおはじきをして遊んでいたことで知られる。彼がなぜそんなに子どもと遊んだかは、よく分からないが、少なくとも名利欲や出世欲など微塵もなく、また宗教の世界にありがちな内部の争いや、形ばかり大事にする僧侶に対して距離を置く、あるいは拒否する姿勢とも読める。寺に留まっていれば生活の安定は保障されていたのにそれをも捨てて乞食、托鉢を通した▼何もにもとらわれることなく、また何かと無理に格闘するわけでもなく、受け入れる。ここには、自己の名誉などにとらわれず、あらゆる難を受けながらも「霊の導きに従って生きた」パウロに通ずるものがあると思うのだが如何だろうか。「この宮の森の木下に子どもらと　手まりつきつつこの日暮らしつ」良寛

（M）

殉教者小笠原玄也家族の『遺書』　その⑯　終り

いのちの旅立ちを前に…

第16号遺書

ご心配のことではと危惧し、この手紙を書きました。私たちのことは宗教の理由で死ぬことになりました。さぞあなたも心残りも多いと心中私は思っています。あなたも一度は転びましたが、ずっとそれを捨て去ることはできませんので、転び返しをして信念を貫いてください。叔父様たちは母親を叱りましたが、これは母親一人の責任ではございません。皆さまはこのへんの事情が分からず、そのように判断したに過ぎません。その理由もそれ以上理解できていません。思い込みに過ぎません。明日命を終わる日まであなたのことのみ思い起こしております。この数年親しくしてくださったこと決して忘れません。一度はお会いできると朝夕願っておりましたが、今は単なる夢になってしまいました。あなたのご家族の中ではあなたお一人私たちのことに何かと助言下さいまして親切にしてくださったので、お目にかかれなくても、朝夕あなたの噂をしてはその懐かしさを表現することはできません。ご主人様も長年の浪人の身の上のこととて、大変だろうと思っています。ご主人様が生計のことはあなたに任せていると思われますが、ご主人様は２４・５年も浪人ですので、あなたが全部を考えていかないといけないだろうと母親と常々話しています。母親はこの世でもう一度お会いできぬことを実に心残りだと感じています。

あなたに今一度お会いしたいと思っていたところに仕方がありません。何度これを言っても仕方がありませんのでここで筆を置きます。

叔母様
ご家族様

くり（小笠原玄也・みやの娘）

小笠原玄也家族の『遺書』を連載してきました。この16号が最後の遺書です。これらの遺書を書き綴った一族に列福式でお会いできるのではないかと思います。受取人には届くことがなかった残念な思いの遺書ですが、わたしたちがこのように読ませていただくことに奇しき神の計らいを感じます。

司祭館の窓

聖なる読書（4）

みことばを生きる「観想」

読書の中で見たり味わったりしたことを大切にする重要な時になり、それを心に留めておきましょう。聖霊の中に含まれているみことばを通して、語りかけている神の招き、そのメッセージに答えましょう。友が友に語るように、神と話し合うこと。安心して神と話しましょう。愛する者と愛される者が散歩しながら語り合い、再会の喜びを楽しんだ後に、黙って互いにそばにいるだけで十分だという感じ。目と心だけで語り合うでしょう。

神は読書する私たちに、ご自分を与えられます。神の近くにいるという実感は沈黙の中でますます深められます。聖なる読書は、生活の学びやでもあります。ここから私たちを「神から遣わされた者」として派遣するためです。みことばを生きるというのは、そのことばを実現すること。置かれている現場で、日々出会う人々に、受けたその平和を分かち合いましょう。

この連載をまとめましょう。

聖なる読書の前提は、聖霊への祈願、聖書はみことばですから（1回目）。読書：ゆっくり読むことによってみことばに触れる（2回目）。瞑想：メッセージに誘われて、みことばを味わう（3回目）。観想：みことばにとどまり、それを生き、行なっていく（4回目）。段階に分けて説明したのは、聖書の読み方を紹介するためです。ある日は瞑想に長くとどまり、別の日にはすぐ観想へ進むということがあって、それでいいでしょう。聖パウロ年をきっかけにして、その書簡を聖なる読書の方法で読み、味わってみましょう。「パウロ年毎日のレクツィオ・ディヴィナ」（前回読みま専科参照）という使いやすい手引きを使用しながらがさっそく実践してみましょう。

教皇ベネディクト16世が度々聖なる読書について熱心に話され、再興を促されました。『「聖なる読書」とは、聖書の個所にとどまり、何度も個所を読み返し、個所を「思いめぐらし」、個所に含まれた「果汁」をすべてしぼり出すことです。こうして、個所の「果汁」は黙想と観想の糧となり、具体的な生活を潤すことができます。「聖なる読書」を行うための条件は、精神と心が聖霊の光によって、すなわち聖書に霊感を与えた方自身によって照らされることです。』

フィリッピニ・レナト神父（武蔵ケ丘教会主任＝聖ザベリオ会司祭）

＊前回編集部の作業ミスで連載の１回目を掲載してしまいました。お詫び申し上げ４回目（完）をお届けいたします。

国籍を越え出会った愛

小学三年　李　きゅ理
若松教会信徒

わたしは韓国人です。おとうさんのしごとで日本に来ました。わたしは、韓国の言葉もやっと話せるようになった頃に日本に来たので、日本語はもちろん全く話せませんでした。

お母さんは、私を幼稚園に入れようとあっちこち探して回ったようですが、お母さんも日本語が話せるわけではありません。仕方なく英語で話して幼稚園を探しました。でも、断られるばかりの毎日だったそうです。そして、一本の電話がかかってきました。「教会に来てみませんか。」お母さんが泣きながら、「イエス・センキュー」といったのを、覚えています。お母さんは、日本語もわからない日本で、私の幼稚園を見つけられたこと、日本語がわからないのに受け入れてくれる気持ちがうれしかったのよと何度も話してくれました。

そして、若松天使園の年少組に入りました。泣いてばかりの毎日です。日本と韓国はお隣で、顔つきもとてもにているのに、使う言葉はまるで違いました。うちの玄関から一歩外に出ると、まるで別の国。友達の話す言葉が全くわかりません。世界でたったひとりぼっちになったような気がして、幼稚園は怖かったです。初めて覚えた言葉は「スプーン」お弁当を食べるときに、先生が「スプーン持ってごらん」と何度も言ってくれたから。そのつぎは、「こっちにおいでよ。」みんながにっこり顔で、泣き虫の私を、手招きで呼んでくれたので行ってみました。言葉はわからないけど、友達のいいたいことがわかってきはじめたころ、「ありがとう」と言えるようになっていました。

今は、日本語の方が、韓国語よりかんたんです。でも、昔は違いました。

幼稚園の先生と友達にいつも心の中で思っています。「泣き虫だった私に、日本語を教えてくれて、ありがとうございます」。

日本と韓国は、昔はとてもなかがわるかったそうです。わたしは、いつもの生活で、どこの人とも仲良くでき、困っている人がいたら、私がしてもらったように助けてあげられる人になりたいです。そして、いつか、韓国と日本のために働ける人になりたいです。

タイ学習ツアーを終えて

中学一年　鍋内 志織
西新教会信徒

言葉は通じなくても、心は通じあえるという体験から始まりました。日本がどれだけ、裕福な生活を送れているかということです。タイの子どもたちには、たくさんの小さなやさしさ、心温まる笑顔をもらいました。私は、タイに行く前には、すぐにいやな事があったら笑顔がなくなったり、人に冷たくなっていたのかもしれません。このことに気づけたのは、タイに行ってから気づいたこと、タイに行ってからしか、気づけなかったことだと思います。

私はタイを離れる最後の日に、こんなことを知らされました。それは「子どもセンターにいた子どもの20％はＨＩＶ感染症」だということです。私は、信じられませんでした。子どもセンターにいた子どもたちは、みんな男女関係なく同じように笑顔でいてくれたし、みんな明るく元気でいてくれたから、私は、全然気づかなかったと思います。

私は、タイで、もしかしたらいやな顔をしたり、笑顔がなくなっていたかもしれません。来年もできたら参加したいと思います。参加した時は、今度は、私から積極的にせっしてあげたり、どんな時も笑顔でがんばりたいと思います。そして、来年は、もっとたくさんの人たちに、参加してほしいです。

宣教者パウロのシルエット②

12使徒は聖務に忙しくなったので、食事の世話をする人を7名選んだ。その中の1人、ステファノは霊によってすばらしい説教をしたので、彼と議論する人は歯がたたなかった。遂に訴えられて、最高法院で弁明することになったが、その顔はさながら天使のようであった。彼は聖霊に満たされ、天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える、と言った。人びとは我慢ならず、都の外に引きずり出して、彼に石を投げ始めた。彼らは、自分の着物をサウロという「若者」の足元に置いた。ステファノは、主イエスよ、私の霊をお受けください。それから、ひざまずいて、主よ、この罪を彼らに負わせないでください、と大声で叫んで、眠りについた（使徒7・59）。

サウロはこの迫害に賛成していた。これら殉教者の祈りが、後のサウロの回心の契機となったと思われる。

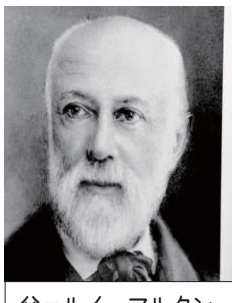
森山　敬三
（大名町教会信徒）

ケイタイを置いてほんとの旅に出る
個人情報宛名は書いていいですか

坂牧春妙
坂牧春妙

聖テレジアの両親列福

10月19日（日）、幼きイエスの聖テレジアの両親、ルイ・マルタンとゼリー・ゲランが夫婦共に列福されました。



父＝ルイ・マルタン　母＝ゼリー・ゲラン

現代の結婚生活のあり方にも励ましとなり、執り成しを祈ることもできます。

待降節の黙想会　ご案内

① 12月6日（土）～7日（日）　指導；内山恵介神父
② 12月13日（土）～14日（日）指導；来住英俊神父
③ 12月20日（土）～21日（日）指導；来住英俊神父

PRAYER GROVE MUNAKATA

カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

第8回諸宗教平和の祈りの会

真命山

10月5日、第8回諸宗教平和の祈りの会が玉名郡和水町（熊本県）の真命山諸宗教対話霊性交流センターで開催された。

真命山では、日頃「自分の信仰を深めると共に相手の信仰をも尊敬し、共に手を携えて世界の平和と救いのために働く」という理念を基に年間を通じて、いろいろな他宗教との出会い、交流、対話を進めている。

2年に一度、いろいろな宗教の代表者が真命山に集い、世界平和のための祈りの会を催している。

今回は8回目を迎え、大本、天台宗、曹洞宗、浄土真宗、立正佼成会、生命山シュバイツアー寺、ルーテル教会、カトリック教会、総勢50名程が集まった。

熊本地域諸宗教対話研究会、フランコ神父をはじめとする真命山のメンバー、玉名の方々の信者、地元蜻浦の住民の方々の協力を得て、諸宗教対話研究会の代表上村道雄氏の司会ですすめられた。真命山の本堂において、それぞれの宗派の代表者が自分の宗派の伝統に従って平和のための祈りを捧げ、平和の誓いの署名をし、全員で平和のために尽くすことを再確認した。

6回目の「やすらぎの集い」

久留米

ロザリオの月に入った10月4日（土）、久留米市にある聖マリア病院で、「やすらぎの集い」が開催された。この集いは、病気療養中の方々のこころとからだのやすらぎ」をを願ってともに祈る集いである。6回目を迎えた今年は宮原司教を迎え、約80人が病院内にある「ルルドの泉広場」に集まった。

聖マリア病院にて療養中の方々とそのご家族、病院職員、ボランティアの学生、地域住民、聖歌隊として久留米教会の子どもたちが参加し、思いを一つにして祈りのひと時を過ごした。また集いの中で、宮原司教、マグリン神父（聖マリア病院チャプレン）、浦川神父（久留米教会主任）が参加者一人ひとりに按手を授けた。

宮原司教は集いの中で、自身の司祭叙階直後、病院のチャプレンを経験したことに触れ、司祭としての歩みの中で、重大な決断をしなければならない時には、いつも病気の方々のもとを訪ね、祈ってほしいと懇願していることを明かした。神様に一番大事にされ、愛されているのは病気の人々であること、聖書にある通り、イエス・キリストは何よりも病気の人々の隣人になっていることを告げ、希望と励ましを参加者に与えた。

「常に弱い人々のもとに行き、常に弱い人々とともに歩む」ことを基本理念とする聖マリア病院にとって、祈りによる連帯は大きな支えである。

秋空のなかでてんてんまつり

10月13日体育の日、恒例の「宗像てんてんまつり」は大勢の参加者で埋まった。シスター髙木慶子の特別講演会場は身動きできないほど。NPOなどの出店、カレーやうどん、餅つきでは杵を振り上げる宮原司教の姿もあった。

午後の感謝ミサは例年と会場を移し「へそ広場」で宮原司教主式のミサが行われた。

「今年もこれた。元気」という声を交わす常連の参加者は九州各地から来ている。ボランティアの信徒も広範囲。これが「てんてんまつり」。

ゼノ修道士の写真展

10月4日から9日まで福岡市赤煉瓦文化館（天神2丁目）で行われた写真慈愛には、611人が訪れ慈愛にに満ちたゼノさんの写真がりすがりに見入っていた。通に看板を見た人、出張で来ていたという他県の人皆が「思わず入った」というほどゼノ修道士の姿には引き付けられる。40年前、東京の電車の中で出会ったという人の姿もあった。

聖堂再生着実に進む

2007年4月15日に発足した宗像ザビエル聖堂再生プロジェクトは4チーム構成で動き出している。その内チーム1は市民と共に聖堂再生を進める「再生コミュニティー」（労働・技術）で、2008年10月7日に毎週水・木曜日をボランティアの日と決め、石段・石柱についたモルタル落としを始めた。石工事が始まる1月10日まで延べ274人が参加して終えた。石工事は3月31日に終えて、石段と石柱を組み立てた。4月6日立柱式には鹿児島から34人の参加者があり、合計62人の前で祝別が行われた。

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

教会での結婚式

教会によって状況は違っていると思うが、教会で結婚式をする人が少なくなっているような気がする。信者でも教会とは別の式場で結婚式をしている。それはひじょうに残念なことであり、また淋しく、悲しくさえも感じることがある。

信者は教会で式をしなければならない。それは単なる義務ということではなく、ぜひして欲しいという教会の強い望みでもある。強い望みであるからこそ、義務として定められているのである。教会で結婚するということは単に教会を式場として選ぶということではない。命の与え主である神の前で結婚の誓いをして、これから始める新しい生活の上に神の豊かな祝福を願うという意味がある。そのため、少し極端な言い方かもしれないが、教会は式そのものと同じくらいに結婚の準備を大切にしているのである。

かつては「結婚の要理」や「結婚のけいこ」と呼ばれていた結婚の準備。今では「結婚準備講座」や「結婚準備セミナー」と呼ばれている。教会や神父によって形式は若干違っているが、その内容は様々に工夫され、結婚生活の豊かさを伝えるとともに、神とのつながりの大切さについて考えるいい機会になっている。

忙しい毎日。その中で結婚式の準備も行われる。忙しいからこそ、その流れを少し止めて新しい人生のスタートをじっくり準備する必要があるのではないだろうか。

教会での挙式が減っている背景には多々の理由があろう。青少年の教会離れ（教会の方が青少年から離れている？）、ミサ参加者の減少。ひいては、信仰生活と社会生活との遊離？価値観がゆらいでいる時だからこそ、結婚を機に人生の意味をしっかりと見つめたい。最近、カトリック青年同士の結婚が何組か続いていると聞く。喜ばしいことである。（続）

行橋教会主任　山元眞神父

カトリック難民移住移動者委員会

第4回長崎教会管区外国人セミナー 共同宣言

私たちはテーマ「愛と理解・外国人信徒と日本人信徒の手をつなごう」を目指して、九州各地から熊本に集まりました。そして日ち人教異人が私たちは、外国人信徒が日々増えている本の教会はどうあるべきかを外国人と日本人の会は世界中で共通する部分と国によって本人がまなる多様性を有しています。今日は日こで信徒と外国人信徒が一緒に話し合うことができ、お互いの理解を深めることができました。外国人信徒は日本で生活する中で、自分達の信仰を守るために様々な苦労をしています。外国人信徒がこれから日本の教会に参加するために次のことをお願いします。

① 外国人信徒を小教区においてお客さん扱いするのではなく共同体の一員としを与積極的に迎えいれてください。責任を分担させてください。

② 外国人信徒が喜んで参加できる、多文化共生の教会と典礼にしてください。外国人信徒も日本人信徒の中に積極的にかかわりましょう。

③ 多言語によるミサを、もっと増やしてください。典礼によって日本人信者との理解と一致がすすみますように。

＊9月23日熊本マリスト学園で行われた長崎教会管区外国人セミナーの結果として当日出された宣言です。

郵便振替口座番号：
01720・1・44311
加入者名：
NPO法人文化財保存工学研究室
問合せ先：TEL 0940-33-9004

宮原司教様の許可を頂き再生事業への寄付の依頼をさせていただいています。貴重な文化財保存への理解も加え上記へのご寄付をお願い致します。土田充義

BOOK 読みま専科

☆聖クララ伝
沈黙と記憶のはざまで
マルコ・バルトリ著
宮本順子訳

中世イタリア、アシジの修道院の沈黙の中に閉じ込められた聖クララ。本書は最新の研究成果をふまえつつ、列聖に際して教皇の命によって書かれた「聖なるおとめクララの生涯」を、その直後の資料である列聖調査記憶と照らして読み直したものである。

まったく新しいクララの姿であった。それは中世の枠を破る新しい自覚を持った女性像である。

サンパウロ発行
1680円（税込価格）
◇◇◇

☆日本の教会の歴史
ザビエルからはじまった
結城了悟著

1549年8月15日、戦国動乱の日本に二人の仲間と共に上陸したフランシスコ・ザビエル。彼が伝えたキリストの教えに命をかけた日本の教会は、過酷な弾圧の中を生き抜いた。歴史を知ることは自分を知り、未来を拓く。

女子パウロ会
1365円（税込価格）
◇◇◇

☆ペトロ岐部と187殉教者
歴史・巡礼ガイド

「カトリック生活」誌で連載された「一八八まるちれすの地を訪ねて」に、よりくわしい解説、新たな資料写真や巡礼地案内を添え、殉教についてのカトリック教会の教え、列福豆知識、殉教と時代背景、キリシタンの信仰、などの記事を加え、装いも新たな充実の一冊をなりました。

ドン・ボスコ社
1050円（税込価格）

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日／AM 10時～PM 6時
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2008年11月23日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：１回　500円
資　料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

第１回 11月16日
〔開講式・パウロの生涯〕　牧山勝美神父
第２回 12月14日
〔伝道旅行〕　牧山美好神父
第３回 １月18日
〔使徒としてのパウロの心〕　最頼巌流神父
第４回 ２月15日
〔パウロの宣教の仕方〕　下町豊重神父
第５回 ４月16日
〔三位一体の神〕　青木　悟神父
第６回 ５月17日
〔福音宣教を考える〕　宮原良治司教

【時間・会場】
各回日曜日　13：30 ～ 16：00
会場：カトリック手取教会　信徒会館大ホール
【受講料】全６回＝ 5000 円／１回＝ 1000 円
【問合せ】手取教会（℡ 096-352-3030）岸
【主　催】熊本地区神学講座実行委員会

聖書週間特別記念講演会　パウロを学ぶ

PART II「パウロの手紙を読む」
日　時：2008 年 11 月 16 日（日）受付 13：30
場　所：カトリック大名町教会
講　師：鈴木信一神父（聖パウロ修道会司祭）
参加費：５００円
主　催：福岡教区聖書委員会
協　賛：聖パウロ修道会
＊パウロが 100 倍楽しくなります。

第 61 回 福岡市民クリスマス

合唱と合奏の夕べ ＆ クリスマスメッセージ
日　時：12 月８日（月）　開場 19：30
場　所：福岡市民会館大ホール
合　唱：福岡市民クリスマス合唱団
合　奏：福岡市民クリスマス合奏団
メッセージ：踊一郎牧師（西南学院バプテスト教会）
参加費：無料

糸島 マザー・テレサ愛の映画祭

内　容：①映画　母なることの由来
②"愛"と"いのち"のミニコンサート
③映画　母なるひとの言葉
入場料：無料
ところ：前原市伊都文化会館
と　き：11月８日（土）　１２:３０　開場
主催者：糸島マザーテレサ愛の映画祭実行委員会

列福式実行委員会救護部から

式当日の救護本部（会場１階１塁側屋内練習場）
式当日の電話番号　０９５－８４５－６２２２

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

福岡黙想の家ご案内　11月

◇１日（土）～２日（日）　アクティブ・ペアレント・ジャパン修養会
◇６日（木）～８日（土）　防府カトリック教会婦人会黙想会
◇８日（土）～９日（日）　山口・島根信者養成研修会
◇９日（日）～ 10日（月）　聖マリア在俗会黙想会
◇15日（土）～ 16日（土）　在世カノッサ会黙想会
◇19日（水）　北九州チェナクルム
◇22日（土）～ 24日（月）　ゆふの会　修養会
＊毎週火曜日は「祈りの日」11:00ミサから15:00まで予約無しでも参加でる日帰り黙想！皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：11月13日（木）10時～ 15時
・**内　容**：『聖霊による祈り』
指　　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100　FAX0968・85・3186　・玉名郡和水町蜻浦1391-7・
E-mail　shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：11 月 15 日、12 月６日　第１・第３土曜日 10 時～ 12 時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第１・第３土曜日。変更の場合もあります。

11月のこよみ

２日(日)　死者の日
唐津教会堅信式
３日(月)　召命の集い（大神学校）　文化の日
４日(火)　（宗法）カトリック幼稚園園長会合
５日(水)　教会行政法制委員会（中央協）
６日(木)　常任司教委員会
８日(土)　†M.マッコンネル〔2005年手取教会〕
９日(日)　ラテラン教会の献堂
戸畑教会公式訪問
教区和田墓地ミサ（14時）
11日(火)　日韓司教交流会（韓国～13日）
16日(日)　年間第33主日（聖書週間～23日）
伊万里教会堅信式
†浦口均〔2007年老司教会〕
17日(月)　佐賀地区司祭集会
18日(火)　福岡教区幼児教育連盟例会／司教顧問会
21日(金)　聖マリアの奉献
22日(土)　聖セシリアおとめ殉教者
23日(日)　王であるキリスト　勤労感謝の日
箱崎教会創立50周年閉幕感謝ミサ
24日(月)　188殉教者列福式（長崎ビッグNスタジアム）
25日(火)　列福感謝ミサ（長崎・中町教会）
27日(木)　†M.C.ハイメ〔2003年　　〕
30日(日)　待降節第１主日／†春山勝美〔2007年高宮教会〕
田川教会堅信式／教区列福感謝ミサ（小倉教会）

12月
１日(月)　福岡地区司祭集会（光丘教会11時）
３日(水)　聖フランシスコ・ザビエル
４日(木)　常任司教委員会（中央協）
７日(日)　待降節第２主日／宣教地司祭育成の日（献金）
鳥栖教会堅信式／八代教会殉教祭

＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡

召命の集い 2008

テーマ：『与え尽くそう“I・Eve・愛”』
～私の愛にとどまりなさい～（ヨハネ 15・9）
日時：11月３日（月）８時半　受付
場所：福岡サン・スルピス大神学院
☆楽しいこともたくさん準備して大神学生みんなで待っています。来てください！

■福岡祈りの会
〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会〔問合せ〕〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい〔代表〕Br床嶋〔問合せ〕☎092・551・6279松本

■在世フランシスコ会集会
〔日時〕11月16日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合先〕☎092・843・5831岩崎

■福岡ホスピスの会勉強会
〔日時〕11月16日(日) 14時から16時〔場所〕カトリック大名町教会〔テーマ〕コミュニケーション（末期の告知を受けた患者・家族との関り方）〔講師〕野島一彦教授（九州大学大学院人間環境学府実践臨床心理学）〔参加費〕一般参加者1000円／会員500円〔問合せ先〕☎092・874・6321事務所

■グレゴリオ聖歌ミサ
〔日時〕11月18日(火) 11時から〔場所〕聖クララ寮聖堂（福岡市南区塩原）〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕℡096・380・5686堺

■召命を共に祈る会
〔日時〕11月20日(木)〔場所〕八代巡礼〔問合せ〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■虹の会
〔日時〕11月29日(土) 13時半〔場所〕カトリック大名町教会3階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分ち合いです〔参加費〕600円〔連絡先〕℡090・1162・6395柴田

■召命祈願ミサ
〔日時〕12月11日(木) 19時30分から〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔問合せ〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■美野島司牧センター
ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします。また、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも併せて募集しています。〔問合せ先〕☎092・431・1419　コース・マルセル神父

北九州

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕11月13日(木) 14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリ外国宣教会の亡くなられた司祭のためのミサ、ミーティング〔指導〕伊東成晃神父（門司教会主任）〔問合せ先〕☎093・963・2359江口

■小倉祈りの集い
〔日時〕11月28日(金) 13時半から15時〔場所〕小倉カトリック教会信徒会館２階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209松田裕子

佐賀

■佐賀祈りの集い
〔日時〕11月12日（水）10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕11月26日（水）10時～12時はミサと祈り＝毎月第２と第４水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347　吉武

熊本

■カトリック看護協会福岡支部の集い〔日時〕11月９日（日）14時30分から〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔問合せ先〕☎096・352・7181　Sr竹内

■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕11月13日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎096・368・2825青木悟神父

福岡地区納骨堂委員会お知らせ

死者のためのミサ
日時：11月９日（日）14時
場所：和田墓地（福岡市南区）
主式：宮原良治司教
◆正午から開放しています。
納骨など問合せは各小教区納骨堂委員へご相談を。

編集後記

いよいよ列福式が近づきました。日本の教会にとって大切な時を迎えようとしていますが、海外ではリジューの聖テレジアのご両親が列福されたという報道に接しました。ご夫婦の間には９人の子供が生まれましたが、結核などのために４人が夫逝し５人の娘たちは次々とカルメル会に入会しました。テレジアは幼くして母を失いましたが、母親のようにテレジアを世話してくれた姉の入会は幼いテレジアの心に大きな影響を与えたと言われています。子どもたちを神様に捧げつくされたご両親の信仰は、現代を生きる私たちにも大きな励ましとなります。来月号は、列福特集号で、一週間遅れの発刊となります。ごきげんよう！

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
*** 募集 ***
≪医師≫≪看護師≫
如水形成：4週8休 ※詳細は人事部へお問合せ下さい。
★がん診療連携拠点病院★地域医療支援病院
★入院基本料（一般病棟）7：1
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
[ホームページ]http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の
健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスカウントした住まいづくり
有限会社 ナガシマ建築工房
社長　ヨゼフ　長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17　TEL：092-871-0063
ナガシマ建築工房　福岡　検索

サンパウロ福岡宣教センター
（キリスト教書籍・祈り用品販売店）
11月死者の月
先祖のために
祈りましょう
家庭祭壇展示品・パンフレットあり
1.暦 典書 信心書 聖人伝 キリスト教関係 絵本 一般書
2.暦 家庭祭壇 十字架 ロザリオ・ご像 ご誕 CD・DVD
営業 10:00～18:00 休暇期中の日曜日※定休日＝日曜日・祭日※駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26　TEL 092-721-2032

１８８殉教者 福者に挙げられる

３０，０００人の歓喜の祈りと歌声の中で、ジョゼ・サライバ・マルティンス枢機卿によって宣言

２００８年11月24日（月）、日本のカトリック教会にとって記念すべき初めての列福式が、教皇庁主催で荘厳に行われディエゴ加賀山隼人、小笠原玄也家族15人を含む１８８殉教者が福者の列に加えられた。会場になった長崎ビッグN・スタジアムには開場と同時に信徒が次々と入場、長崎教区信徒など３０００人のボランティアの丁寧な案内もあり、トラブルなく会場は喜びと祈りの場となった。

諸事情で参列できなかった人々のために準備されたライブ放送の会場となったカテドラルでは多くの人が感動の涙を流しながら見入っていた。

夜半から降り続いた雨は、列福式開始の直前も止むことがなかった。正午、式開始の鐘が鳴り、小雨の中、約３万人が集ったスタジアムに１２００人の聖歌隊の歌声が響き渡った。まず最初に殉教者の聖遺物が奉納され、続いて５００余人にも及ぶ司祭団、さらに近隣諸国の司教とともに日本の司教団、そして教皇ベネディクト16世の代理として出席したサライバ・マルティンス枢機卿（前バチカン列聖省長官）が入堂。神さまからの祝福のしるしであろうか、その頃には次第に雨は上がり、晴間も覗きはじめた。「あわれみの賛歌」の後、列福の儀が始まり、殉教者ゆかりの９教区の司教たちが、各々列福宣言の要請を行った。福岡教区は宮原良治司教によって八代、小倉、天草、熊本などの28人の殉教者が紹介された。同枢機卿が列福を宣言。殉教者の聖画が各教区の青年たちの手によって除幕、１８８羽の鳩が放たれた。

続く聖書の朗読では、点字による旧約聖書が流暢に朗読され、また答唱詩編が一人の女性によってスタジアムの隅まで届くように祈りを込めて歌われたことに一同、感銘を受けた。

司式した白柳誠一枢機卿は、説教の中で今回の福者の大多数は信徒であることに触れ、「それは司祭たちによる熱心な信徒養成、また、家族一体となっての信仰の実践、近辺の信徒の家庭が一緒になって小さな教会の役割を果たしたこと、特に迫害下にあっては『家庭教会』として、信徒たちが役割分担して子どもたちに教理を教えたり、一緒に祈って信仰を深め、神様の特別な恵みで殉教をも受け入れることができたのでした」と述べ、家庭が果たした大きな役割について語った。（全文を四面）

ミサの終わりになされた教皇メッセージに応えて列聖列福特別委員会委員長溝部脩司教は、聖座に対して謝辞を述べ、今回の列福調査をすすめる過程の中で、日本の教会と普遍教会の結びを実感したと語った。さらにその調査のために尽力された方々の中でも式直前に帰天された結城了悟神父の名前があがったとき、会場からは大きな拍手が起こった。最後に溝部司教は、今後は日本の教会の刷新を求めて、殉教者とともに４００年間にわたる共通の記憶を大切にしながらこの時代を勇気をもって生き抜いていこうと語った。（全文を六面）

列福式は、３時間半に及ぶ長時間の典礼であったが、参列者はその感動を口々に語った。その中で、殉教者という存在はこれまで遠い存在だったが、今日の式に参加して身近になったという人、日本の教会とバチカンとのつながりを実感したという人もあった。また、式直前まで雨が降ったことにある信徒は「殉教者の喜びの涙だと感じた」と語った。救護室に子どもを連れて行った若い母親は、そこにいたシスターが、濡れた靴下を新しい靴下に履き替えさせてくれたうえに、『お母さんも暖かいお茶を飲んでいきなさい』と母親まで気遣ってくれたことに感銘を受けた」と語った。サラエバ枢機卿は式後のレセプションの中で「『何を手に入れるか』よりも『どうあるか』が大切であること、死に至るまでの英雄的な行い、ゆるすこと、助け合うことなどが殉教者が示している価値だ」と述べたが、このような精神が随所に息づいていた列福式であった。

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】いのちの文化
【布教の意向】兄弟愛の具体的な態度
【日本の教会の意向】子どもたちの尊厳の尊重

教皇書簡

わたしは、日本の兄弟姉妹である全信者の請願を受理し列聖省の助言に基づく審議の結果

1603 ～ 1639 年に日本各地で殉教した神のしもべ、イエズス会盛式誓願修士ペトロ岐部カスイ司祭と殉教者である以下の尊者を使徒的権威によって福者の列に加えます。

八代の殉教者・ヨハネ南五郎左衛門、シモン竹田五兵衛ほか９人。　萩・山口の殉教者・メルキオール熊谷元直とダミアン。　薩摩の殉教者・レオ税所七右衛門。　生月の殉教者・ガスパル西玄可ほか２人。　有馬の殉教者・アドリアノ高橋水ほか７人。　天草の殉教者・アダム荒川。　京都の殉教者・ヨハネ橋本太兵衛、テクラほか 50 人。　小倉・大分・熊本の殉教者・ディエゴ加賀山隼人、小笠原玄也、みやほか 15 人。　江戸の殉教者・ヨハネ原主水。　広島の殉教者・フランシスコ遠山甚太郎ほか２人。　島原・雲仙の殉教者・パウロ内堀作右衛門、ヨアキム峰助太夫ほか 27 人。　米沢の殉教者・ルイス甘糟右衛門ほか 52 人。　長崎西坂の殉教者・イエズス会修士ニコラオケイアンと長崎のカテキスタ　ミカエル薬屋、イエズス会盛式誓願修士ジュリアン中浦司祭、アウグスチノ会修士トマス金鍔次兵衛司祭。　大阪の殉教者・イエズス会盛式誓願修士ディエゴ結城了雪司祭。

イエス・キリストの福音を勇気をもってあかしした、この殉教者たちの記念日は、法令の定める場所と形式に従い、毎年７月１日に祝うことにいたします。

父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

教皇がサンピエトロ広場からメッセージ
ペトロ岐部と１８７殉教者の列福に寄せて

11月23日（日）正午にサンピエトロ広場で行われた「お告げの祈り」の中で、教皇ベネディクト十六世は、24日（月）正午から長崎市・ビッグNスタジアムで行われるペトロ岐部カスイと１８７殉教者の列福に向けてイタリア語と英語でメッセージを述べました。

明日、日本の長崎市で１８８名の殉教者の列福が行われます。１８８名は全員、17世紀初頭に殺された日本人の男女です。日出づる国のカトリックの共同体とすべての国民にとってきわめて重要なこの機会にあたって、わたしはこの人々に霊的に寄り添うことを約束します。・・・・また、日本のわたしたちの兄弟姉妹とともに、この兄弟姉妹たちは明日、長崎で、尊崇すべき神のしもべペトロ岐部カスイと１８７同志殉教者の列福式を行うからです。キリストに結ばれたこの殉教者たちの罪と死に対する勝利が、わたしたち皆を希望と勇気で満たしてくれますように。

カトリック福岡教区報

宮原良治司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　森山信三
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

12月の意向

【一般の意向】いのちの文化
【布教の意向】兄弟愛の具体的な態度
【日本の教会の意向】子どもたちの尊厳の尊重

みちくさ

列福式を終えた私たちは、今後この祭典を単にイベントに終わらせないためには、ひとり一人の変革、教会の刷新が求められる。開催地の長崎では、たくさんの方のボランティアが活発に奉仕しておられて、本当に頭が下がった。しかしながら長崎でさえ、ある種の冷めた空気があると伺った。莫大な費用と、労力を使ってこんな大きな式典をする必要があるのか、一体そのことにどんな意味があるのか等々。▲このような教会内部の声とは裏腹に教会の外では、列福式に合わせて各種のイベント、キリシタン関係の展覧会などが企画され多くの人々が足を運んだ。これらの動きに対して、単に列福がビジネスに利用されたに過ぎないと考える向きもある。しかし、聖パウロは「どんな理由であれ、キリストが告げ知らされているのですから、わたしはそれを喜んでいます。（フィリピ１・17）」と言っている。▲教会の中ではよく「信仰を守る」という表現が使われる。それは多くの場合、ミサに忠実に参加しているとか、教会の掟に沿った生活をしているという意味で使われる場合が多い。もちろんこれらを否定する者ではない。しかし、キリシタンが「信仰を守り通した」と言うとき、それは、貧しき人を助け、自分の信仰を次の世代に継承した、あるいは何よりも当時の「国是」に対して「ZO」を貫いた、というように、自分が受けた信仰を他者に向けていたことが知られる。ここに今回の列福式を通して、私たちが気づくべき大切な秘密が隠されているように思えてならない。（M）

教区各地で待ち望んだ列福式　そしてこれから

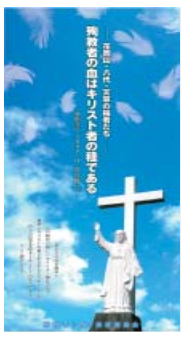
ペトロ岐部と１８７殉教者の肖像画
三牧樺ず子作

「殉教者に倣う」生活に生かすため

熊本

昨年９月、殉教者の霊性を知り、生活に生かすために『殉教者に倣う』というテーマで長崎教区の古巣馨神父に講演を依頼しました。

講演会には、熊本県下の教会から３００余人が集まり古巣神父の話に参加者はみな感銘を受け、自分たちの信仰における先祖に倣いたいという思いに掻き立てられました。



講演会後、殉教者の霊性に少しでも倣うという意図で、司祭、修道者、信徒による実行委員会を立ち上げ、熊本、天草への巡礼者の便宜を図ることを考えロードマップを作製することにしました。

また、小教区でも各々の取り組みがなされ、手取教会では、主日のミサで連続６回、殉教者や殉教について話しを聞き、黙想会でも殉教者をテーマに祈りました。これらを通して学んだことは、殉教者の霊性とその生き様、自分たちの信仰が殉教者から受け継がれていること、殉教者の霊性を受け継ぎ、次の世代、周りの人に福音を証しすることの重要性、そして信徒同士の交わりの大切さなどでした。

四旬節黙想会が投げかけた殉教者とは

大名町

大名町教会では、今年の年間目標を「ともに歩こう　キリストの道」としています。年間目標は毎年５月の信徒総会で決定しています。このテーマとなったのは、２月に行われた四旬節の黙想会で長崎教区の古巣馨神父様が、11月に予定されていた「ペトロ岐部と１８７人の殉教者」の列福式に向け、「殉教者と現代の教会」をテーマに指導してくださったことがきっかけです。

列福式のことは知っていても、殉教者についてほとんど何も知らなかった信徒に、具体的なエピソードをふんだんに交え、わかりやすく説明や講話をしてくださいました。

殉教者がしたことを知り、私たちは殉教者にならって何をするのかという、重い課題をいただきました。

３月から、教会委員会で11月の列福式に向けて小教区としてどのように取り組むかを検討しました。その結果、列福式と殉教に関することを年間テーマとして取り上げることを信徒総会に提案することとなり具体的な活動として、①殉教者についての学習会、②殉教者に関する信徒間での分かち合い、③殉教者を擁する教会との交流、④巡礼などを計画しました。

６月に信徒総会で年間テーマが決まり、直ちに年間の事業を計画して実施しました。これまでに行った主な事業は、学習会として殉教に関する導入からはじめ、ジュリアン中浦、ペトロ岐部を中心とした学び、その前後に「殉教とわたし」、「私たちは何をすれば？」をテーマに２、３人かち合いがなされ、特に読書会では、毎回予習をしてから勉強会に臨むという意気込みに熱いものがこみ上げてきました。１年前までの小倉教会とはうってかわった姿に感動し、１８８人の福者の力を感じました。

ディエゴ加賀山隼人に倣って

小倉

小倉の地には４００年以上も前に教会堂が建てられ、ディエゴ加賀山隼人を始めとしてたくさんの信者がいたと記録に残されています。しかし、その繁栄も１６１３年の徳川家康の全国禁教令で継続かなわず、１６１９年までにディエゴを始めとして30数人が殉教の死を遂げたと伝えられています。その多くの殉教者の代表として、この度ディエゴ加賀山隼人が列福されました。小倉教会では、もう何年も前からディエゴの列福を願って祈願ミサを毎月行っていましたが、教区一を誇る信者数なのに毎回参加者は20人足らずと啓蒙することの難しさを痛感した年月でした。しかし、１年前、今回の列福が正式に決まるとようやく小倉の信者の心にもじわじわと喜びが湧いてきたように見受けられました。特に今年に入ってからは、巡礼の地として何をしてよいか話し合われ、訪問者に配る立派なカードが用意されました。「列福をひかえ、ともに祈る７週間」が配布されてからは、各勉強会で、この冊子をテキストに分

教会学校・堅信準備「殉教」もテーマ

行橋

行橋小教区では１８８人の列福が決まるまで、「ディエゴ加賀山隼人の列福を求める祈り」を毎週主日のミサの中で、信者一同祈り続けていました。それだけに列福決定は大きな喜びでした。

今年に入り、教会学校では、召命の集いの作品のテーマを、列福にちなみ、「殉教」に決め、子どもたちは殉教者について学びつつ、今、自分たちは何を捧げられるのかを考えました。

来年堅信を受けるメンバーは、20回ほどある準備クラスの中に、「殉教」を意識した講座内容も組み込み、勉強しています。堅信式の前に巡礼バスハイクも計画中です。

信者全体では司教協議会から出された「列福をひかえ、ともに祈る７週間」を全世帯に配布し、各家庭で式を迎えるまでの心の準備をしています。毎朝、この冊子を読み黙想しているご夫婦もいらっしゃいます。また、主日のミサの中で司祭がテーマに沿った話を５分ほどしてくださっています。

不動山キリシタン殉教者にも思いをはせ

佐賀

佐賀地区では嬉野市不動山にキリシタン殉教史跡があり、毎年12月第２日曜日に現地にて不動山殉教者祈念祭を行っていますので、「殉教者」という言葉への関心もそれなりに培われています。しかし、今回のペトロ岐部と１８７殉教者の列福の裁可の中でこの冊子は、信徒にとって殉教者をもっと身近に感じながら７週間を過ごすことができ、列福式に50人あまりが参列することができました。

また、列福式に参列するしないにかかわらず、佐賀教会共同体として殉教者を身近に感じ、また個人的にこの冊子を読んで、殉教者の生き方に感じ入って涙したという話しも伺いました。これから、福者となった殉教者とともに生きることは、これからの課題として残されています。

また、不動山殉教者祈念祭の取り組みの新たな心構えの一助となることが願われていました。

佐賀地区では「列福をひかえ、ともに祈る７週間」の冊子が発行されていることを事前にお知らせしました。各自に配布し、10月５日の全国一斉「祈願ミサ」から始まることをまず意識しました。

それから毎週日曜日のミサの中で解説と祈りを信徒で当番を決めて朗読することにいたしました。

宣教者パウロのシルエット③

サウロが迫害の旅でダマスコに近づいた時、突然、天からの光が彼の周りを照らした。サウロは地に倒れ、サウル、サウル、なぜ私を迫害するのか、と呼びかける声を聞いた。「主」よ、あなたはどなたですか、と言うと、私は、あなたが迫害するイエスである。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる、という答えがあった。

サウロは起き上がって、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。ダマスコにアナニアという人がいて、主から幻を受け、ユダの家にいるサウロという人に逢い、彼の上に手を置けば見えるようになると知らされた。彼がサウロのところに行って、言われた通りにすると、目があいた。そこでサウロに洗礼を授けた（使徒９・３～19）。このことは使徒言行録に三回記載されており、ご復活につぐ大事件で、迫害者サウロは、暫くのち宣教者パウロとなった。

森山　敬三
（大名町教会信徒）

いい人だ　ただでティッシュを配ってる　坂牧春妙
雑用のない人生はひまだろう　坂牧春妙

26聖人記念館初代館長 結城了悟神父帰天

11月17日（月）20時37分、長崎市の聖フランシスコ病院で逝去された。享年86歳。

結城神父はイエズス会司祭で40年以上にわたって26聖人記念館の館長を勤め、キリスト教の歴史研究に熱心に取り組んでこられた。この度の１８８殉教者の列福にも多大なご尽力を注がれ、神父様のお力なしには列福はなかったとさえ言われるほどで、列福式を心待ちにしながら闘病されていた。

ミラノ外国宣教会司祭 R・マグリン神父帰天

11月26日（水）16時10分、久留米の聖マリア病院ホスピスで逝去された。享年84歳。

１９５４年に来日し、56年から２０００年まで佐賀地区の教会で司牧に従事された。01年からは聖マリア病院のチャプレンとして就任され、患者さんや職員のこころの支えとなっていた。また、カテドラルでのゆるしの秘跡の奉仕を始められ、今も数人の司祭の奉仕に繋がっている。

待降節の黙想会　ご案内

① 12月６日（土）～７日（日）　指導；内山恵介神父
② 12月13日（土）～14日（日）指導；来住英俊神父
③ 12月20日（土）～21日（日）指導；来住英俊神父

PRAYER GROVE MUNAKATA

カトリック福岡黙想の家
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155　福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

手取教会80年振りの大改修と信徒会館など新築落成を祝う

10月26日（日）、献堂80年を迎え、老朽化に伴なう改築の想起から2年10ケ月を経て完成した聖堂、司祭館と信徒会館、案内所の落成を祝う感謝ミサと祝賀式が行われた。熊本地区はもとより手取教会にゆかりのある人々が九州各地から大勢参列し共に喜び祝う人々で聖堂は埋め尽くされた。

ミサは溢れる信徒と関係者の参加の中、宮原良治司教、牧山勝美主任司祭ほか２００４年まで司牧していた聖コロンバン会の司祭、近隣の司祭たちの共同司式で行われた。宮原司教は「目的があって建物は生かされます。立派な聖堂になりましたが神との交わりが抜ければ偽装と同じです。神は常に新しく完成されていますから神に触れることで豊にされ、そこには空洞化も偽装も起こりません。この場所で祈り、利用する者がここで神からの照らしを受け、神からも人からも喜ばれる者となり、周りの人々にもそれが伝わっていくような場になることを期待します」と語った。

聖堂前のバス停でバスを待つ人の目線を楽しませていた「カトリック案内所」が左から右側に移転新築され、「ぶどうの樹」と命名されて人々の足を引き付ける場となっている。

一足先に完成していた「信徒会館と司祭館」は一階を受付、ゆったりしたロビーと小聖堂を配置。ロビーの奥には要理教室などに使える明るい部屋、厨房、講堂と信徒の活躍、奉仕を生かせる設計になっている。二階は数人の司祭の居住区。

これまでの暗い聖堂というイメージで中に入った人は皆驚いたのではないだろうか。すべてのステンドグラスを専門家に送り、見事に磨かれ、木枠も含めて当時のままが再生された。あの鉄川与助氏が建築した当時はこんなにも明るい美しい聖堂だったのかと誰しもが感動していた。

建設委員長を務めた城川康博さんは「鉄川氏が良質のヒノキ材で作っていたステンドグラスの木枠が少しの修復だけでそのまま甦らせることができたことが本当に嬉しい」と語った。

祝賀会には、主任司祭だった聖コロンバン会のジョー神父やカリー神父の驚きと喜ぶ姿もあった。

近頃の若いモンは

―青年による青年事情通信―

教会での結婚式　②

教会での結婚式で最近多い事例…。

挙式や披露宴の日取りを決めてから教会での挙式を申し込む。日ごろはほとんど教会とのつながりがない。結婚する当人より親が教会での挙式を望んでいる。当人は別に教会で式をしなくてもいいと考えている。親のために、親孝行のひとつとして教会で式をする。子どもがすでにできている。すでに一緒に生活（同棲）している。籍を入れている。信者は教会で挙式をしなければならないことを知らない。教会で挙式するために結婚準備セミナーに参加するが、挙式が終わってもなんら変わりはない。教会とのつながりが続かない。「信者は教会で挙式しないといけない」と言ったところで「そうですか」と事は単純には進まない。

信者でない方が真剣に教会での挙式を望んで申し込みに来る。当人自身が望み、日取りについては教会側の都合を伺い、時として事前にミサに参加したり、式の後も教会に顔を出す。親の影はない。

この違いはどこにあるのだろうか。教会は「…しなければならない」と言うだけではなくて、その原因や理由を真剣、かつ謙虚に考えなければならないと思う。

先に挙げた「最近多い事例」であっても、まずは温かく迎える。まずは「おめでとう」を言う。そこから結婚の準備を始める。当人が教会での挙式を本当に望んでいるのかを尋ねる。どうでもいいのであれば、教会で挙式する意味を伝える。それでも望む人の意思を尊重して（？）他の場所で挙式をしていただく。

結婚式のことだけでなく、他の教会のいろんな決まり事にしても、義務を強調するのではなく、「本当の自由」の素晴らしさを伝える必要があるのではなかろうか。堅信の秘跡を受けた後、教会とのつながりは弱くなっている。その結果？

教会は「社会の常識？」に押されている。（続）

山元　眞　神父

聖書週間　「聖パウロを読む」に１１０人

聖書週間が始まった11月16日、聖パウロ会の鈴木信一神父を講師に「聖パウロを読む」と題して講演会がカテドラルで行われた。鈴木神父は、ローマ書と２つのコリント書を時代背景及びパウロの言葉の裏に隠された様々な出来事や歴史的事実について解説を加えながら説き明かした。圧巻は第２コリント書であった。いわゆる「涙の書簡」と言われるパウロが涙ながらに書いたとされる書簡である。パウロが当時の論敵からどれほど攻撃され、苦しめられたか、また、その論敵に惑わされているコリントの信徒をどれほど愛し、彼らを正しい信仰に導こうとしたか、そのために彼が自らを何度も「愚か者」と称し、自らの弱さを臆することなく述べているかということを臨場感溢れる語りで分かち合われた。60代のある信徒は「福音書は４つですが、パウロの書簡は「第５の福音書」とも言えるほどの書物であることが分かりました」と語った。一般にパウロは「異邦人の使徒」と呼ばれ、その才能を駆使して当時の異邦人世界に切り込んで行った偉大な使徒と考えられている。しかしその書簡を綿密に読むと、彼のありのままの姿が描かれており、人間としての葛藤や苦悩そして慰め、喜びがストレートに描かれていることが分かる。そしてそれがゆえに逆説的な言い方かもしれないが「み言葉」として普遍的な価値があることを再認識させられた３時間であった。

最後なのか？　大神学院召命の集い

恒例の綱引き、シスターに付くか、神学生に付くか大騒ぎ

優秀賞に輝いた大名町教会学校の 188 殉教者

11月３日、サン・スルピス大神学院恒例の「召命の集い」が開催された。「東京大神学校と合併するから今年が最後の召命の集い」の噂が流れる中で各地から１２００余人が集まった。

運動場のあちこちに各小教区の幟がひるがえる中を30人の司祭団が行列し、宮原良治司教との共同司式が行われた。ミサの後の運動場では青いシートの上にお弁当を囲み販やかに交流する多くの輪ができていた。

土手をステージに繰り広げられる神学生自作自演の演劇に涙しながら見入っている人も大勢いた。聖堂での牧山院長神父の講話、作品展では列福式に因む子どもたちの力作が並び、大名町教会の教会学校が最優秀賞を手にした。〆の綱引きい大きな歓声が上がっていた。

最後の表彰式の後、牧山院長から「来年も開きたいですか？」の質問に会場中から「はーい」の声、「では開催します」に大歓声が上がった。

BOOK 読みは専科

☆人と出会うこと
ジャン・ヴァニエ 著
原田　葉子　画
もし幸せになりたいなら、まず、出会うこと。知り合えば理解が深まり、心に安らぎも訪れる。一人ひとりが癒されるとき、社会も癒される。
女子パウロ会発行
税込定価８４０円
◇◇◇

☆メッセージ
殉教者から現代の教会へ
溝部　脩　著
人間の尊厳、虐げられている人の代弁者、信教の自由、女性の地位の向上、子どもの人権、政教分離、教育問題、福祉の問題など殉教者たちの生涯は単に過去の出来事ではなく、今の日本の社会のありとあらゆる問題に光をなげかけている。
本書はペトロ岐部と１８７名の列福式記念発行。
サンパウロ発行
税込価格　１０５０円
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

年末年始休業のお知らせ
＊セントポール福岡
12月29日（月）から1月3日（土）まで
＊サンパウロ社
12月29日（月）から1月4日（日）まで
来年も、どうぞよろしく。

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092－761－8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102　092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

本との出会い　人との出会い　神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会１Ｆ
平日／AM １０時～ PM ６時
日・祝日／AM １１時～ PM ４時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588　FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日　時：2009年１月25日（日）15：00
場　所：カテドラル大名町教会
講　師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：１回　500円
資　料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

第２回 12 月 14 日
〔伝道旅行〕　牧山美好神父
【時間・会場】
各回日曜日　13：30 ～ 16：00
会場：カトリック手取教会　信徒会館大ホール
【受講料】全６回＝ 5000 円／１回＝ 1000 円
【問合せ】手取教会（℡ 096-352-3030）岸
【主　催】熊本地区神学講座実行委員会

第 61 回 福岡市民クリスマス

合唱と合奏の夕べ ＆ クリスマスメッセージ
日　時：12 月８日（月）　開場 19：30
場　所：福岡市民会館大ホール
合　唱：福岡市民クリスマス合唱団
合　奏：福岡市民クリスマス合奏団
メッセージ：踊一郎牧師（西南学院バプテスト教会）
参加費：無料

福岡教区広報室アドレス
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

福岡黙想の家ご案内　12月

◇６日(土) ～ ７日(日)　待降節の黙想会(指導：内山神父)
◇13日(土) ～14日(日)　待降節の黙想会(指導：来住神父)
◇20日(土)　北九州チェナクルム
◇20日(土) ～21日(日)　待降節の黙想会(指導：来住神父)
◇30日(火) ～１月３日(土)　年越し黙想会(指導：来住神父)
＊毎週火曜日は「祈りの日」11:00ミサから15:00まで予約無しで参加できる日帰り黙想！皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155　福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222　FAX32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・**日　時**：12月11日(木) 10時～ 15時
・**内　容**：霊と花嫁とが言う『主よ来て下さい』
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
＊「祈りの集い」以外にも諸宗教の方々との祈りなどが行われています。お問合せください。
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：12 月 20 日、１月 17 日　第１・第３土曜日 10 時～ 12 時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第１・第３土曜日。変更の場合もあります。

12月のこよみ

7日(日)　待降節第２主日／宣教地司祭育成の日（献金）
鳥栖教会堅信式
8日(月)　無原罪の聖マリア
福岡市民クリスマス（市民会館18時）
11日(木)　**召命担当部門会議**
召命祈願ミサ（大神学院19時30分）
12日(金)　†M．コーフィールド〔2001年島崎教会〕
13日(土)　聖ルチアおとめ殉教者
明光学園クリスマス・ミサ
14日(日)　待降節第３主日
老司教会堅信式
†J．モラハン〔2002年水俣教会〕
21日(日)　待降節第４主日
23日(火)　**青年会クリスマス会**
24日(水)　**降誕祭夜半ミサ**（カテドラル大名町教会21時30分）
25日(木)　主の降誕（クリスマス）
久留米聖マリア病院クリスマス・ミサ
26日(金)　聖ステファノ殉教者
27日(土)　聖ヨハネ使徒福音記者
28日(日)　聖家族
31日(水)　大晦日
１月
１日(木)　神の母聖マリア／世界平和の日　元旦
新年ミサ（カテドラル大名町教会10時）
†C．バスチ〔2002年黒崎教会〕
４日(日)　主の公現
糸島教会堅信式／墓地祝福式
＊ゴチック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

2008年 降誕祭と大晦日・2009年元旦のミサ時間

教会	降誕深夜	主の降誕	大晦日	元旦	教会	降誕深夜	主の降誕	大晦日	元旦	教会	降誕深夜	主の降誕	大晦日	元旦
糸島	20:00	9:30		10:00	吉塚	19:30	10:00	7:30	14:00	長浦	20:00	9:00		9:00
今村	20:00	9:00		9:00	南福岡	19:00	14:00		10:00	鳥栖	19:30	9:00	19:30	10:00
大牟田	20:00	10:00		10:00	飯塚	19:30	9:00		9:30	長崎島	18:00	6:00	13:00	
大牟田	19:00	10:00		10:00	黒崎	19:00	9:30	0:15	9:30	呼子	18:00	8:00		8:00
小郡	20:00	10:00	0:00	10:00	小倉	17:30	10:00		10:00	松島		15:00		
久留米	19:00	10:00	0:00	10:00		20:30				佐賀		8:00		8:00
古賀	19:00	9:30	23:30	10:00	新田原	20:00	9:00	0:00	10:00	大江	18:30	10:00		8:00
	0:00				田川	18:00	11:00		10:00	伊万里	20:00	9:00		9:00
笹丘	18:00	10:00		11:00	天神町	21:30			11:00	唐津	19:00	8:30		10:00
	20:30				戸畑	17:30	10:00		10:00	山鹿	21:00	10:30		14:00
浄水通	19:00	10:00		10:00		20:00				佐賀	19:30	10:00		10:00
大名町	19:00	10:00		10:00	直方	19:00	10:30		12:00	崎津	21:00	8:00	16:30	10:00
	21:30	16:00(英)			水巻	19:30	10:00	0:00	10:00	島崎	19:00	10:00	0:00	11:00
高宮	20:00	10:00		11:00	門司					修道院		7:00		8:00
茶山	19:30	10:00		10:00	遠賀川	19:00	9:00	0:00	10:00	玉名	19:00	10:00		10:00
百道	20:00	10:00		10:00	行橋	19:00	10:00	0:00		手取	19:00	10:00	0:00	10:00
姪崎	19:00	10:00	18:00	10:00	豊津	22:30			10:00		22:00			
光丘	20:00	10:00	0:00	10:00	岩松	19:00	10:00		10:00	人吉				
二日市	19:30	6:30	0:00	10:00	伊万里	20:00	10:00		11:00	本渡	19:30	10:00		10:00
		9:00			直鳥	18:00	11:00		11:00	水俣	20:00	9:00	0:00	9:00
本郷	18:30	10:00		10:00	唐津	20:30	11:00		11:00	武蔵ヶ丘	19:30	10:00	0:00	10:00
	21:00				佐賀	19:30	9:30		11:00	直方		9:00		12:30
老司	19:30	9:30	0:00	10:00	香久	20:00	10:00		11:00	八代				

福岡

■福岡祈りの会

〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会〔問合せ〕〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい〔代表〕Br床嶋〔問合せ先〕☎092・551・6279松本

■召命祈願ミサ

〔日時〕12月11日(木) 19時30分から〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂〔主式〕青木悟神父（カトリック健軍教会主任）

■召命を共に祈る会

〔日時〕12月18日(木)〔場所〕八代巡礼〔問合せ先〕浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）

■在世フランシスコ会集会

〔日時〕12月21日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ会修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合せ先〕☎092・843・5831岩崎

■福岡結婚準備講座

〔日時〕1月24日(土) 18時半から毎週土曜日全5回〔場所〕カトリック大名町教会〔参加費〕カップルで一万円〔参加条件〕結婚を決めている二人での参加〔問合せ先〕☎092・741・3687

■美野島司牧センター

ホームレス支援のための炊き出し等へのご協力をお願いします。寒くなってきましたまた、毎週火曜日10時半から炊き出しボランティアも併せて募集しています。〔問合せ先〕☎092・431・1419 コース・マルセル神父

北九州

■北九州召命を共に祈る会

〔日時〕1月15日(木) 14時から〔場所〕カトリック小倉教会聖堂・信徒会館〔内容〕叙階式に感謝のミサ〔司式〕伊東成晃神父（門司教会主任）〔問合せ先〕☎093・963・2359江口

■小倉祈りの集い

〔日時〕12月26日(金) 13時半から15時〔場所〕小倉カトリック教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209松田裕子

佐賀

■佐賀祈りの集い

〔日時〕12月17日(水) 10時～11時30分〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕共に祈る〔次回〕休会＝毎月第2と第4水曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

■カトリック看護協会福岡支部の集い

〔日時〕1月11日(日) 14時30分から〔場所〕イエズスの聖心病院会議室〔問合せ先〕☎096・352・7181 Sr竹内

■熊本地区召命を共に祈る会

〔日時〕12月18日(木) 11時〔場所〕カトリック健軍教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健軍教会☎096・368・2825青木悟神父

■熊本結婚準備講座

〔日時〕1月24日（土）～2月21日(土) 19時から21時半、毎週土曜日全5回〔場所〕カトリック手取教会〔参加費〕カップルで一万円〔問合せ先〕☎096・352・3030 FAX096・352・1515

司教館の住所表記変更

旧＝福岡市中央区浄水通39番地
新＝福岡市中央区浄水通6番28号

編集後記

列福特集号をお届けいたします。悪天候の中、長時間にわたるミサでしたが、教者に照らされて参列者の皆様の顔は輝いていました。日本のカトリック教会にとって歴史に残ることですので、通常よりも2ページ増やし、教皇メッセージや司教様方の説教などもできる限り掲載いたしました。ご熟読くださり、活用していただければ幸いです。21世紀を歩む私たちの教会は、新福者の時代と共通の記憶を大切にしながら刷新に向けて一歩を踏み出しましょう。4面に188人福者の列聖を求める祈りを掲載していますので、引き続き祈りましょう。最後に、会場下見の段階からご一緒してくださり、また当日も数多くの素晴らしい写真を撮ってくださいました小田崎さん(行橋教会)に心から感謝申し上げます。

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224　三井郡大刀洗町鵜木67－３
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ　平田　清

医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
☆厚生労働省臨床研修指定病院
☆厚生労働省歯科臨床研修施設
☆救命救急センター
*** 募 集 ***
≪医師≫≪看護師≫
勤務形態：4週8休　※ 詳細は人事部へお問合せ下さい。
☆がん診療連携拠点病院☆地域医療支援病院
☆入院基本料(一般病棟)7：1
〒830-8543　福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322(代表) FAX 0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の
健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスカウントした住まいづくり
有限会社 ナガシマ建築工房
社長　ヨゼフ　長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17　TEL:092-871-0063
ナガシマ建築工房　福岡　検索

サンパウロ福岡宣教センター
〔キリスト教書籍・信心用品専門店〕

クリスマス・新年 準備OK?
クリスマス絵本・用品・カレンダー・手帳
1階　聖書・信心書・聖人伝・キリシタン関係・絵本・一般書等
2階　家庭祭壇・十字架・ロザリオ・ご像・ご絵・CD・DVD等
営業=10:00～18:00/待降節中の日曜日＊定休日=日曜日・祭日＊駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel.092-721-2032 fax.092-739-3930

皆さん、私達はいま、「ペトロ岐部神父と１８７人日本殉教者」が列福され、大きな喜びと深い感動を味わっています。ところで私たちは殉教者、殉教者と、いとも簡単に呼んでいますが、一体、どのような人を殉教者と呼ぶのか、まず、その言葉の意味をはっきりさせることからお話を始めたいと思います。

カトリック教会では、伝統的に、信仰の真理を証しするために、すなわち、イエス・キリストの恵み、神様の愛を忠実に証明するために命を捧げた人を指して、殉教者と呼んでいます。これはイエスキリストに倣う最高の生き方であり、キリストの証しと救いの業への最高の参与として捉えられています。新約聖書の終わりの書、ヨハネによる「黙示録」は「忠実で真実な証人」（黙示録３章14節）であるキリストに倣って教会と世界に血の証をした殉教者が受けた試練と栄光を讃えています。

教会の歴史をみますと、初代教会から現在に至るまで、世界の各地にキリストに倣ってこのように、血を流して神様を証しした殉教者は枚挙に暇がありません。

日本における、キリスト教の歴史は１５４９年聖フランシスコ・ザビエルの来日によって始まりました。彼らは風俗、習慣、言語などの違いにより大きな困難に遭遇しましたが、宣教師たちの熱意と日本人信徒の協力により、困難の中にあっても、いちじは約30万人の信徒が数えられたといわれています。当時の日本社会は大名たちが群雄割拠していた時代であり、宣教師たちが自由に働けるか否かは、その地の権力者である大名たちによって決められていました。快く受け入れた大名、条件づきで受け入れた大名、拒絶した大名などおりました。フランシスコ・ザビエルが当時の都、京都を訪れ天皇と仏教の最高学府比叡山に敬意を表し、日本全国への宣教許可を求めるために、面会を願ったところ、その面会は断られ、失望のうちに京を離れたことは、よく知られていることです。

信長の後を継いだ秀吉の時代に入ると日本社会がほぼ統一に向かいはじめ、キリスト教に対する態度が変わってきました。１５８７年秀吉は宣教師たちの追放を命ずる「伴天連追放令」を出し、地域的に温度差はありましたが、各地で迫害が始まりました。まずキリスト教を宣べ伝える宣教師とその身近な協力者が迫害の対象となりましたが、次第に地域も対象も広げられ、秀吉の追放令が出て、10年目の１５９７年にフランシスコ会のペトロ・バプチスタ神父、イエズス会のパウロ三木神父をはじめとする聖職者９人と信徒17人の所謂26聖人の殉教がありました。

徳川の時代に入り、家康、秀忠、家光と代を重ねるに従い迫害は熾烈を極め、殉教者の数が増大していきました。

キリシタン研究家でもある溝部司教によりますと名前、殉教の日時、場所などが正確にわかっている殉教者だけでも５５００人をくだらないそうです。また確かに殉教したけれど、名前のはっきりのわからないものは約二万人に及ぶといわれています。（これらのことは当時の唯一の司教セルケイラを初め宣教師たちのローマ教皇、また修道会本部に送られた報告書、日本の各地に残されている歴史資料（古文書）などによって明らかにされています。因みに外国に送る手紙、報告書などは当時の状況下、確実に届くように、一度に３部作成され、異なる船で送られたため、ローマの教皇庁資料室には同じ文書が２通あるのもあるそうです）。これらの殉教者のうちすでに26人の聖殉教者、２０５殉教福者、さらに16人のドミニコ会関係者（司祭、修道者、第三会員、信徒）がローマ教皇様より公に福者として宣言されています。

今日新たにペトロ岐部神父ほか１８７人の殉教者が福者として宣言されました。今、ひとりずつ紹介することはできませんので、今回列福された福者に共通する特徴について、お話いたします。

１　今回は日本各地の殉教者で、時代を越えて各地で尊敬されてきた人たちです。北から申しますと米沢の53人、江戸２人（但しそのうちのひとり、ペトロ岐部神父は大分県国東半島の出身で、江戸で殉教した人です）そのほか京都の52人、大阪、広島、山口、萩、小倉、大分、熊本、有馬、生月、島原、雲仙、長崎西坂、天草、八代、薩摩（鹿児島）で殉教した方々です。

２　この１８８人殉教者は、全員日本人で、信徒１８３人、その信徒たちに徹底的に仕えた代表的な四人の司祭、ひとりの修道者です。

３　また性別、年齢、職業などをあげますと。男性１２１人、女性67人、年齢では最高齢者は米沢の武士、ルイス甚右衛門の80歳から１歳の子供まで含まれて言います：なんと１歳から４歳までの子供29人もいたのです。そのほかの人は、殆ど働き盛りの人でした。職業としては上級武士、下級武士とその家来、一般庶民、農民などとその妻、子供、奉公人のような方々で、健康人だけではなく、身体障害者２人も含まれていました。

このたびの福者のなかで目立つことは、一家揃っての殉教です、主人、妻、子供たちというケースが大変多いことです。これは司祭たちによる熱心な信徒養成、また、家族一体となっての信仰の実践、近辺の信徒の家庭が一緒になって小さな教会の役割を果たしたこと、特に迫害下にあっては「家庭教会」として、信徒たちが役割分担して子供たちに教理を教えたり、一緒に祈ったりして信仰を深め、神様の特別な恵みで殉教をもは日本の迫害の歴史が大変長期にわたったこと、またその残酷さ、弾圧の徹底さなど、世界に類のないものがありました。

このたび列福された殉教者は１６０３年の熊本、八代の殉教から、１６３９年江戸の殉教までの36年間に殉教した方々の一部です。しかし徹底的弾圧、キリスト教の壊滅を期して、踏み絵を踏ませて信仰を調べる絵踏み、５人組制度による信徒の詮索、懸賞金をかけての捕獲、キリシタンの禁札、役人のまえで毎年自分の宗教を申告する制度：宗門改め、などによる弾圧は、大変長く続けられました。宗門改めは鎖国が始まってからも２２２年間、１８６４年まで、また禁札は明治時代まで続けられました。このような過酷な条件のなかでも代々家庭での信仰が受け継がれ、１８６５年３月17日、迫害下２５０年７代にわたって信仰を伝承した当時の長崎浦上村の信者の再発見があり、世界を驚かせた事実をみるとき、私達の先輩たちの信仰の質の高さと、その深さを感じないではおられません。

さて、日本における殉教の歴史をみてきた私たちは、最後にこれらの殉教者たちが現在の私達に何を伝えたいのか、彼らの列福にはどんなメッセージがあるのか、一緒に考えてみましょう。

１　聖パウロはローマ人への手紙の中で述べています。「誰がキリストの愛から私たちを引き離すことができましょうか。艱難か、苦しみか、迫害か、飢えか、裸か、危険か、剣か。しかしこれらすべてのことにおいて、私たちは、私たちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。死も、命も、天使も支配する者も私たちを主キリスト・イエスによって示された神の愛から引き離すことはできないのです」。日本の殉教者も聖パウロと同じことを叫び、神様の恵みに信頼して信仰に生きることを怖れるなと叫び続けています。

２　家族が全員一緒に殉教したケースが多いと申しあげましたが、家族は社会を構成する最小の基本的共同体であります。すべての家庭がしっかりしていれば、社会もしっかりしたものになります。殉教した家族は信仰、希望、愛で結ばれ、共通の価値観を持ち、何が起きても動ぜず、困難に遭遇すれば互いに助けあい、励ましあっていました。現代の社会では老若男女、また生きる環境などの影響を受け、健全な家庭、一つに結ばれた家庭を見出すのは大変難しいと良く言われます。まして死よりも強い愛で結ばれた家庭は私たちの鑑みであり、その家庭には生きる喜び、生きがい、充足観が満ちております。このような家庭をつくるようにと殉教者は私たちに強く呼びかけていることでしょう。そのためには殉教者に倣い、家庭で皆そろって神の言葉に親しみ、ともに祈ることが必要でしょう。

３　キリシタン時代の信徒は近辺の方々と暖かい交わりを大切にしていました。例えば米沢では殉教の噂をきいた近隣の人がお上の人、責任者を訪れ、キリシタンの立派な生活を話し、迫害しないよう頼み込んだことが頻繁にありました。またお上も、それを充分知っていて、捕獲、投獄をせず、処刑の日になって致し方なく、連行したことがありました。また近所に住む処刑の役を命じられた人が、処刑の前夜、キリシタンの家を訪れ、酒を飲み交わし、赦しを願ったという話もあります。使徒言行録は初代教会について述べています（２章42ー47）。

４　殉教者は呼びかけています。毎年３万人以上の自殺者が出る日本の社会に呼びかけています。生きるとはどういうことか、死ぬとはどういうことか、人間は何のために生きるのか、人生の目的、意義とは何か、苦しみに意味があるのかなどの人生の根本問題について深く考えるよう求めています。

信仰の自由を否定され、殺された殉教者は叫んでいます。神の似姿に創られた人間の尊厳性、また人間が持つ固有の精神的能力、考え、判断し表現する自由などの重要性、それに反するあらゆることを避けることを強く訴えています。なかでも人間の生きる権利が胎児のときから死にいたるまで大切にされること。武器の製造、売買、それを使っての殺人行為である戦争。極度の貧富の差により非人間的生活を余儀なくされている者たちへの配慮など、すべての人が大切にされ、尊敬され、人間らしく生きれる世界となるよう祈り、活動することを求めているに違いありません。

さあ、皆さん、恐れずに歩み、一緒になって進みましょう、怖れるな、怖れるなと神様がそして殉教者が呼びかけています。皆さん恐れるな。「一同はひたすら使徒たちの教えを守り、兄弟的交わりを大切にし、パンを裂き、祈りをしていた。信じる人たちは皆ひとつとなり、すべてのものを共有し、財産や持ち物を売り、それぞれの必要に応じて、みんなでそれを分配していた。彼らはすべての民に好意をもたれた。主は救われる人々を信者の数に加えてくださった」。私たちの教会、信仰共同体が神の愛の目に見えるしるしとなるよう、殉教者強く訴えていいます。

私たちは「恐れるな」と呼びかけられています

白柳誠一枢機卿説教全文

教皇代理 ジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿

ペトロ岐部と187殉教者の列福に対するメッセージ

穂となったのであり、彼らの後に続いた数多くの殉教者は、自分たちの苦しみと死によってこの土地を更に聖なる土地としたのでした。きょう、私は26聖殉教者とそのあとに続いた多くの殉教者に感謝をささげるためここに参りました。」

本日の列福式をもって、教皇聖下の預言者的なことばは、ほぼ実現を見たということができます。４世紀を経て、１８８人もの偉大な信者に光が当てられました。その人びとはすべて、キリストへの信仰を、いのちをかけてあかしする賜物を受けたのです。「命の書」（フィリピの信徒への手紙４章３節）にひそかに記されていたその名前は、今日、福者の列に加えられました。

１　愛すべき日本の地の皆様、ペトロ・カスイ岐部と１８７人の殉教者の列福式を主宰する名誉をいただいたこのミサ聖祭の終わりに、参列しておられる皆様と、また教会の存在意義を深く感じるこの瞬間を遠くで分かち合っておられる皆様と、喜びを共にしたいと思います。ベネディクト十六世教皇聖下が、代理として赴くことを委ねたこの意義深い出来事を、私は幸せに思い、皆様に教皇聖下からの使徒としての、また父としての祝福をお届けします。

２　ヨハネ・パウロ二世教皇聖下は１９８１年２月26日、ここ長崎において、次のように語りました。「きょう、私はこの長崎の殉教者の丘、多くのキリスト信者が生命をいけにえとしてささげ、キリストに対する忠実のあかしをたてたこの丘を訪れる、数多くの巡礼者の一人になりたいと望んでいます。１５９７年２月５日、西坂で26人の聖殉教者が十字架のもつ大きな力の証しとなりました。実際、彼らは多くの殉教者の初

３　年齢と環境が異なり、場所と時間が違っても、多くの殉教者が示している忠実さは、いのちをかけて信仰をあかしすることが、人間が持つ自由の最高の表現、最大の愛の行いであり、それは教会の教えが生きていることのしるしです。聖アウグスティヌスは「迫害や拷問が殉教を生むのではなく、キリストこそが、あかしの理由であり動機なのである」（詩編注解34、２等を参照）と書き残してい

４　主イエスの「これを私の記念として行いなさい」ということばによって毎日新たにされている教会は、同時に、「行って人びとに福音を伝えなさい」というキリストを宣教する教会でもあり、それは、血が流されてでき た、血が流されてでもありま す。それゆえ、私たちの集いは、信仰と教会の交わりを味わう喜ばしい体験のひとときです。たくさんの男性女性の信仰、若者と子供の、独身者と家族の、その多くが信徒であった、キリストへの信仰を血をもって証しした人びとの信仰によって築かれた教会です。こうした理由から、回勅『真理の輝き』は「殉教は教会の聖性のきわだったしるし」であり、それは信仰の「荘厳な宣言であり、

５　ペトロ岐部と１８７人の殉教者の列福の式典に当たり、殉教者の女王である聖母マリアが、その取次ぎに信頼し、愛をもって、いつの日にも、福音のために生涯を捧げ、死んで復活したキリストを証する恵みを願う人びとを、すべて守ってくださいますように。

長崎にて
２００８年11月24日
ジョゼ・サライヴァ枢機卿

列聖列福特別委員会委員長 謝辞

日本教会がいま決意している 熱い思いを伝えてください

尊敬するホセ・サラエヴァ・マルティンス枢機卿様、このたび教皇様の特別のお計らいにより日本１８８殉教者の列福式がこのように荘厳に執り行われたことを心から感謝申し上げます。今日は日本教会において最高の喜びの日であり感謝の日でもあります。日本教会の土台を築いてくださった信仰の先達への感謝でもあり、普遍教会と繋がれてお祝いをすることができたことに対しての感動でもあります。枢機卿様がローマにお帰りになられるとき是非、この私どもの感謝、そして日本教会がいま決意している熱い思いを伝えてくださいました。振り返って見ますと、わたしは枢機卿様とは計８回この件に関してお会いしていることになります。今日で９回目です。その間、国務長官とは２回、二人の教皇さまヨハネ・パウロ２世とベネディクト16世とはそれぞれ１回ずつ合っています。恥ずかしいほど無知であった私たちを初歩の段階からどのようなプロセスを通してことの実現に向けるかを懇切丁寧に教えてくださいました。実現するように励ましてくださったことが何よりもの大きな励みでした。この間実感したことは、日本教会は世界の教会と繋がっているということでした。この27年間の歩みの中でこの場をお借りして感謝申し上げたい方々がいますし、この世を去っています。特に最初からご尽力くださった白柳枢機卿様、平山司教様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。きっと感無量のこととお察し申し上げます。歴史調査委員で資料の大半を提示し提出する文章の大半を書いてくださった故チースリク神父さま、そして１日前に亡くなり老いてなお列聖の情熱を失わずに働き続けてきた日本26聖人記念館前館長結城神父に格別のお礼を申し上げます。同時に、法的なこともなさってくださったオボンコ神父さまにもお礼を申し上げたいと思います。どんな賛辞を述べても足りない働きをしてくださいました。この３人無しに列福は実現しませんでした。今回の列福運動は日本教会の刷新と活性化を求めたところに特徴があります。４００年を経て共通の思い出を私たち信仰者は有しています。時代が変わってもその時代を生き抜く力と勇気を今を生きる私たちは先達から頂いています。その時代を生き抜いた昔の信仰者は現代を生きる私たちにメッセージを投げかけています。真摯にそれを受け止め毎日の生活に於て実践して行くことを誓って私のお礼の言葉にかえさせて頂きます。

列聖列福特別司教委員会委員長
高松教区司教　溝部脩

青年代表によって奉納された殉教者ゆかりの地の土

大役を果たされ退場なさる溝部司教、岡田大司教、Ａ・ボッターリ・デ・カステッロ駐日教皇庁大使、高見大司教（左から）

福者ペトロ岐部と一八七殉教者の取り次ぎを願い、その列聖を求める祈り

いつくしみ深い父よ、
福者ペトロ岐部と一八七殉教者は、復活のいのちを約束してくださるあなたの愛に希望を置き、自らキリストの十字架を担い、その死を身に帯びる生き方を選びました。
殉教者の取り次ぎによって祈ります。現代に生きるわたしたちが、どのような困難なときにも聖霊の助けに信頼し、キリストに従い、あなたへの道をひたすら歩むことができますように。
また殉教者のあかしが、世界に生きるすべての人の希望となるよう、ペトロ岐部と一八七殉教者を、一日も早く聖人の列に加えてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。
（日本カトリック司教協議会認可）